



サークル：ちょっとB専

怪しい宗教勧誘お婆さん
ついにコミックで登場！

お婆さん

×

シ〇タ

本編53P

PDF同梱

【フルカラー版】

怪しい宗教勧誘お婆さんが
パパの紹介でボクの家に来ってきた

ここは都内の住宅街…



両親は離婚してママと二人暮らした
そのママは新しい彼氏を
作って海外旅行に行ってる



若さと性欲だけがとりえの
ボクはとても退屈していた

この留守番はもう二週間も続いている
ママの話だとあと一週間は戻ってこな
いらしい



暇で仕方がないボクはオ○ニーと
ゲームしかすることがない

うちは金だけはあるからこの留守番を
している間の食事は全部出前になっ
ていた

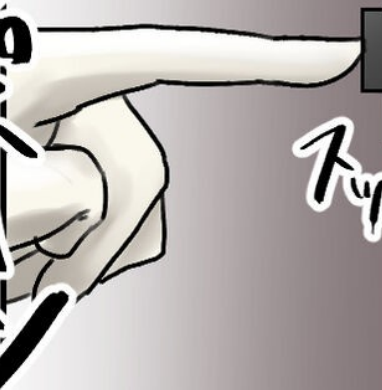


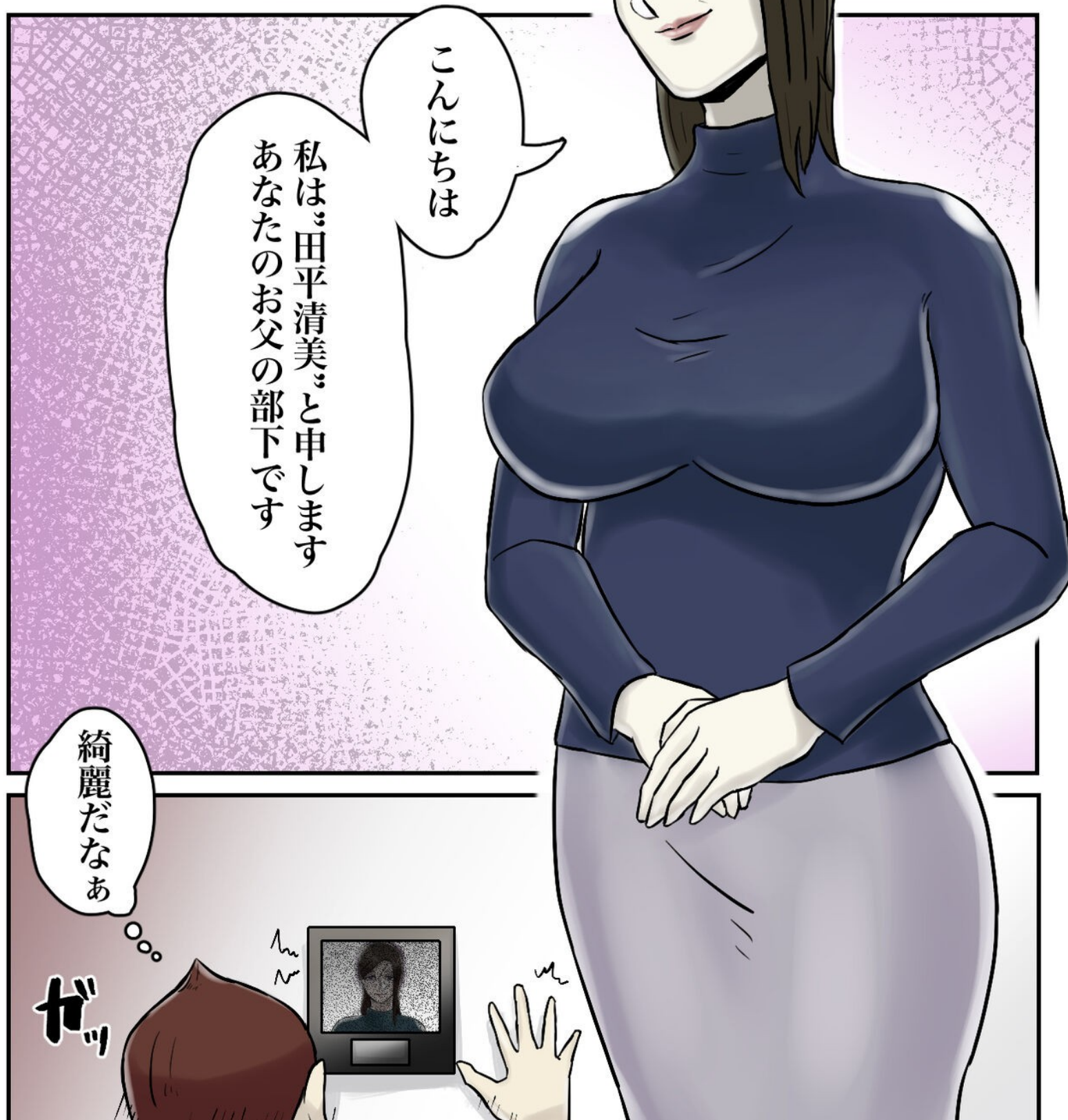
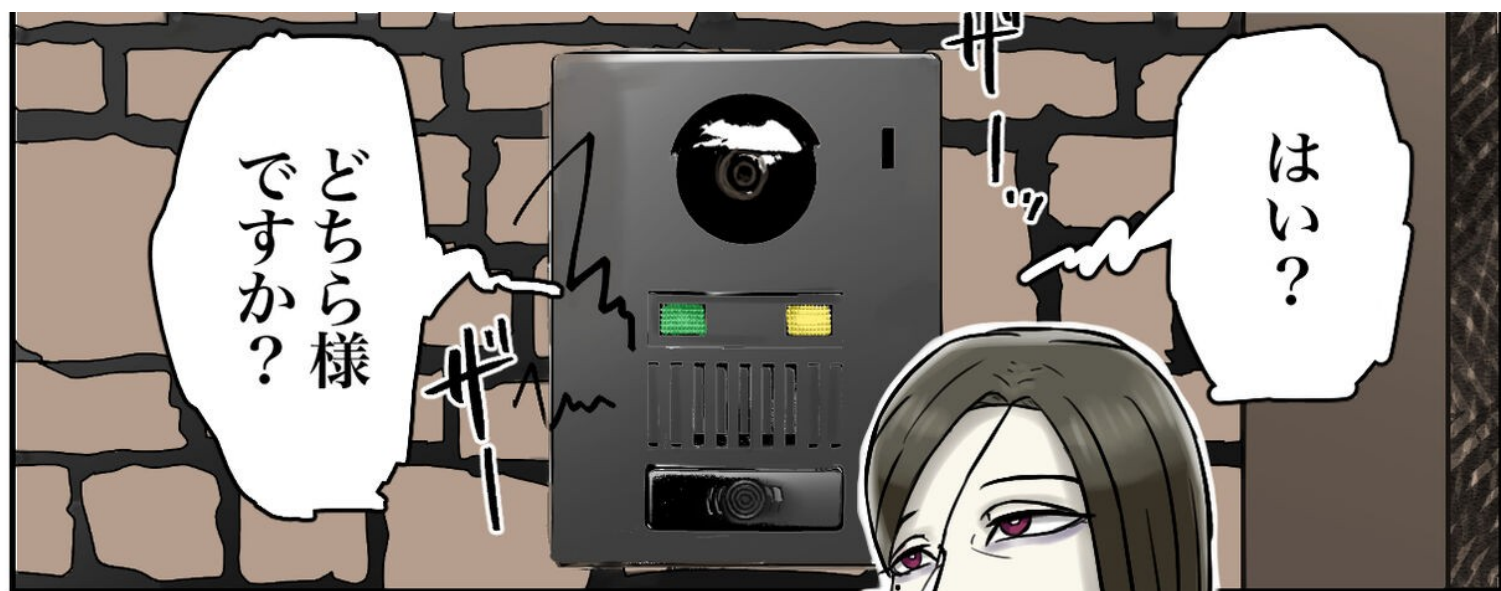
友達もいない…癒しもない…
時間だけが有り余る
退屈だ…またオ○ニーでもすつかあ…

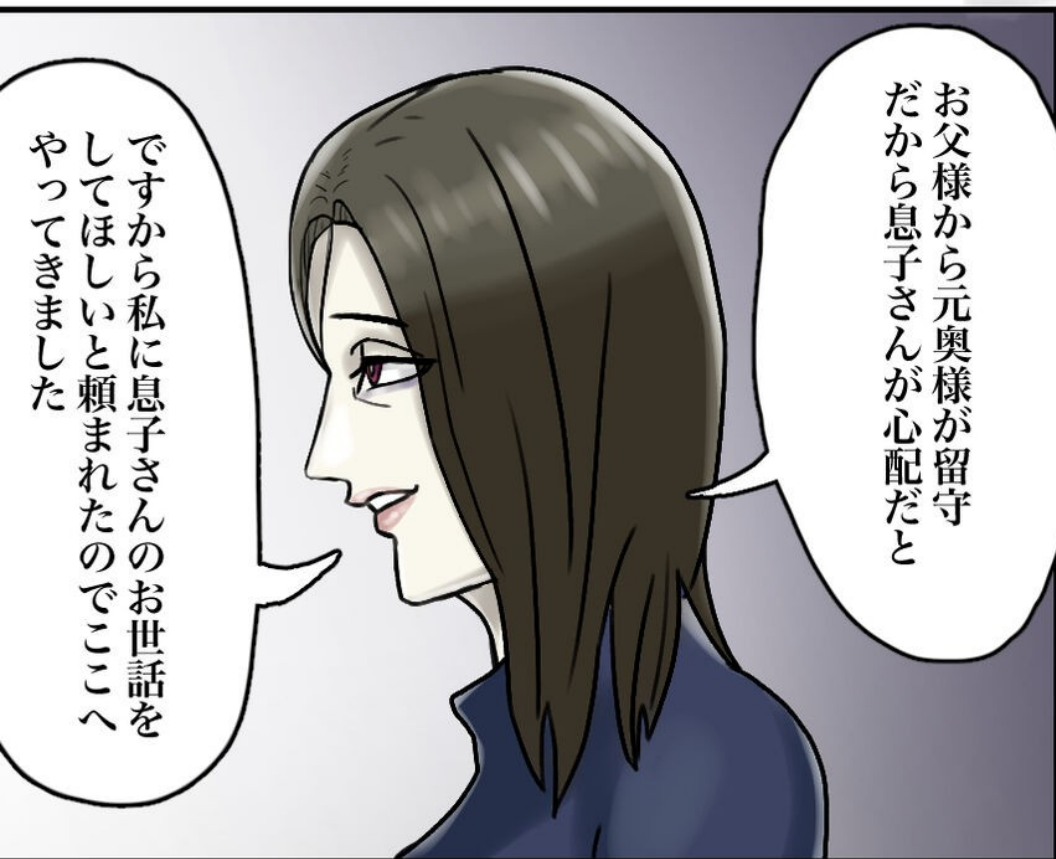


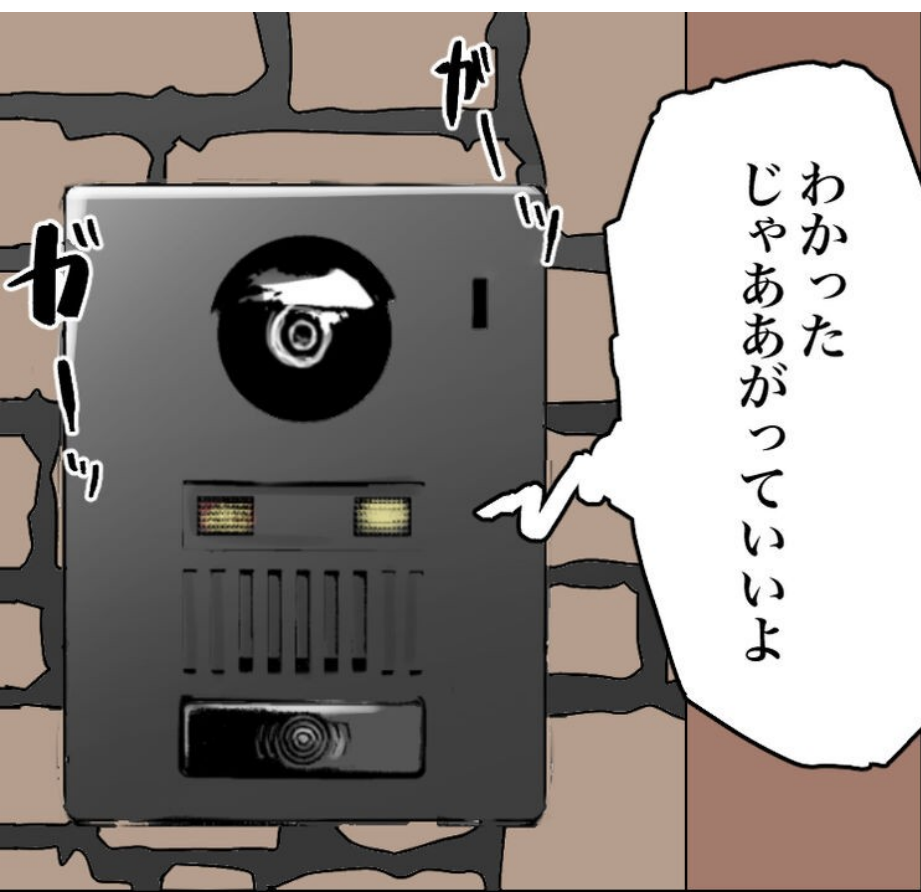
チツ…誰だよ
ママじゃないしなあ

リンボリン









わかった
じゃああがつていいよ



もしかして頼めば
あんなことやこんなこと
だって……!



おじやまさせて
もらうわね



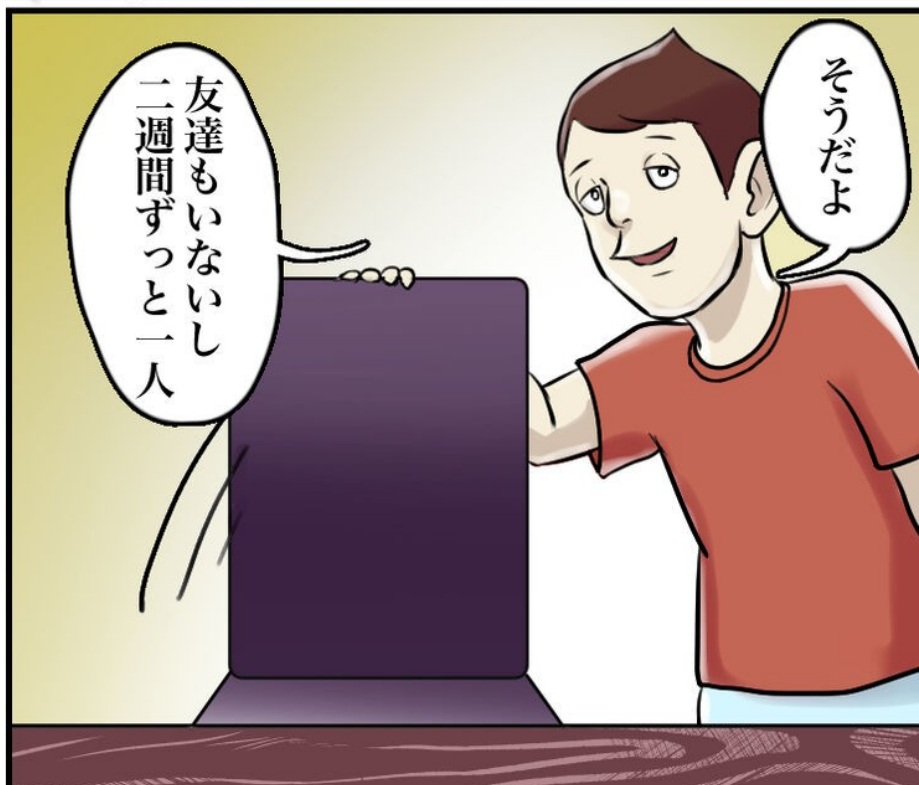
よかった
ありがとう

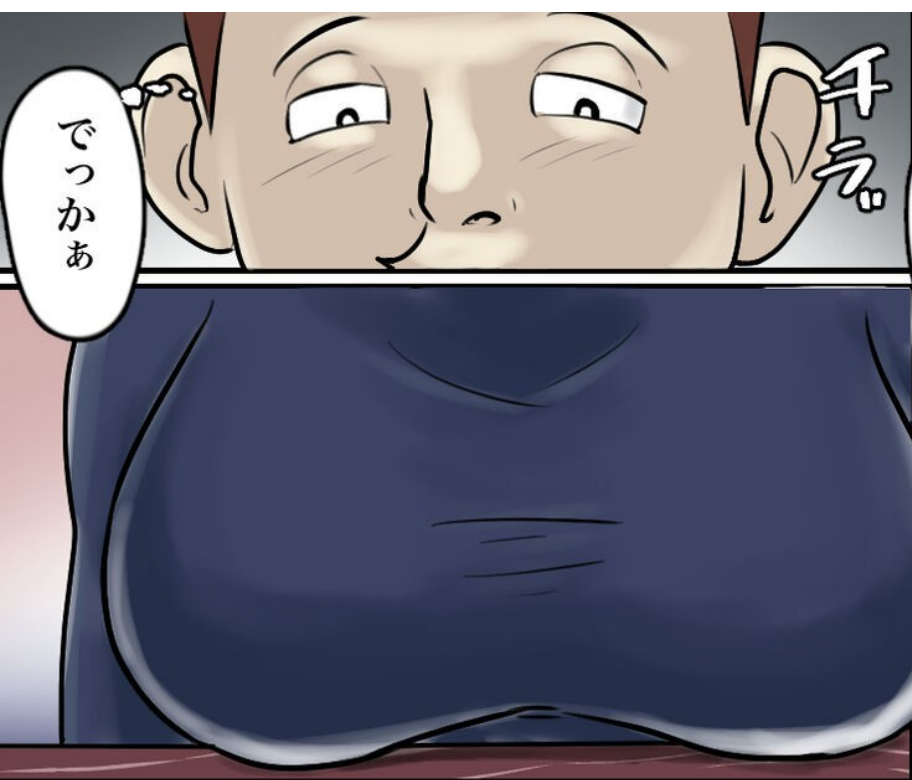
ガチャッ

おじやまします

田平清美です
改めてよろしくね

おっぱい…
おっぱい…
おっぱい…





でっかあ

千

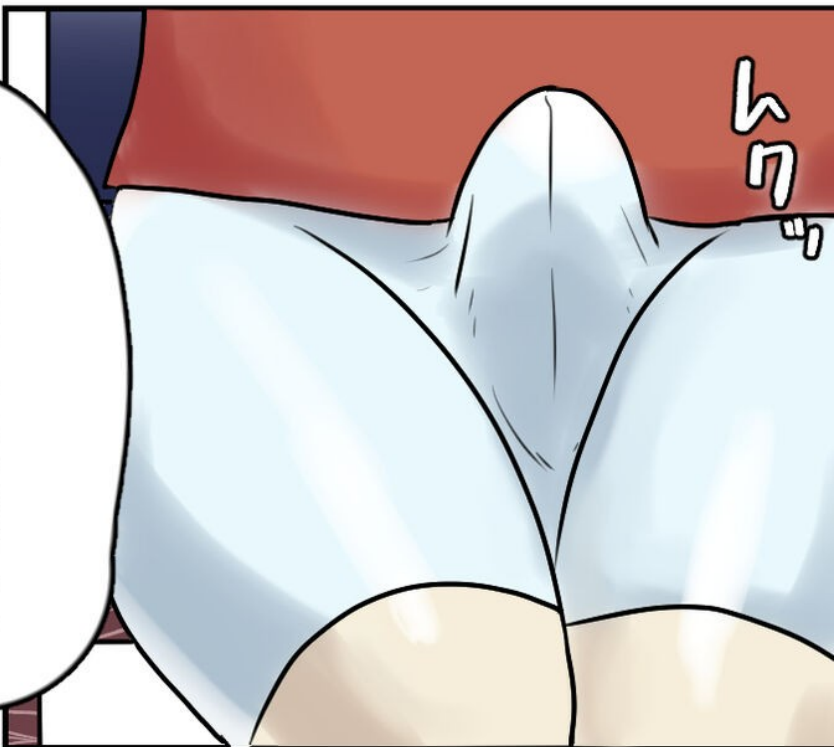


平和で
いいよ

慣れてるから



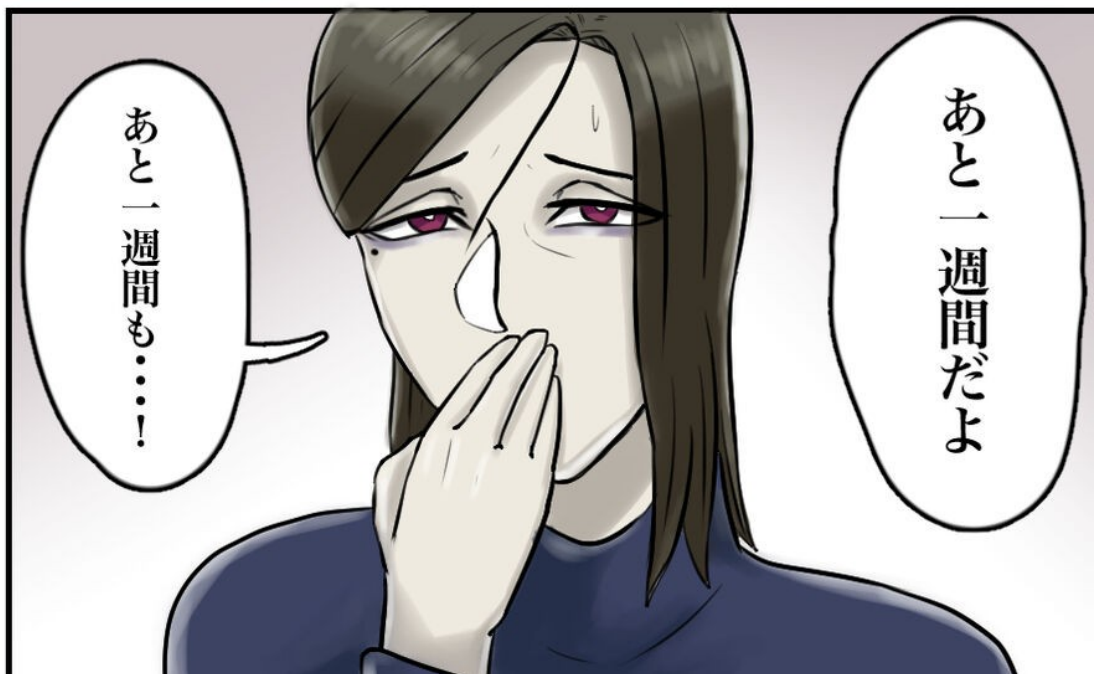
お母様はいつ頃帰って
くる予定なの？



ん

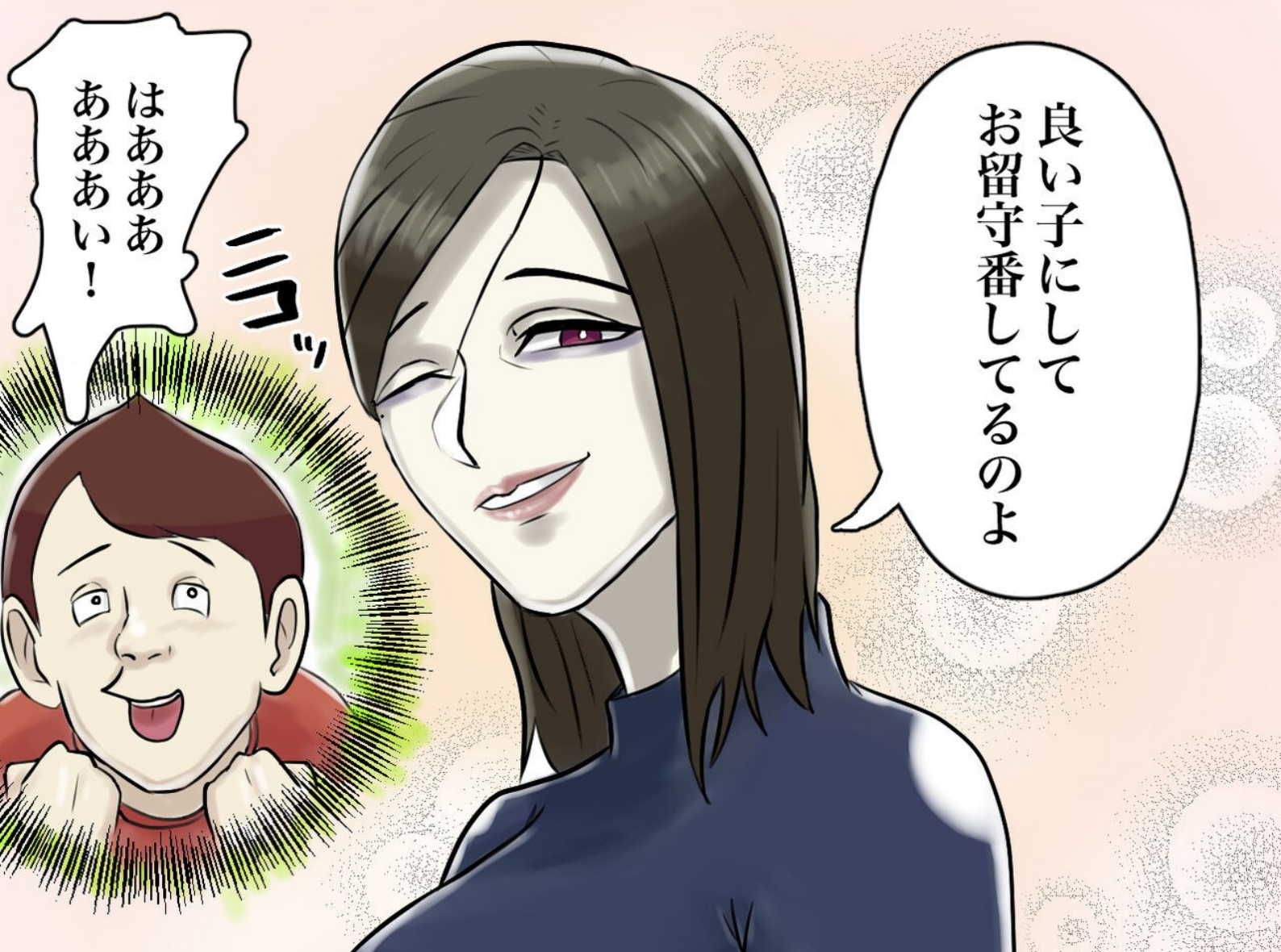
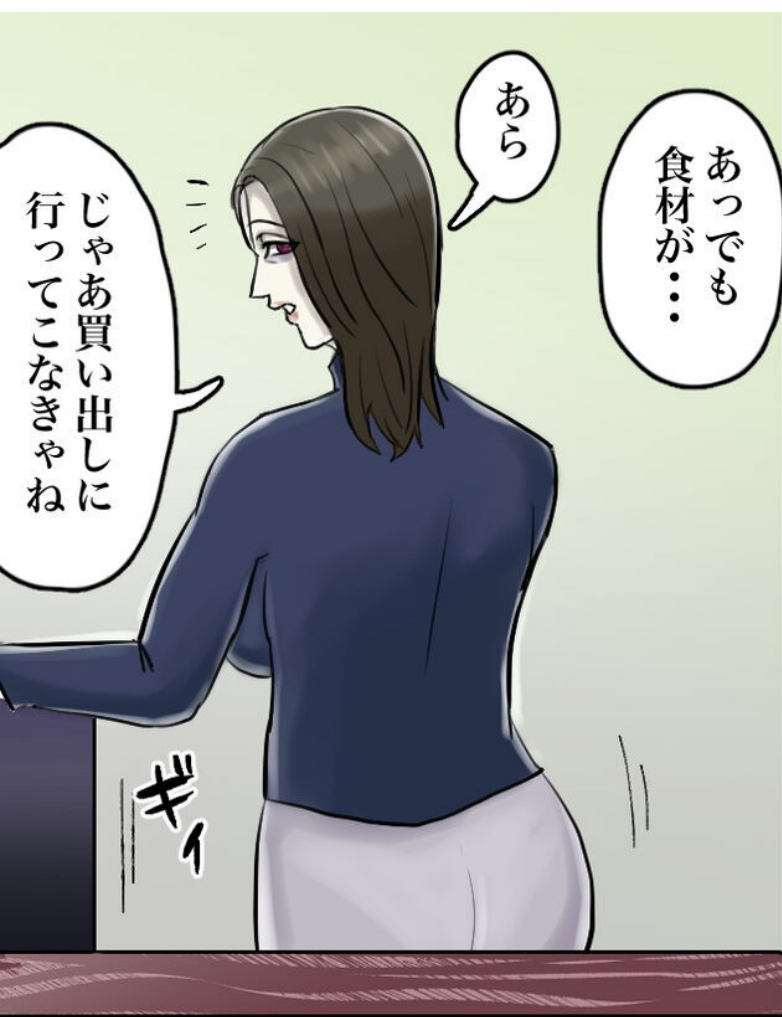


充分すぎるわね...



あと一週間も...!

あと一週間だよ



うっひょおお！
サンキューパパ！

おぼさんとの距離が縮まれば
エッチなお願い聞いてもらえる
んじゃないか？ぐへへ……

接触は簡単でした

田平です

……
もしもし

はい

総統

XXX-XXX-XXX

終了

ジロジロと変な目で
見ているので楽勝かと

はい
それでは

ポンッ……

1時間後…

ボクくーん！
もどったわよー

おかえり！

ボクくんごめんなさい
今後の食料とか色々買って
たらこんなになっちゃった

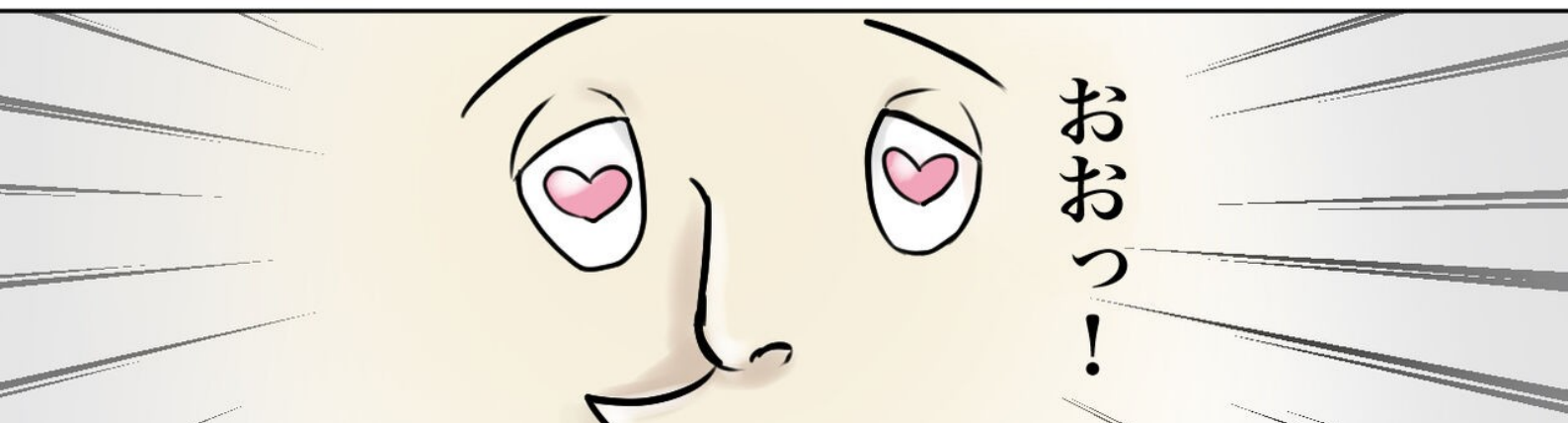
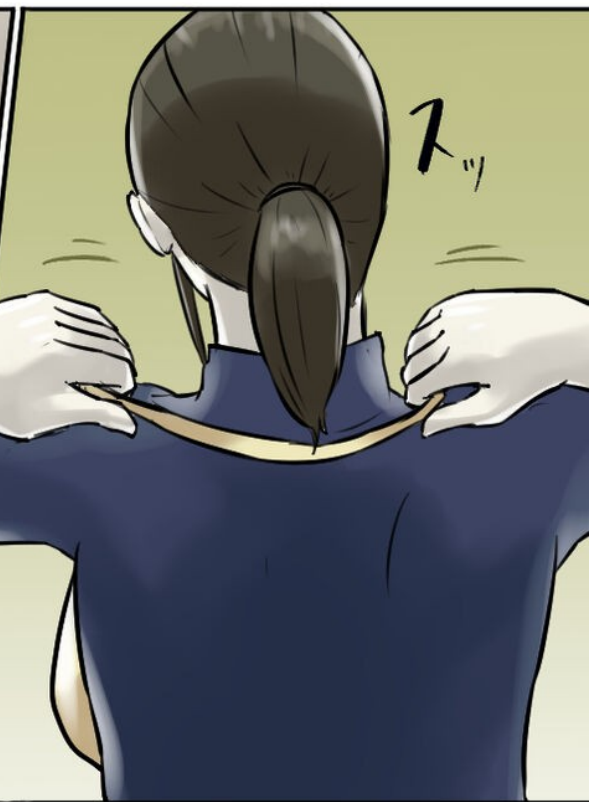
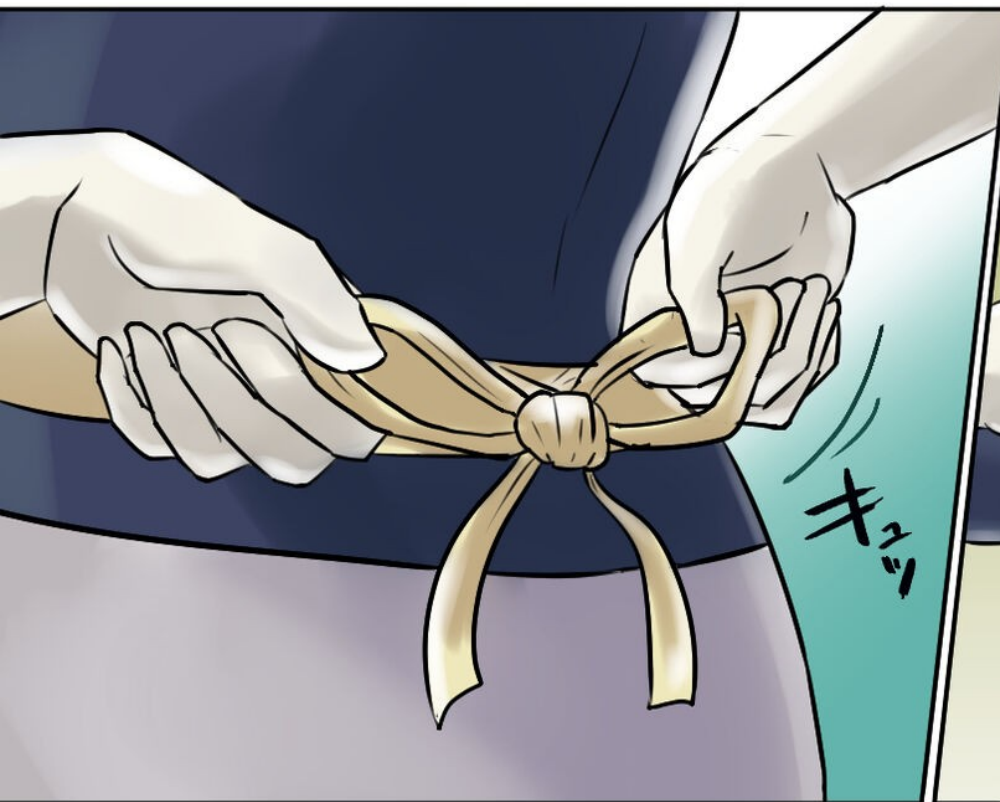
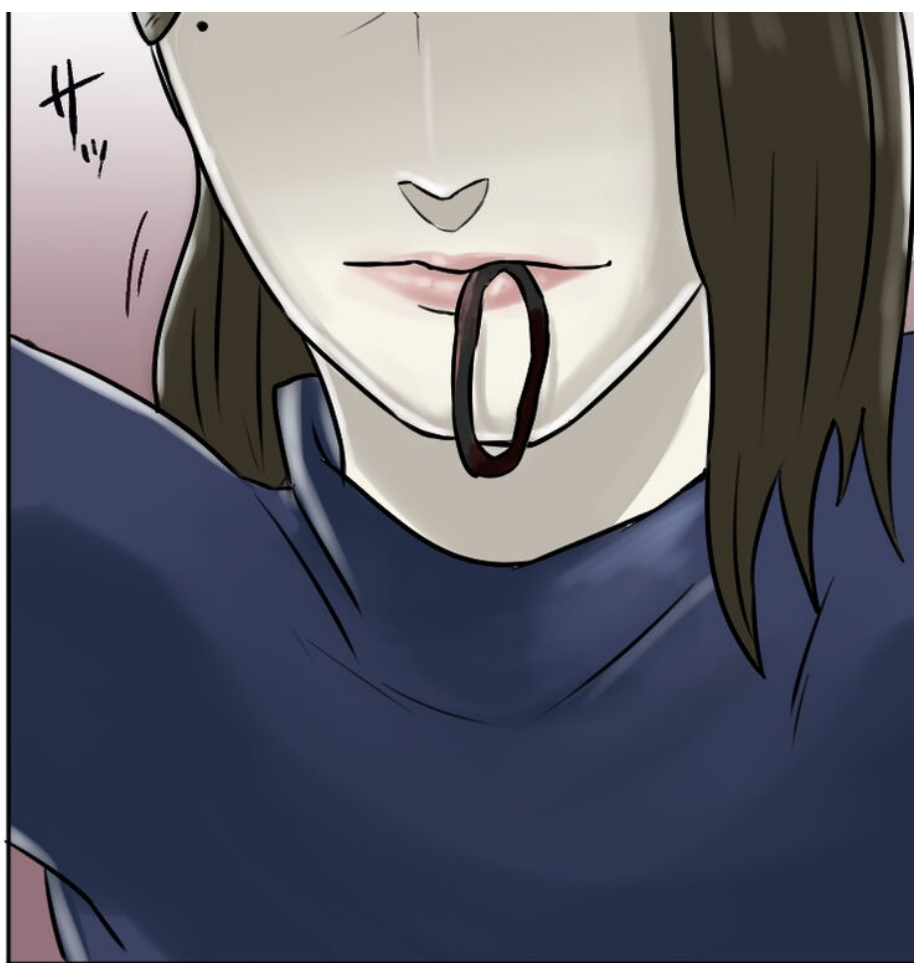
運ぶの手伝って
くれない？

はい！手伝います！

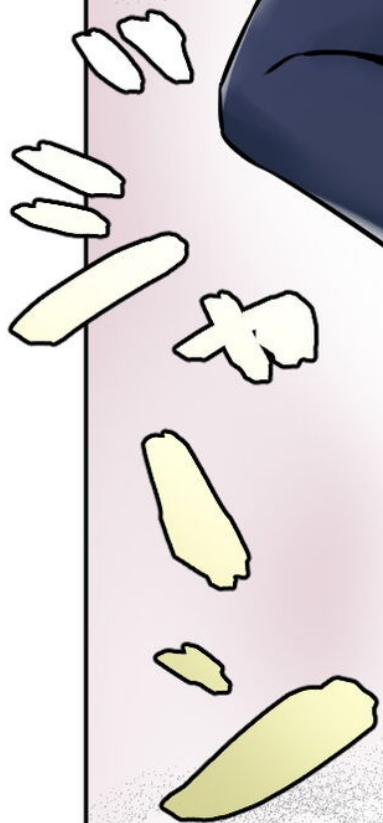
ドサッ

ガサッ

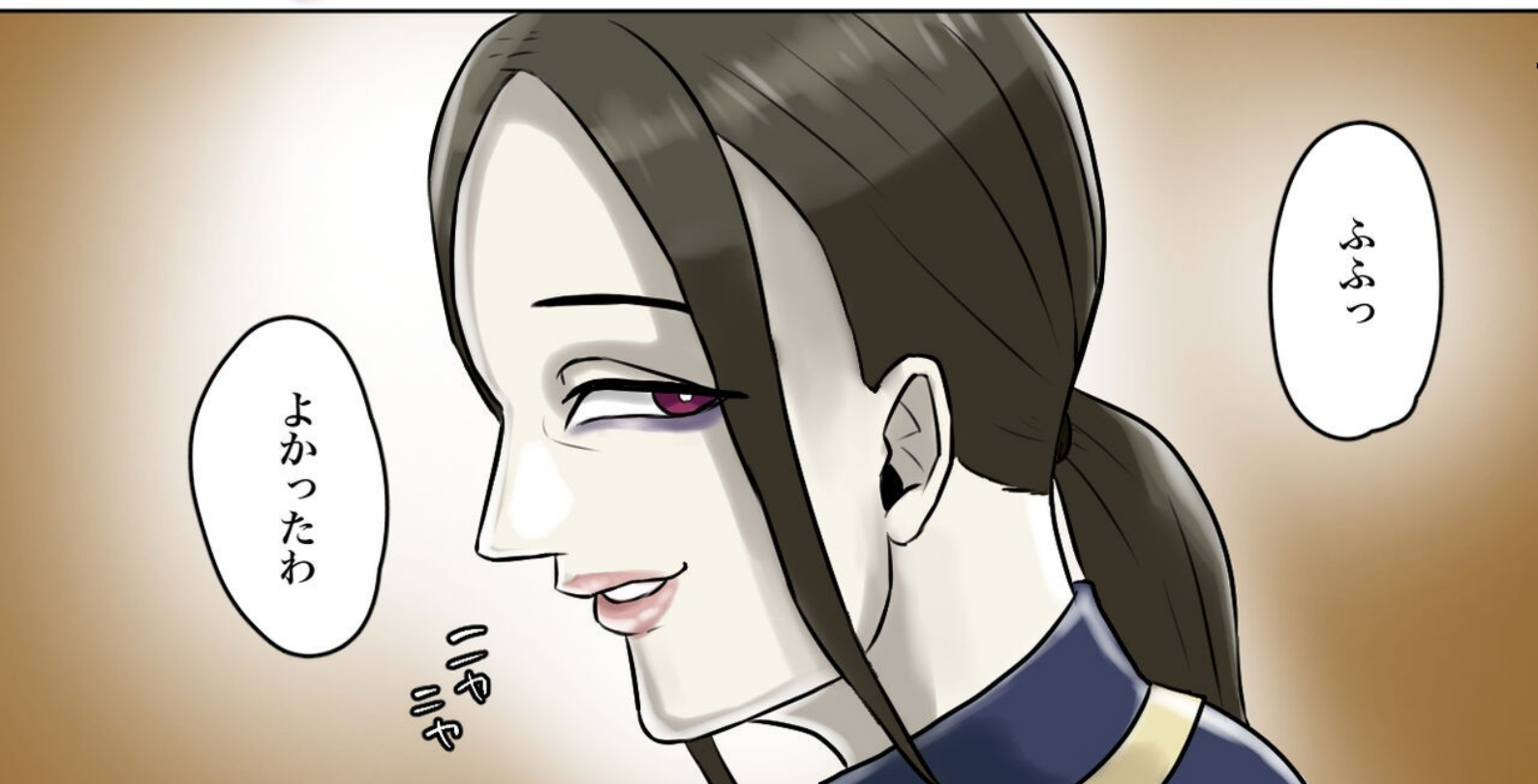
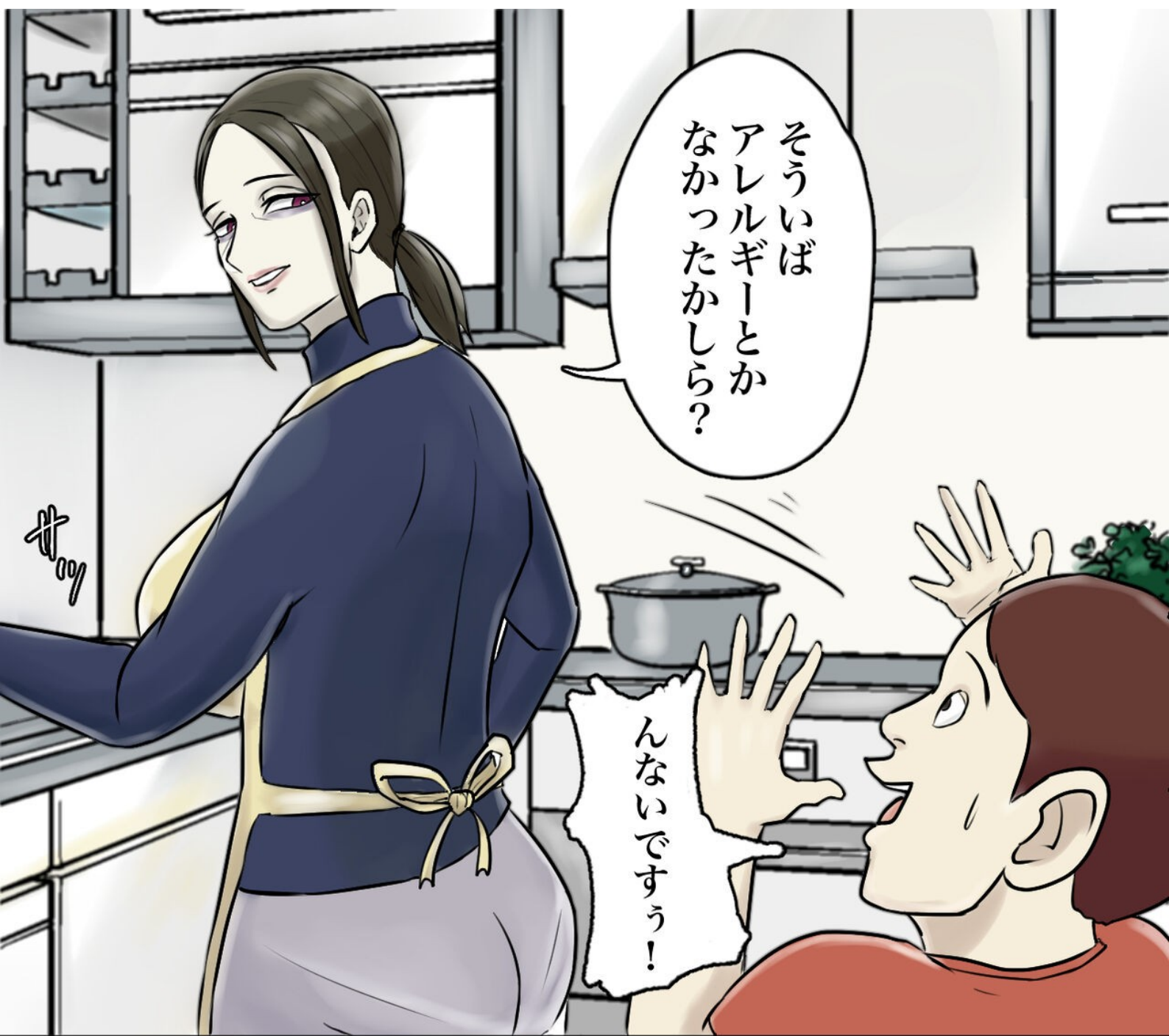




それじゃっ
おばさんがとつても美味しい
ご飯作ってあげるわね！









さっ
できたわよ

おおおっ！
おばさんすごい！
いただきます！

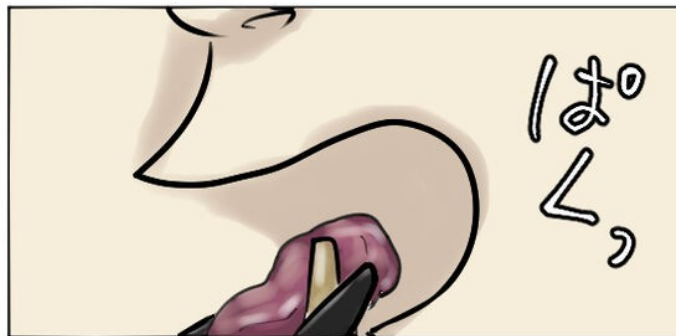
デーン



おいし〜っ！

最高だあ：

毎日食べれる
よこれえ...



はく



ん

ん



ホッ

じゃあご飯がすんだら
お部屋の掃除してあげるね
ゆっくり食べて頂戴

よかったわあ！
正直お口に合うか心配
だったの！

ごちそうさまでした！
おばさんありがとう！

はい！

んゝ…
お腹一杯になったら
眠たくなってきたな

おばさんボク
ちよつと寝るね

あらあら
わかったわ

ボクくん

ボクくん！

ねえ

起きて！

んゝ…
なにい？
おばさん…

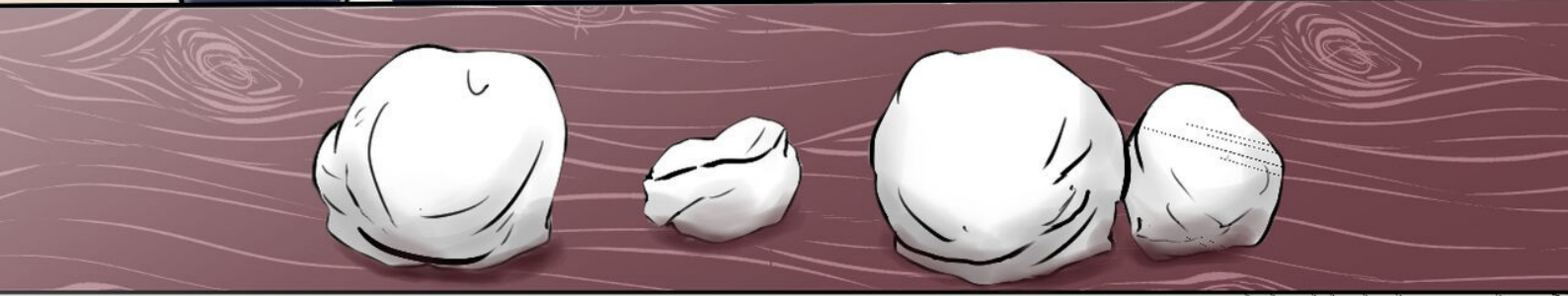
こ…これ…
ベッドの下に沢山落ちて
た一部を持ってきたたん
だけど…



あっ!?!
こ...これは!?

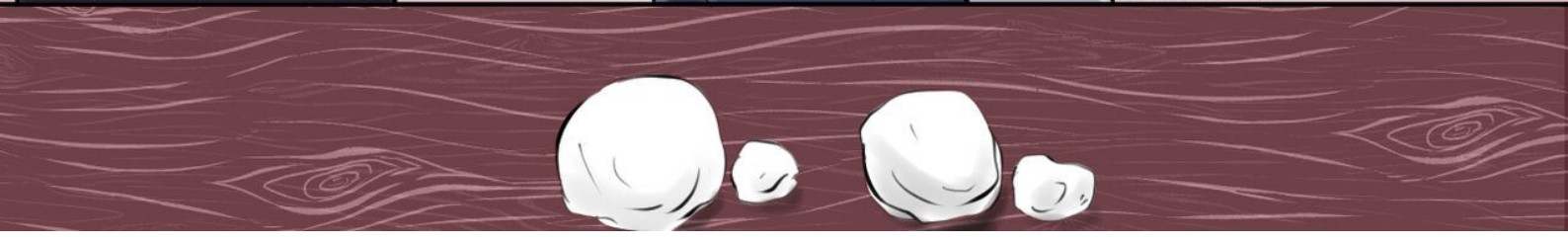
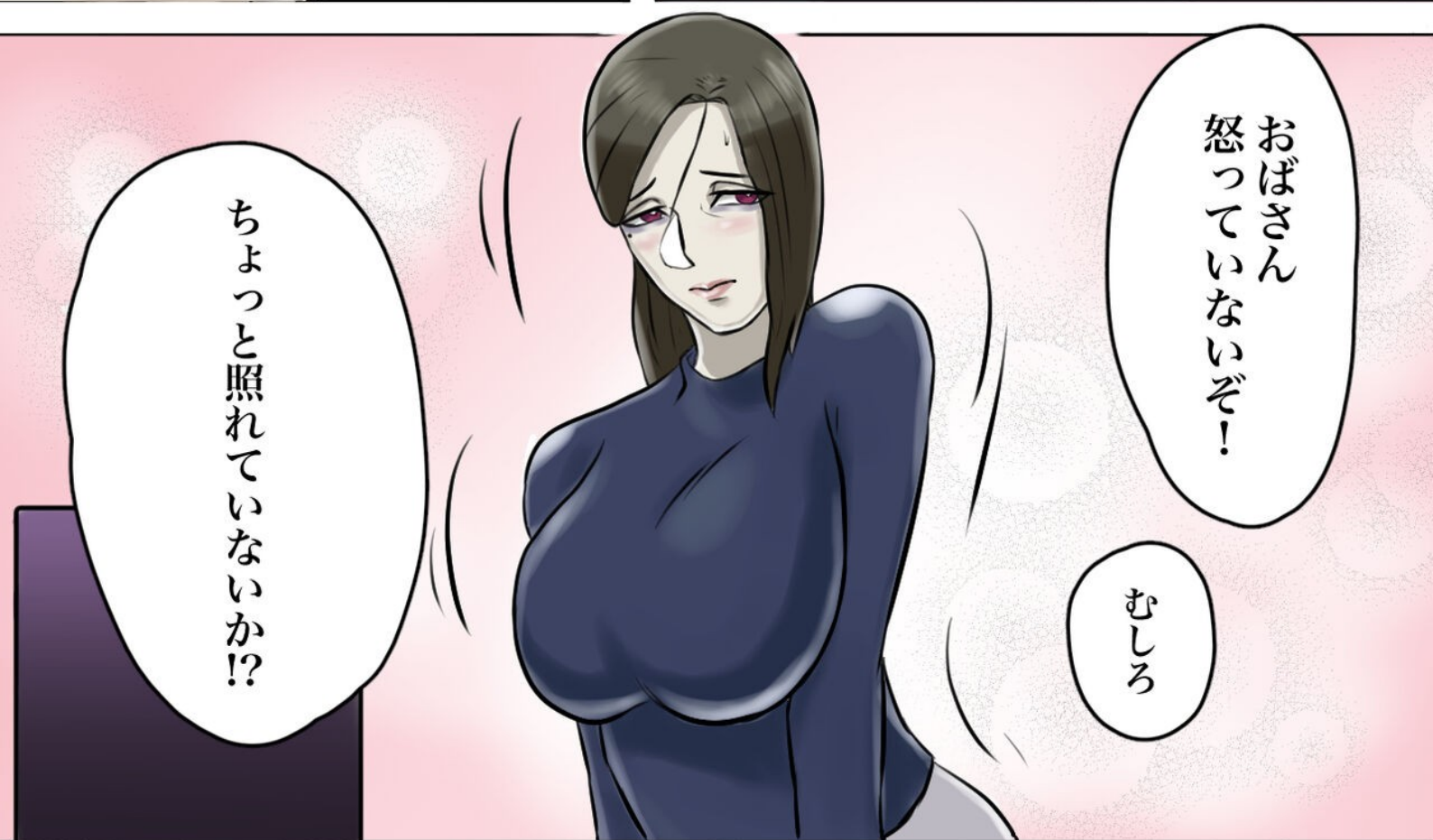
こ...
これって...

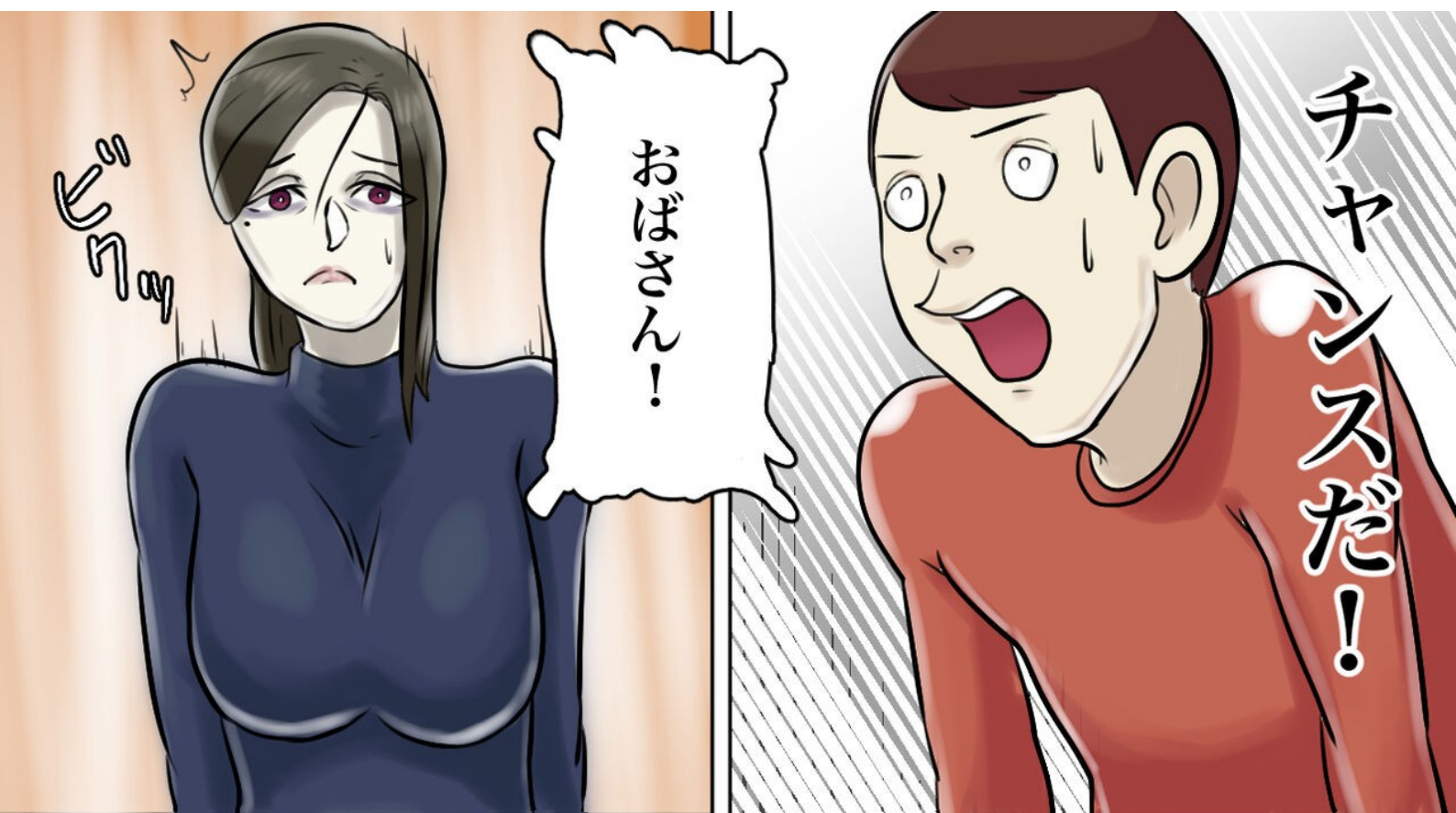
そういうこと...
よね?



お...おばさんに大量の
オナティッシュユバれて
しまった...!
ってか何でも持ってきて
るのお!

え...
え...と...

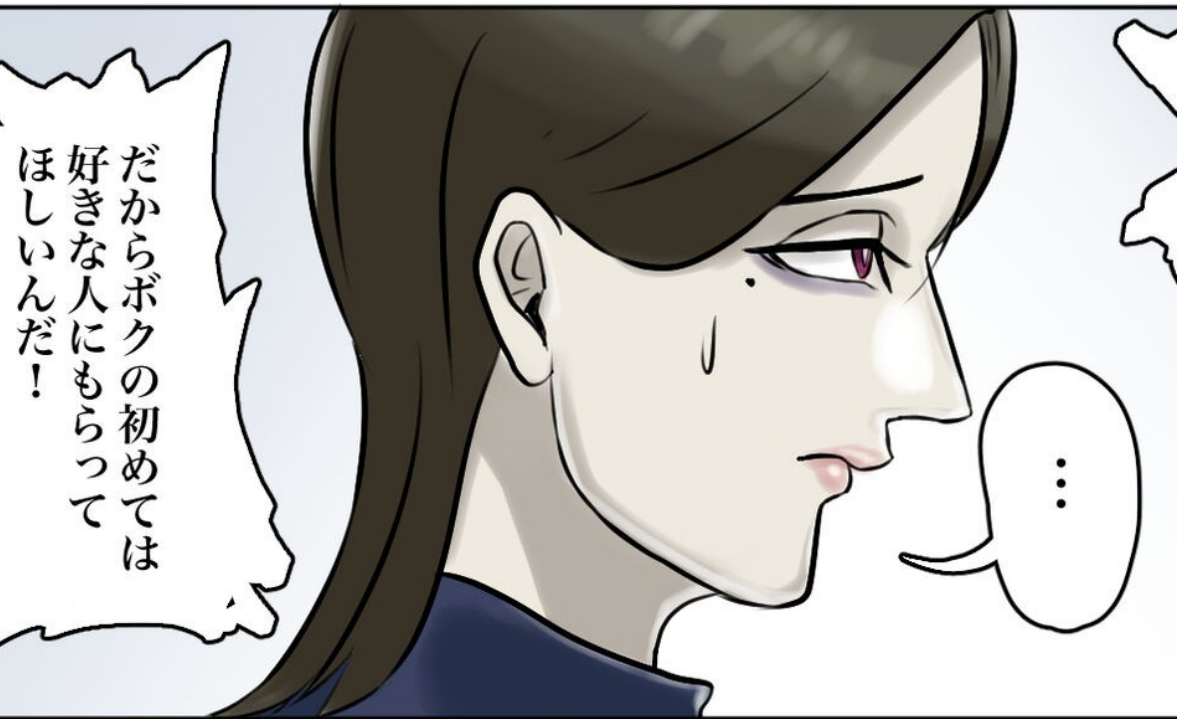






ボク友達も彼女をいないし
ずっと一人で本当はすごく
寂しかったんだ！

慣れてるんだんて嘘だ！



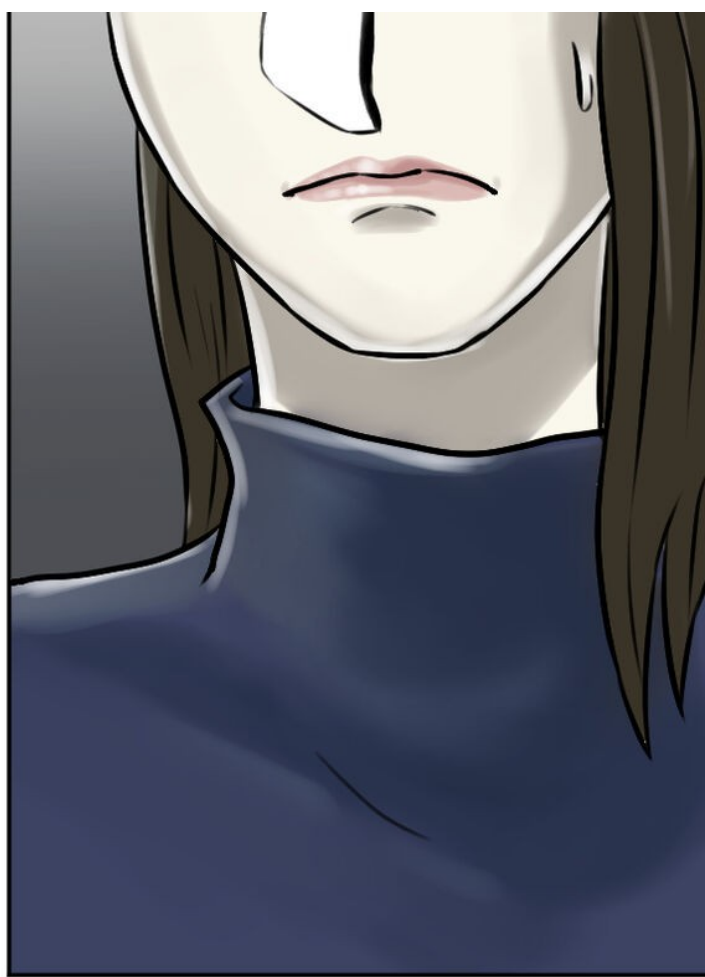
おばさんに優しくされて
ボクおばさんのこと本気で
好きになったんだ！

だからボクの初めては
好きな人にもらって
ほしいんだ！



パパには絶対内緒にする！
だから……だから！

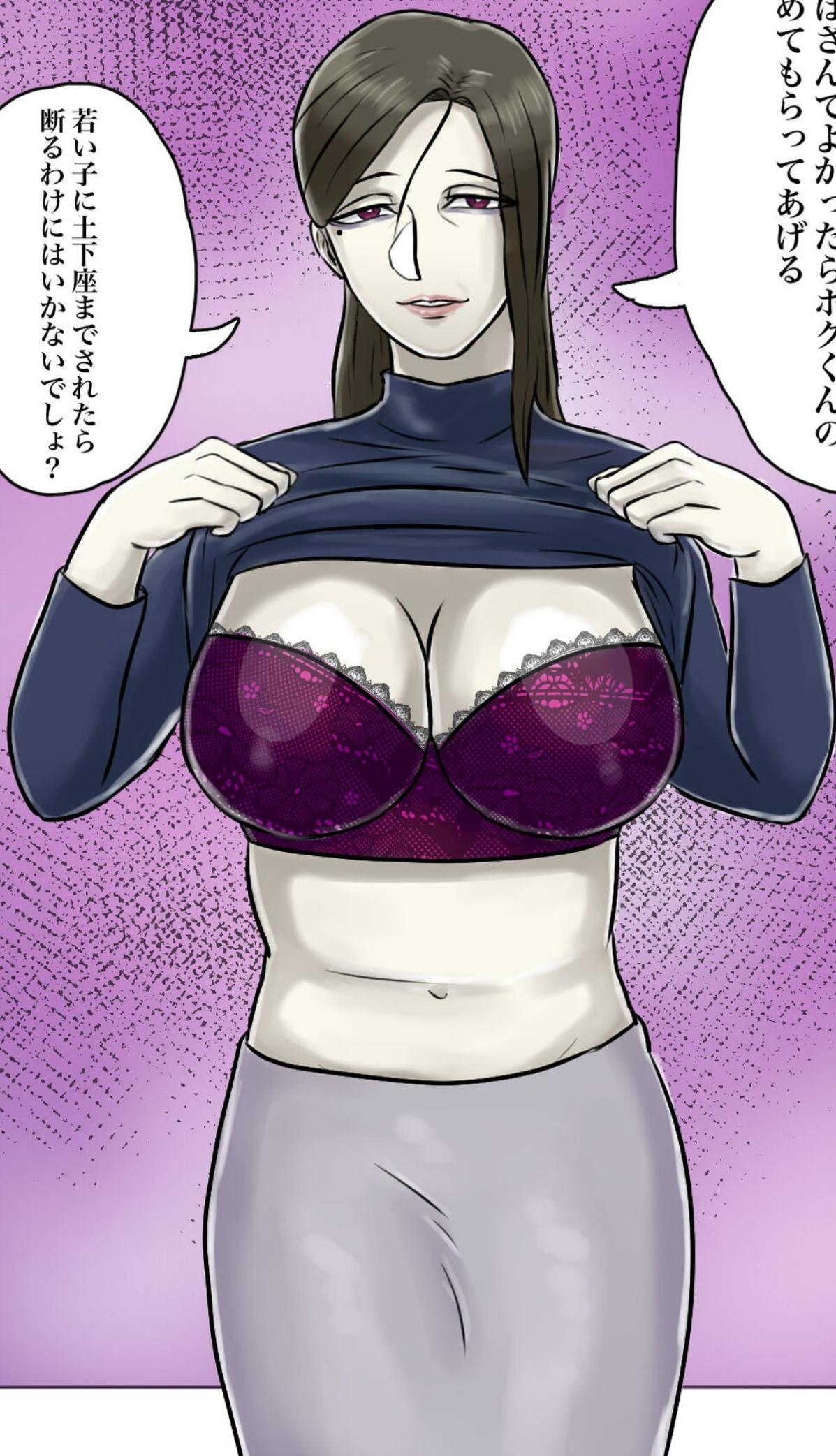
お願いします！

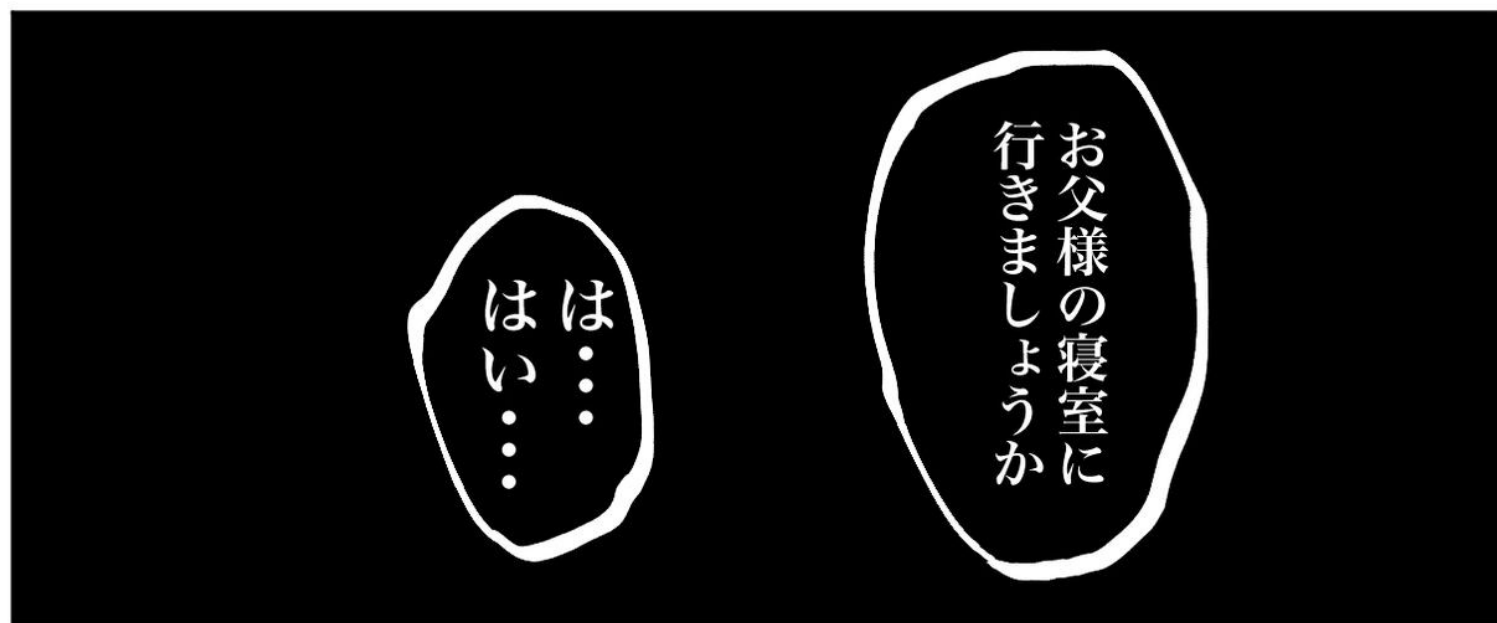
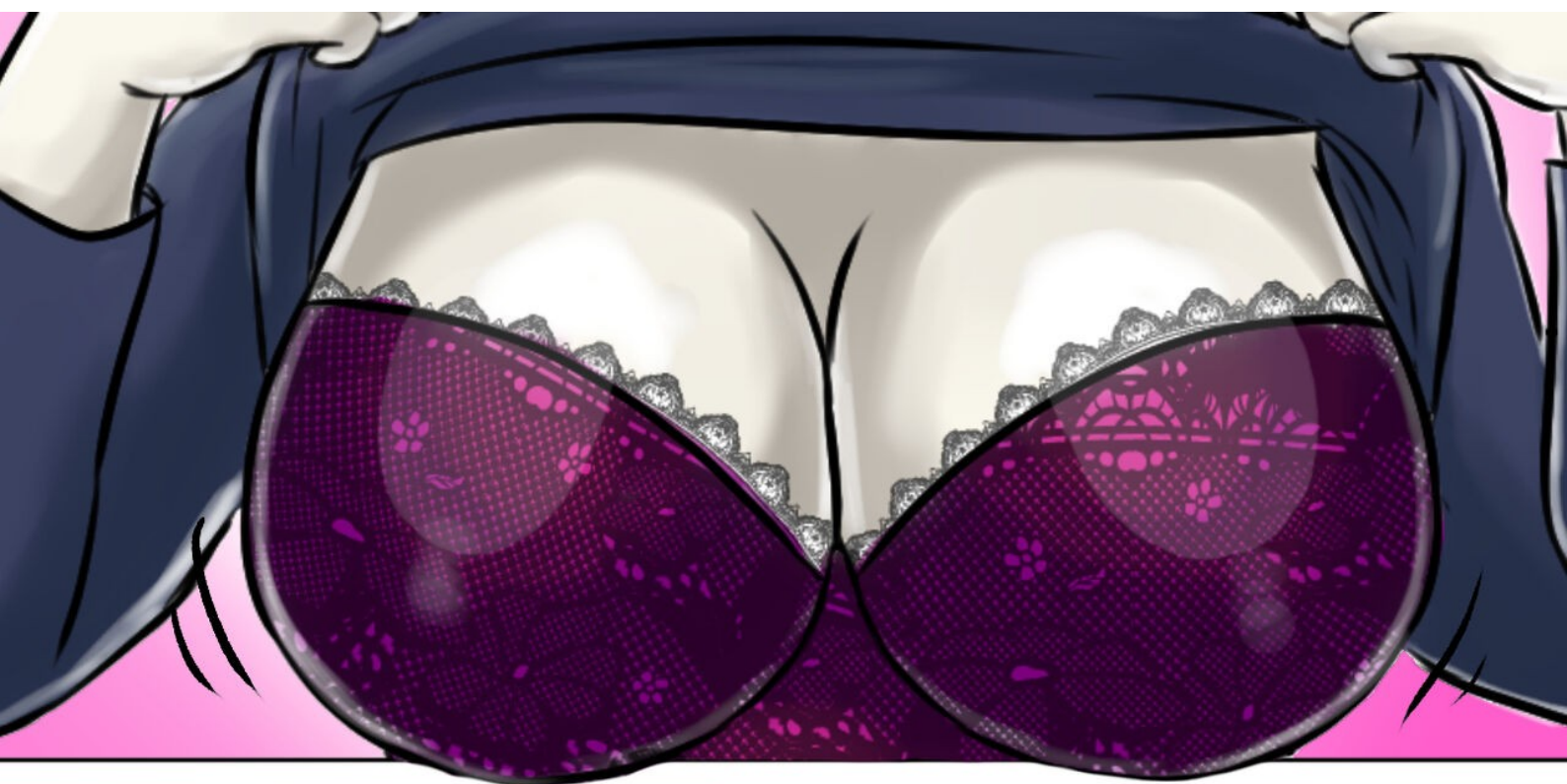


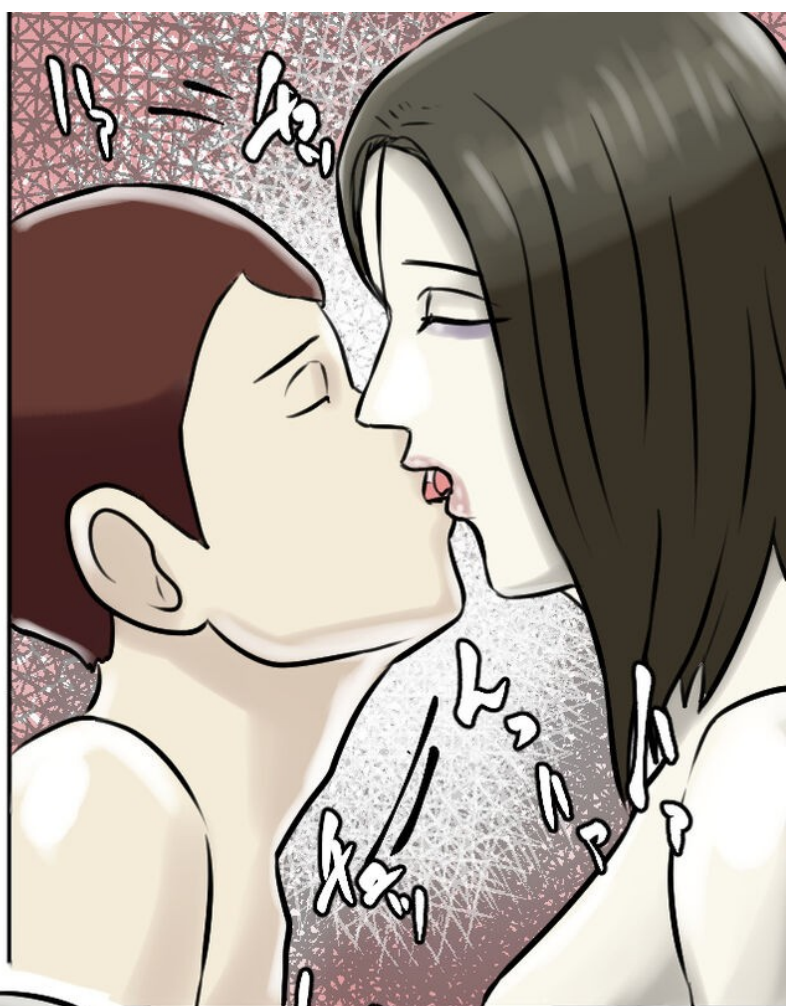
ふふつ
いいわよ

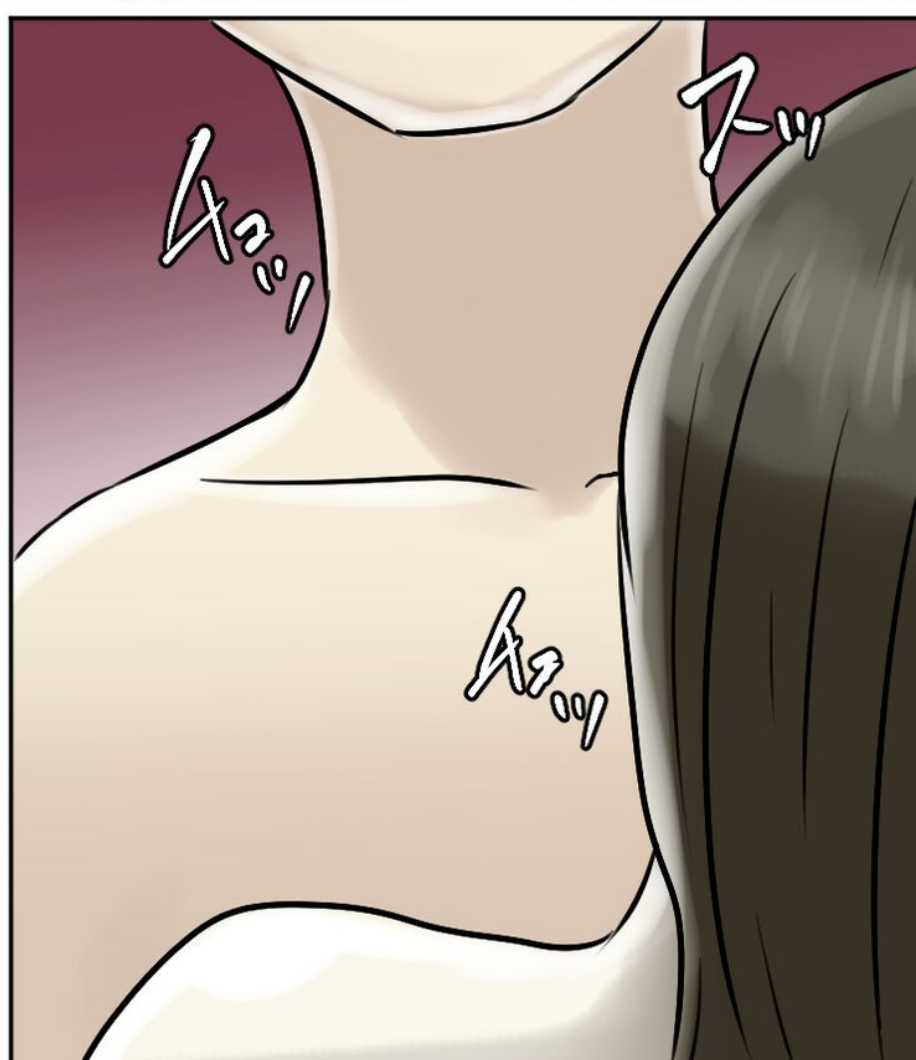
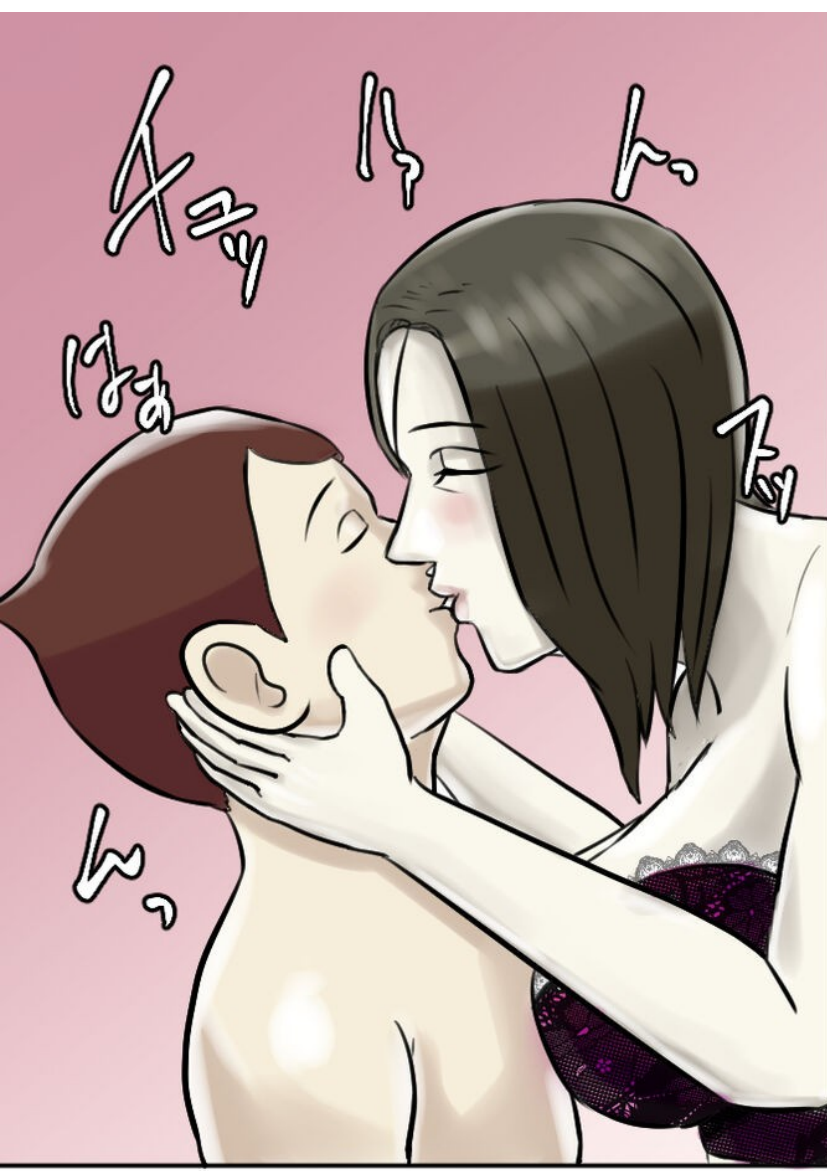
ボクくんの気持ち充分伝わったわ
おばさんでよかったらボクくんの
初めてもらってあげる

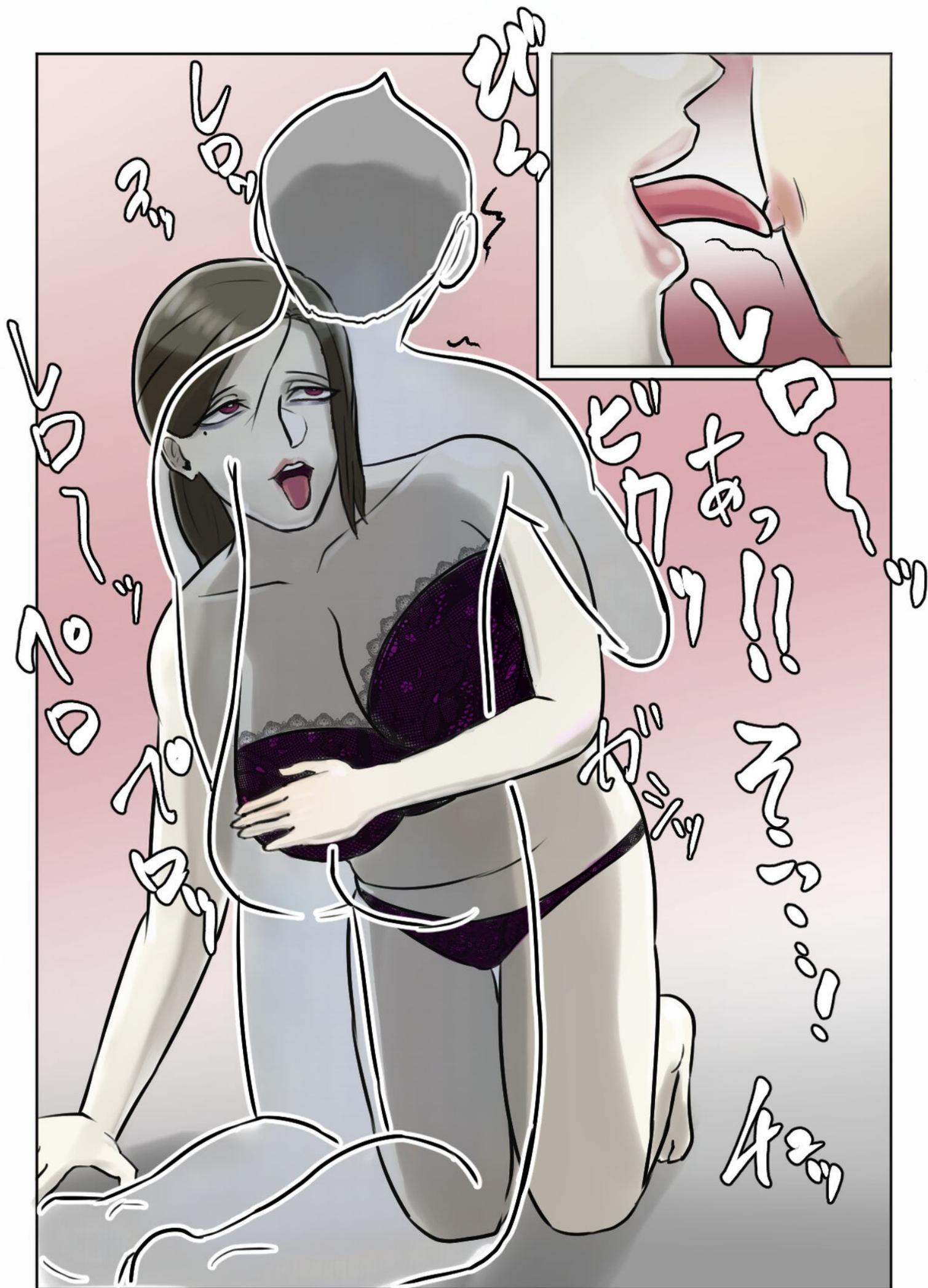
若い子に土下座までされたら
断るわけにはいかないでしょ？

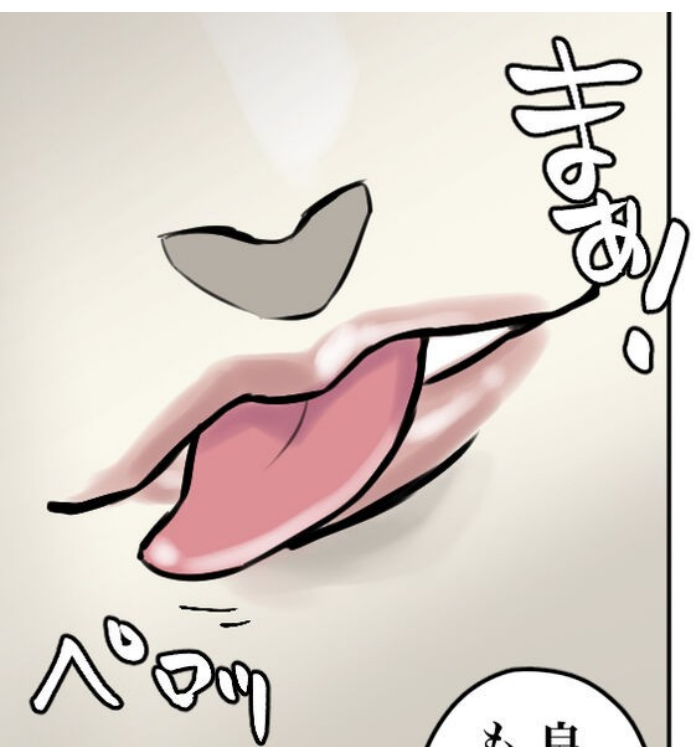




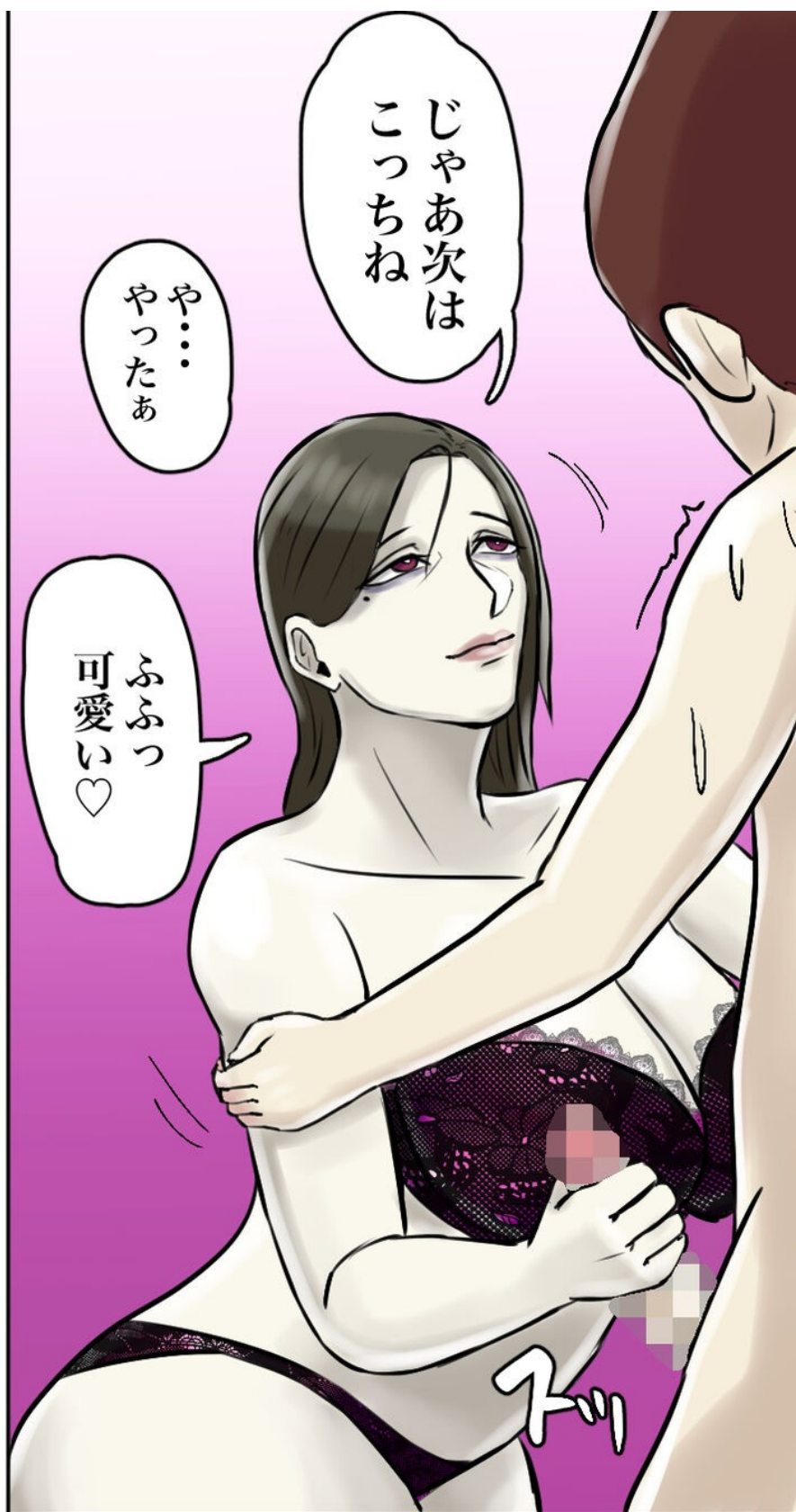






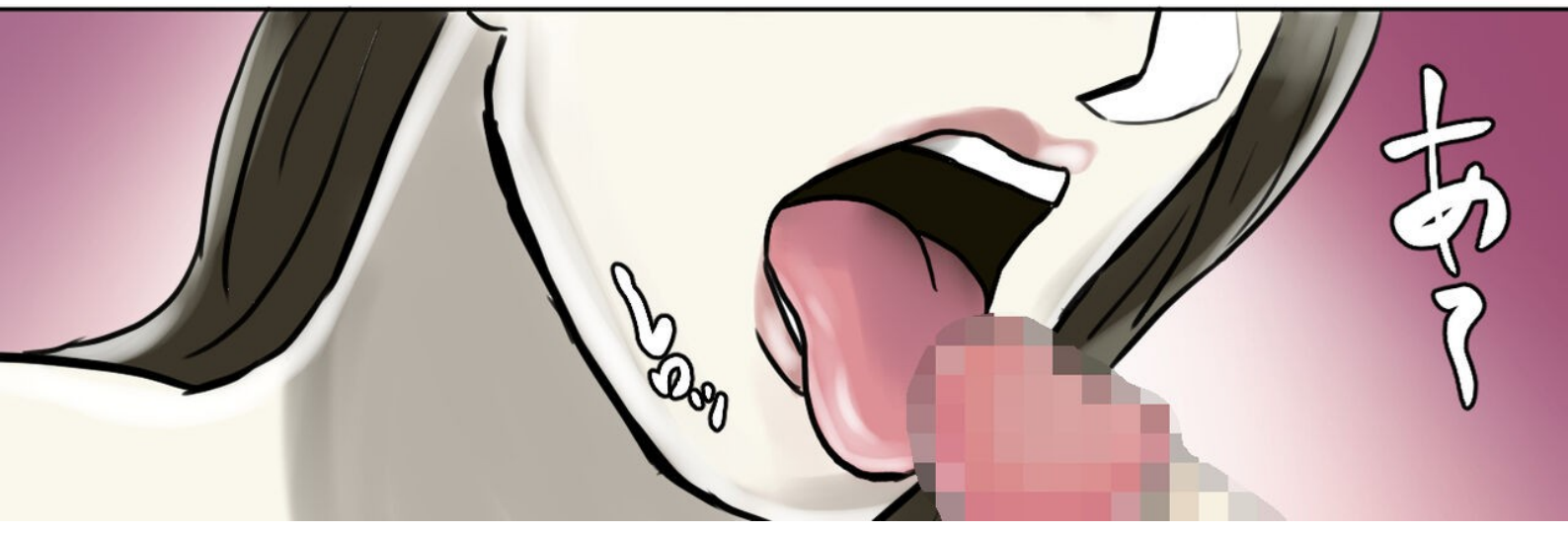


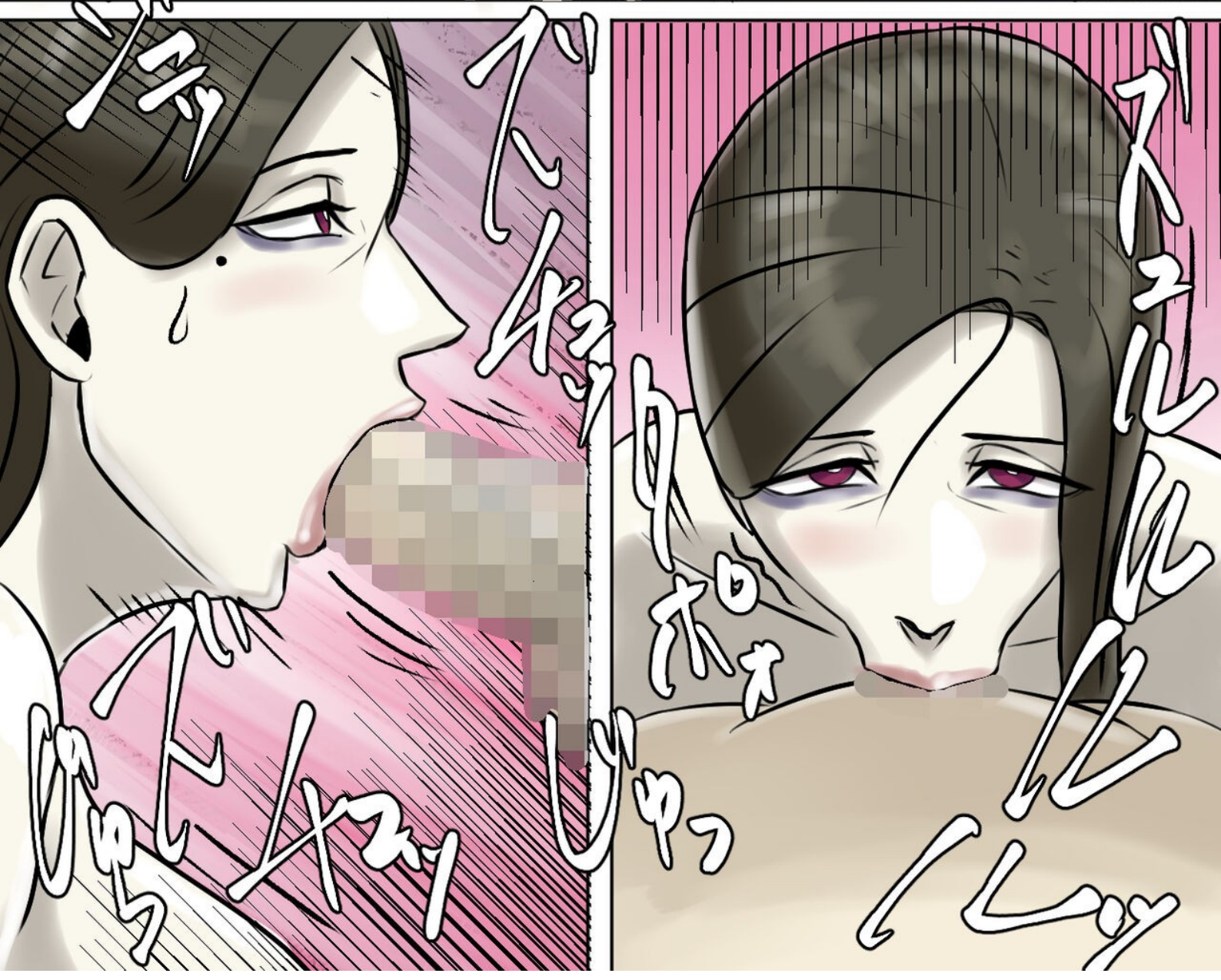
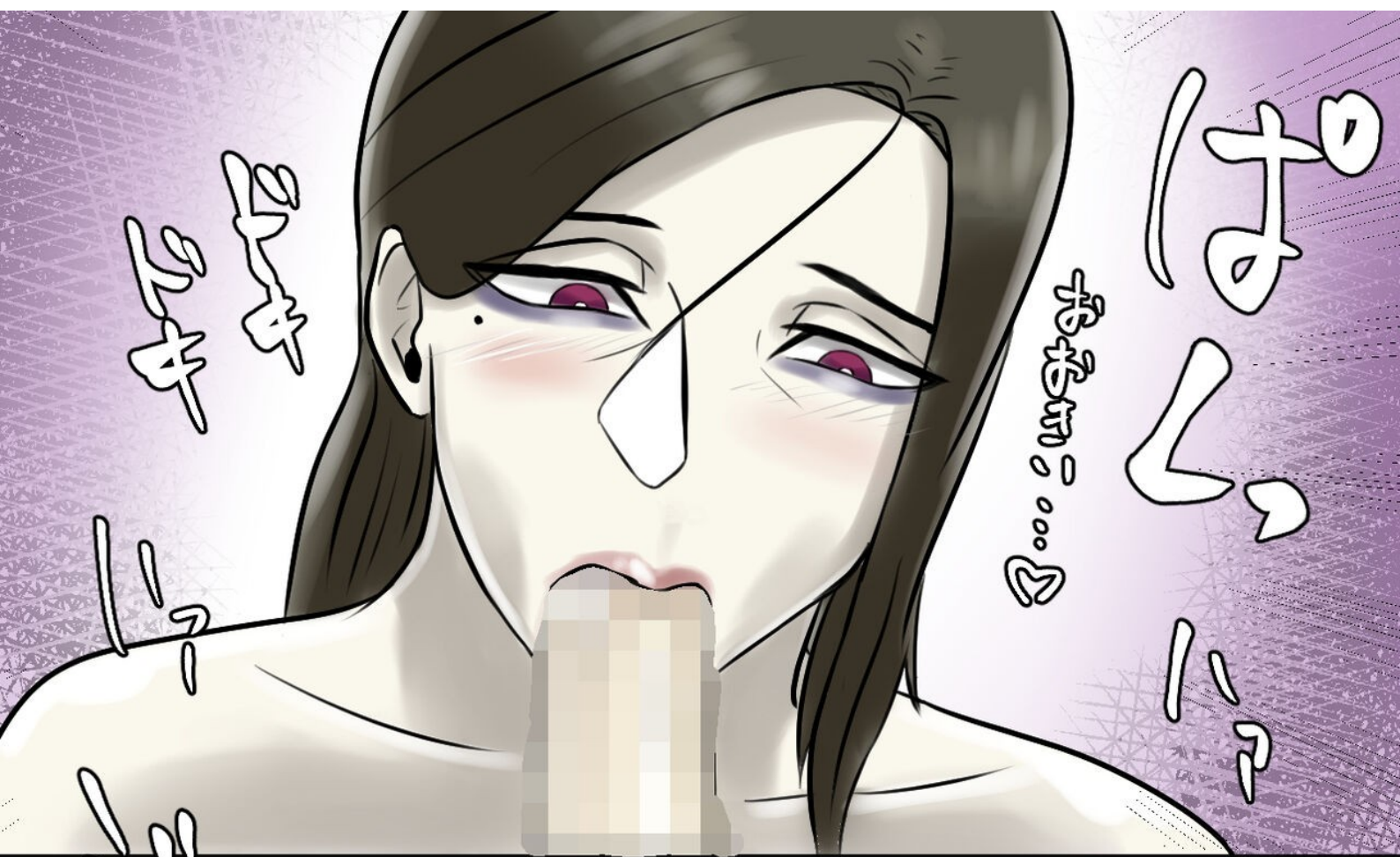
良いもの
もってるのね♡

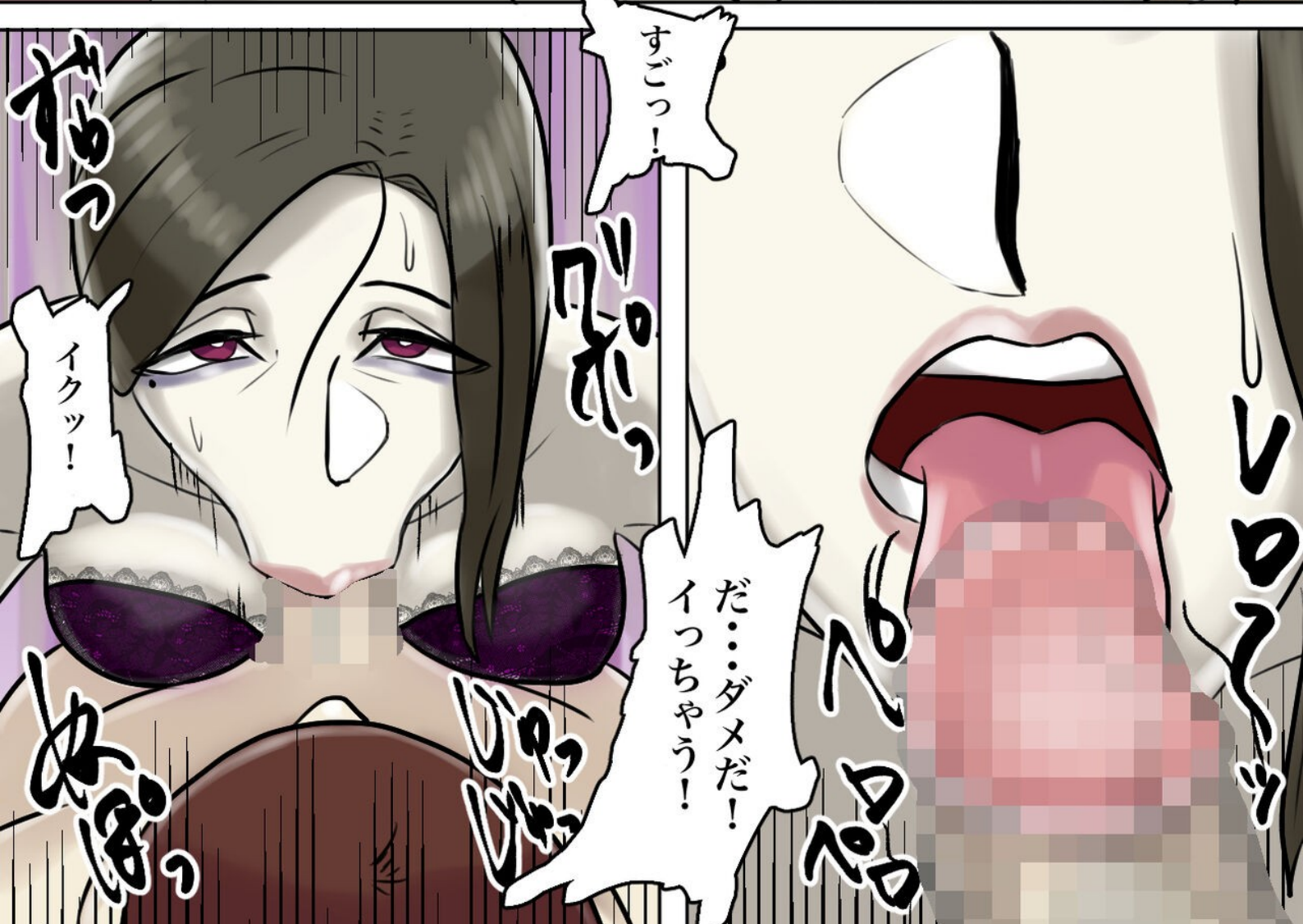


じゃあ次は
こっちね

ふふつ
可愛い♡









あらあら
お口の中に出し
ちやったのね

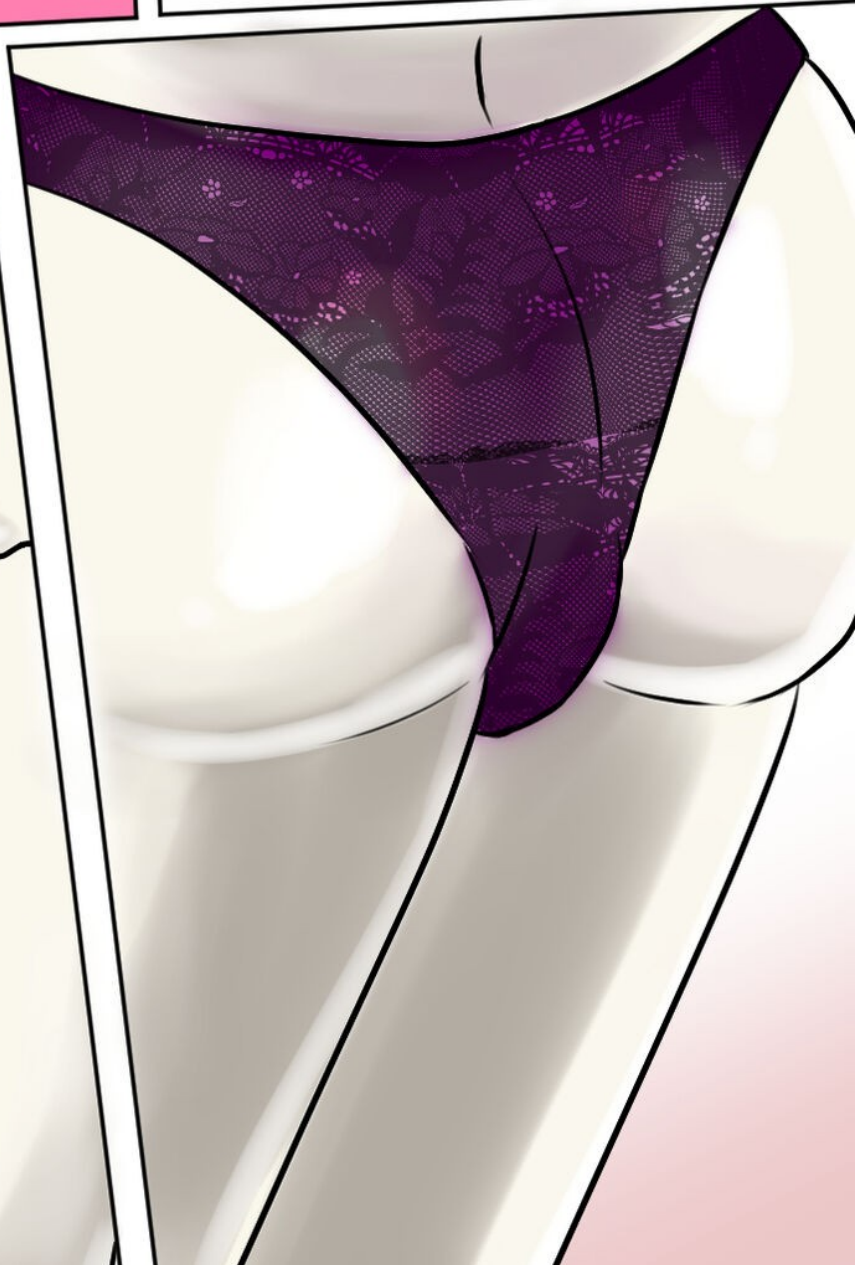
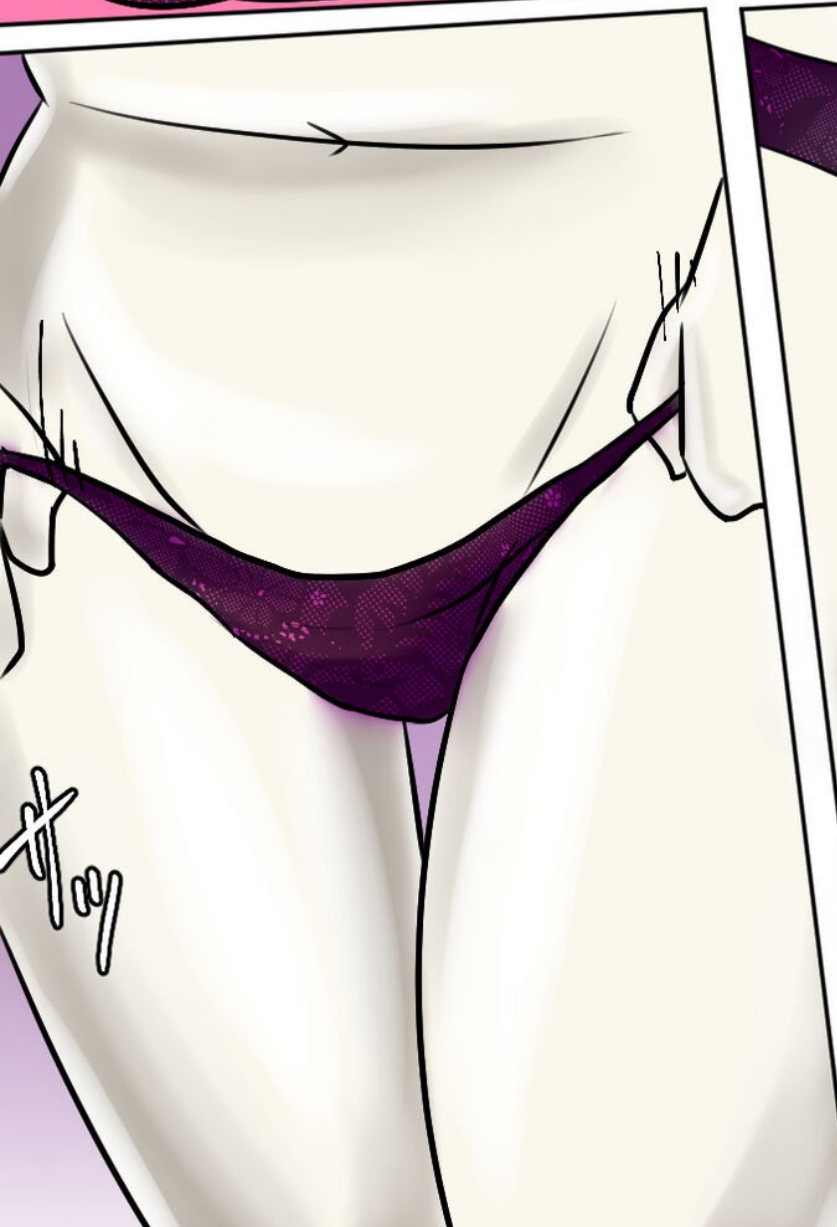
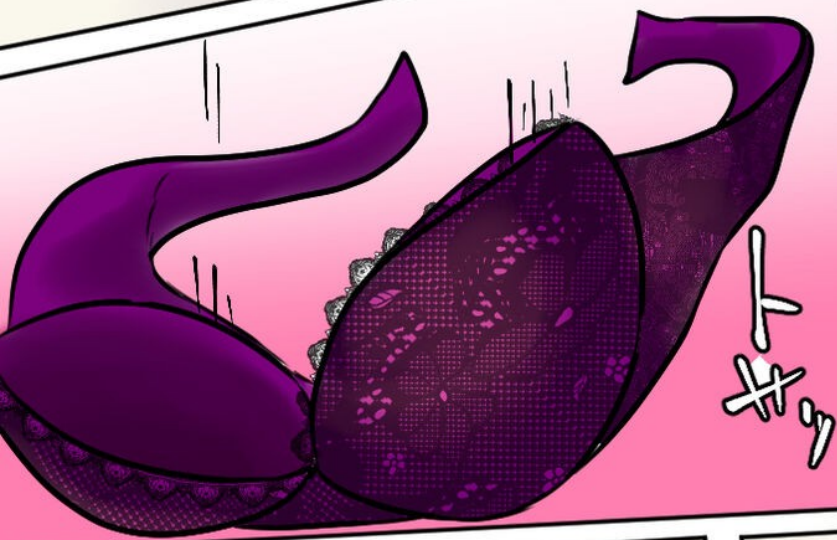
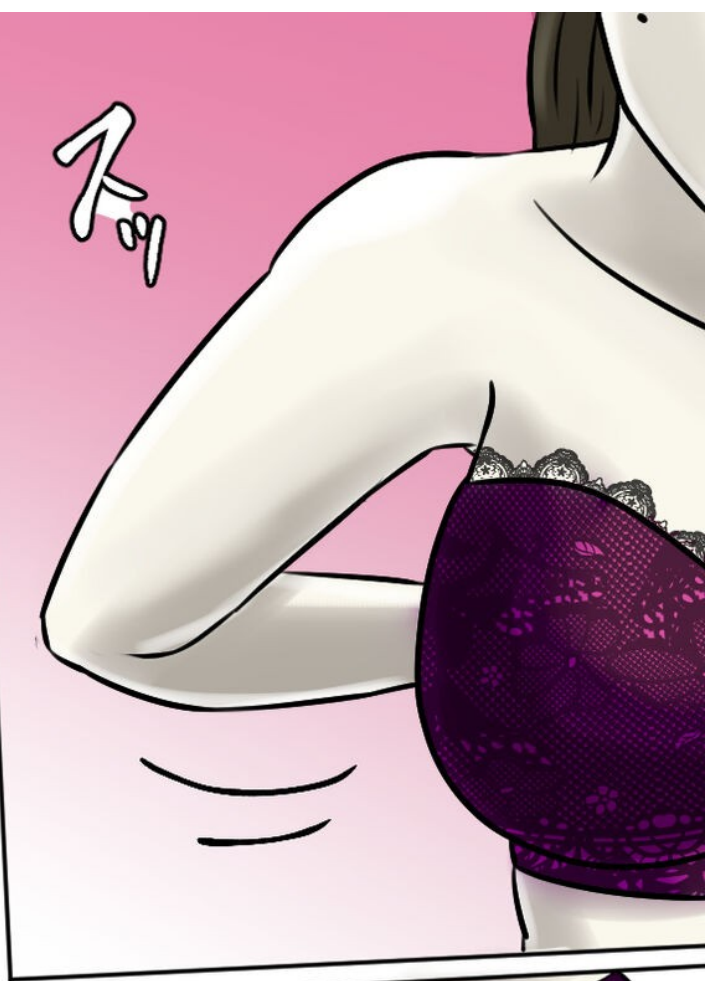


おいしっ♡



飲んで
あげる

あゝ



さあ
これがおばさんの
おま○こよ

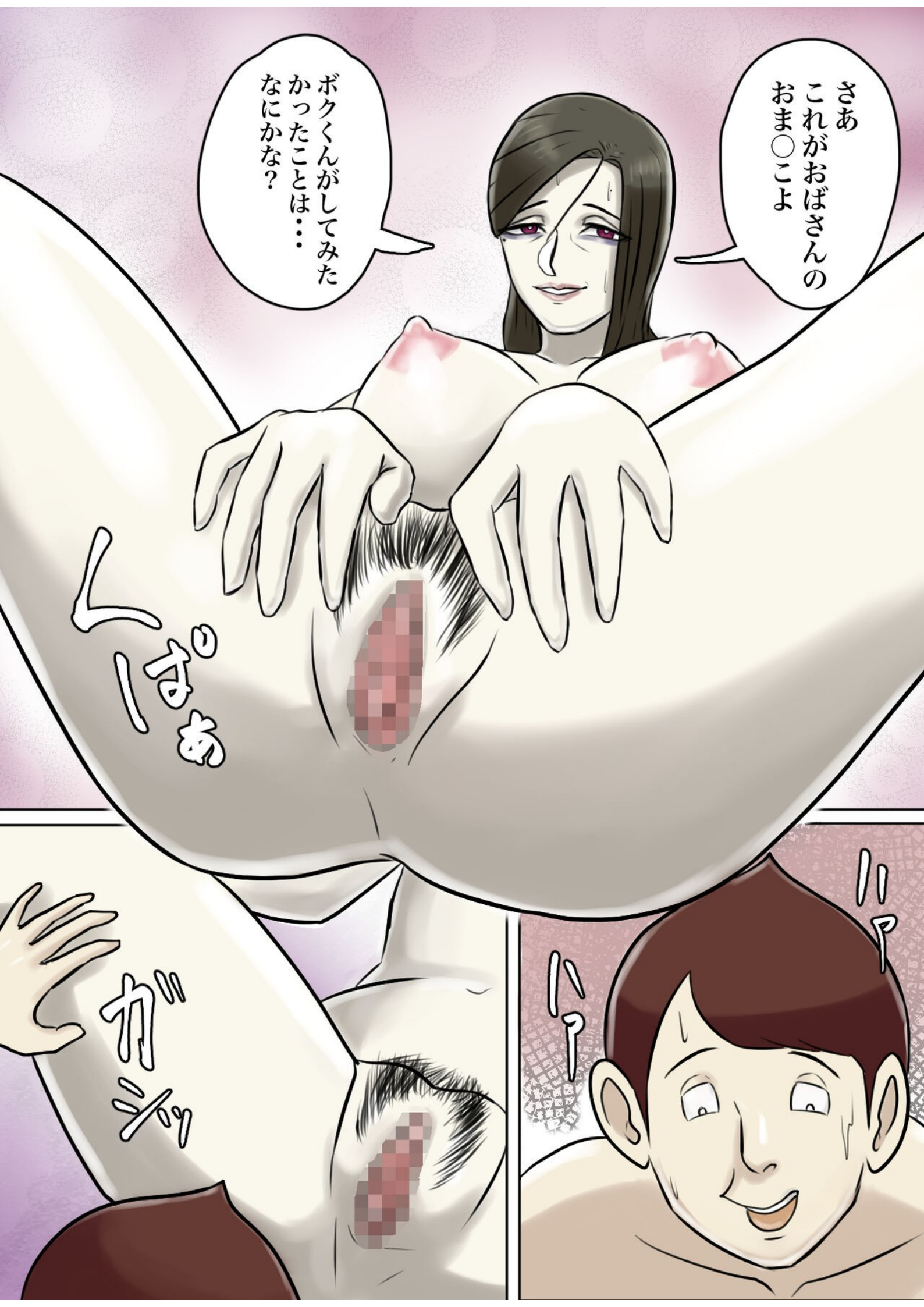
ボクくんがしてみた
かったことは…
なにかな？

くはあ

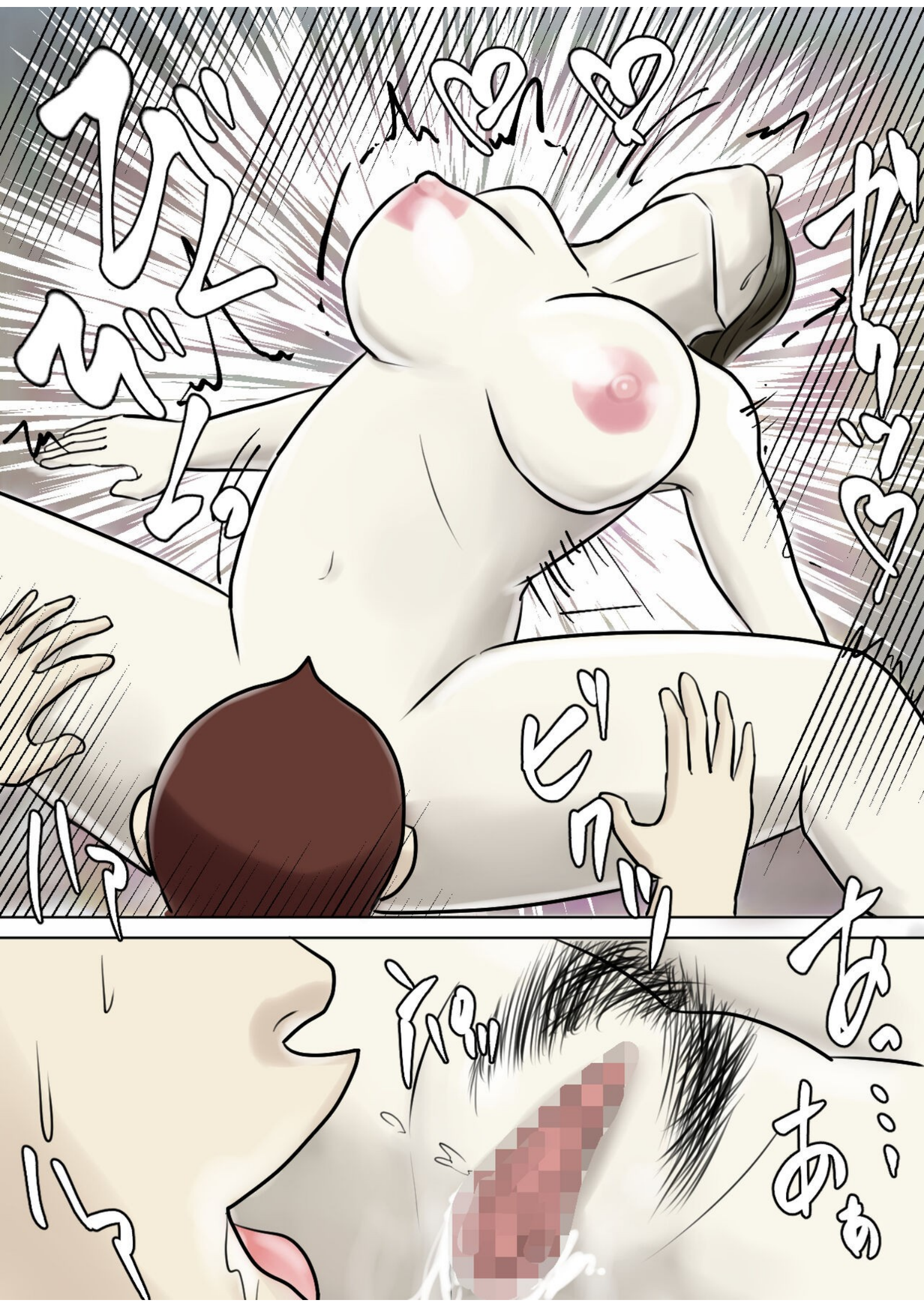
か
ニッ

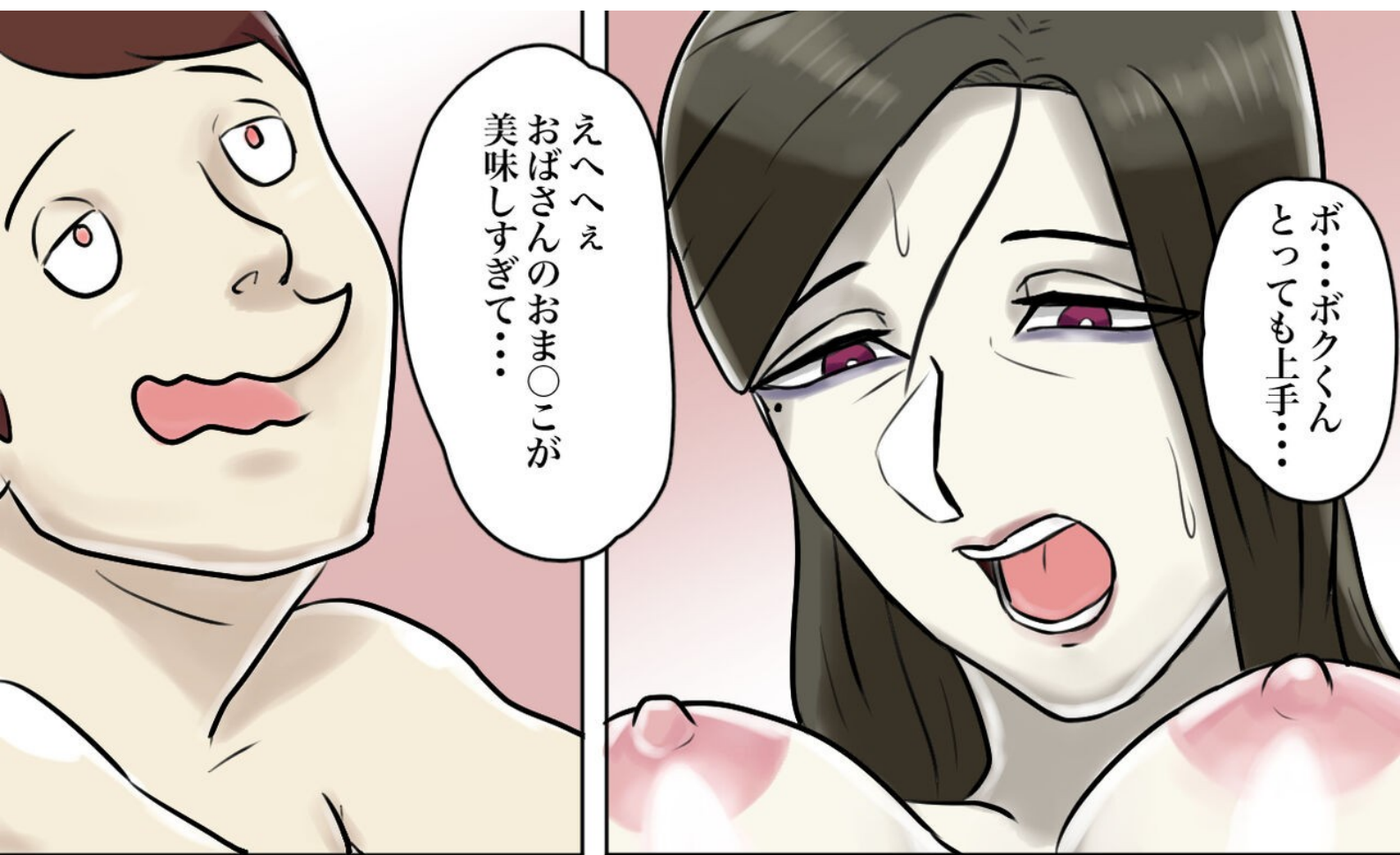
ハ
ハ

ハ
ハ



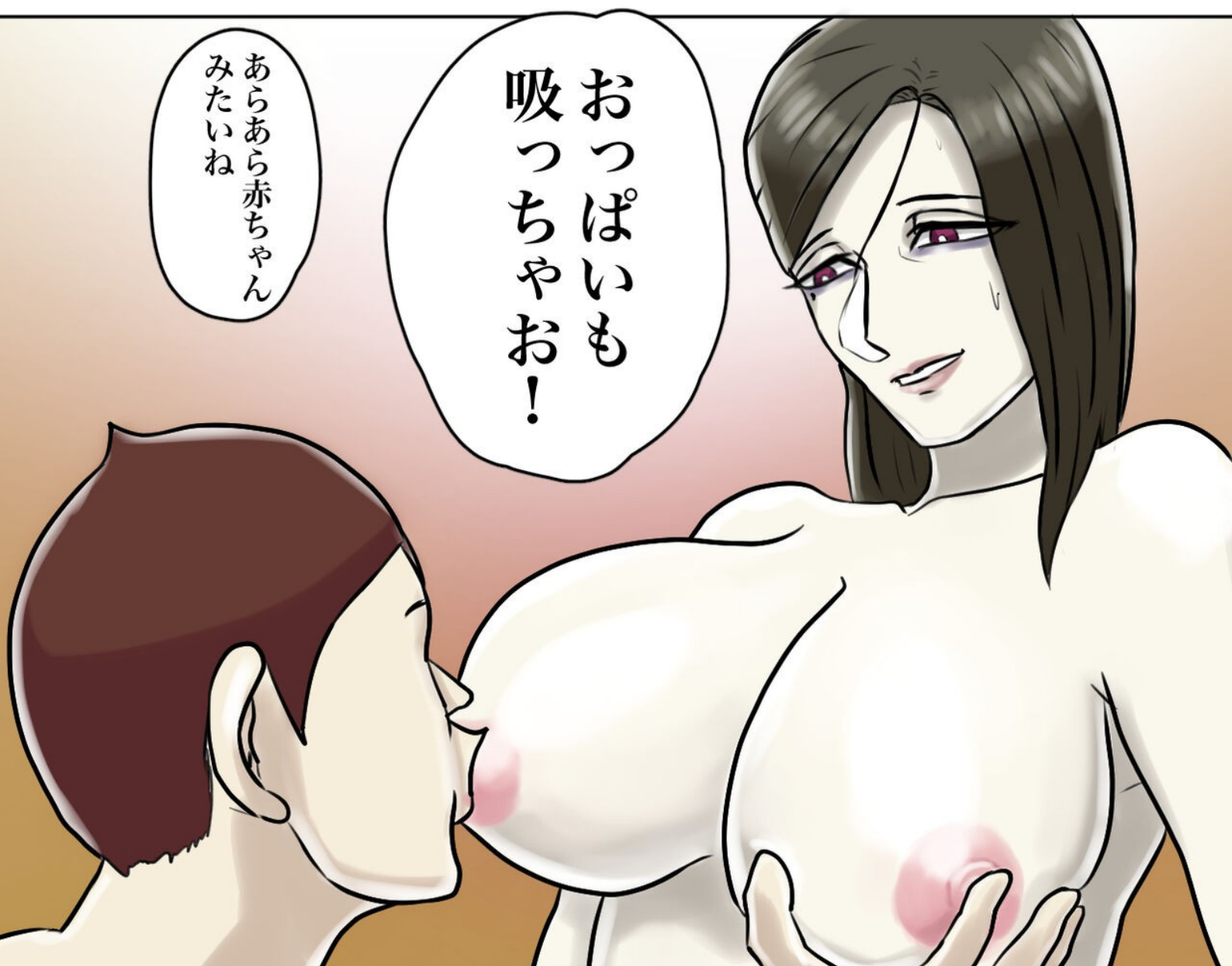






ボ...ボクくん
とっても上手...

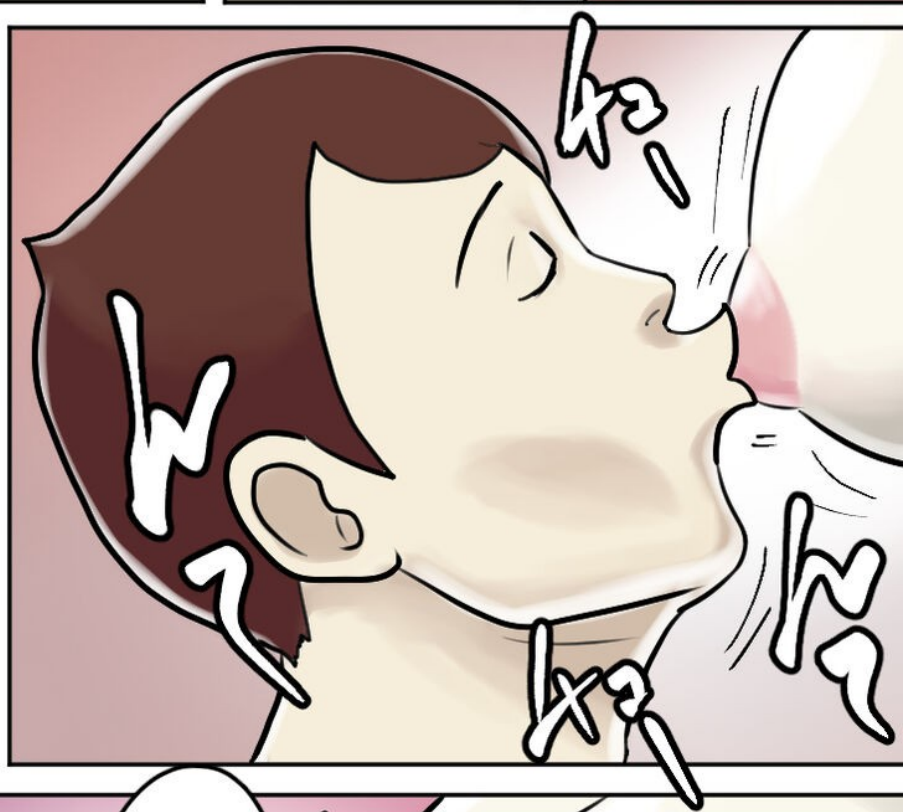
えへへえ
おばさんのおま〇こが
美味しすぎて...



おっぱいも
吸っちゃお!

あらあら赤ちゃん
みたいね

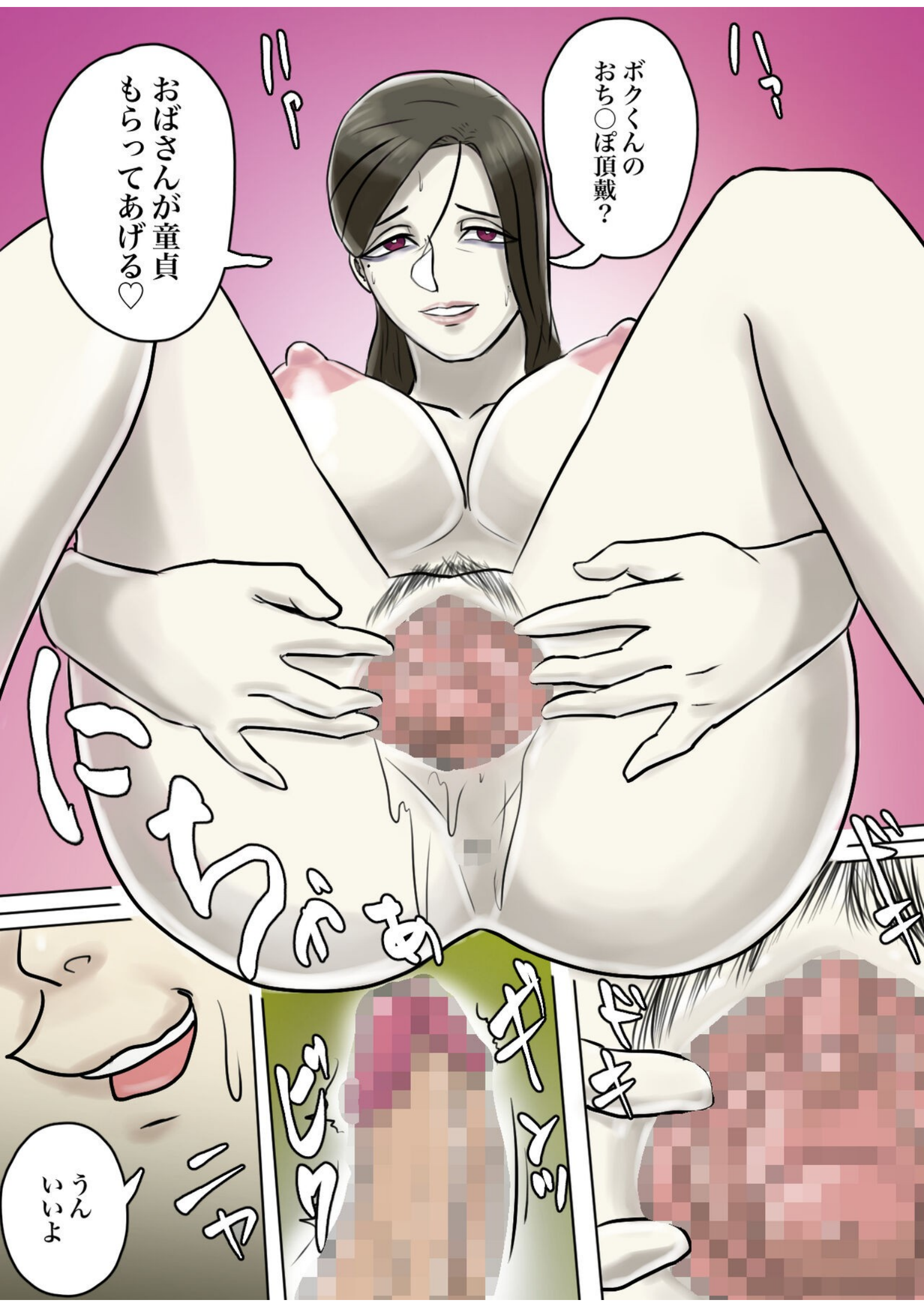




ボクくんの
おち○ぽ頂戴？

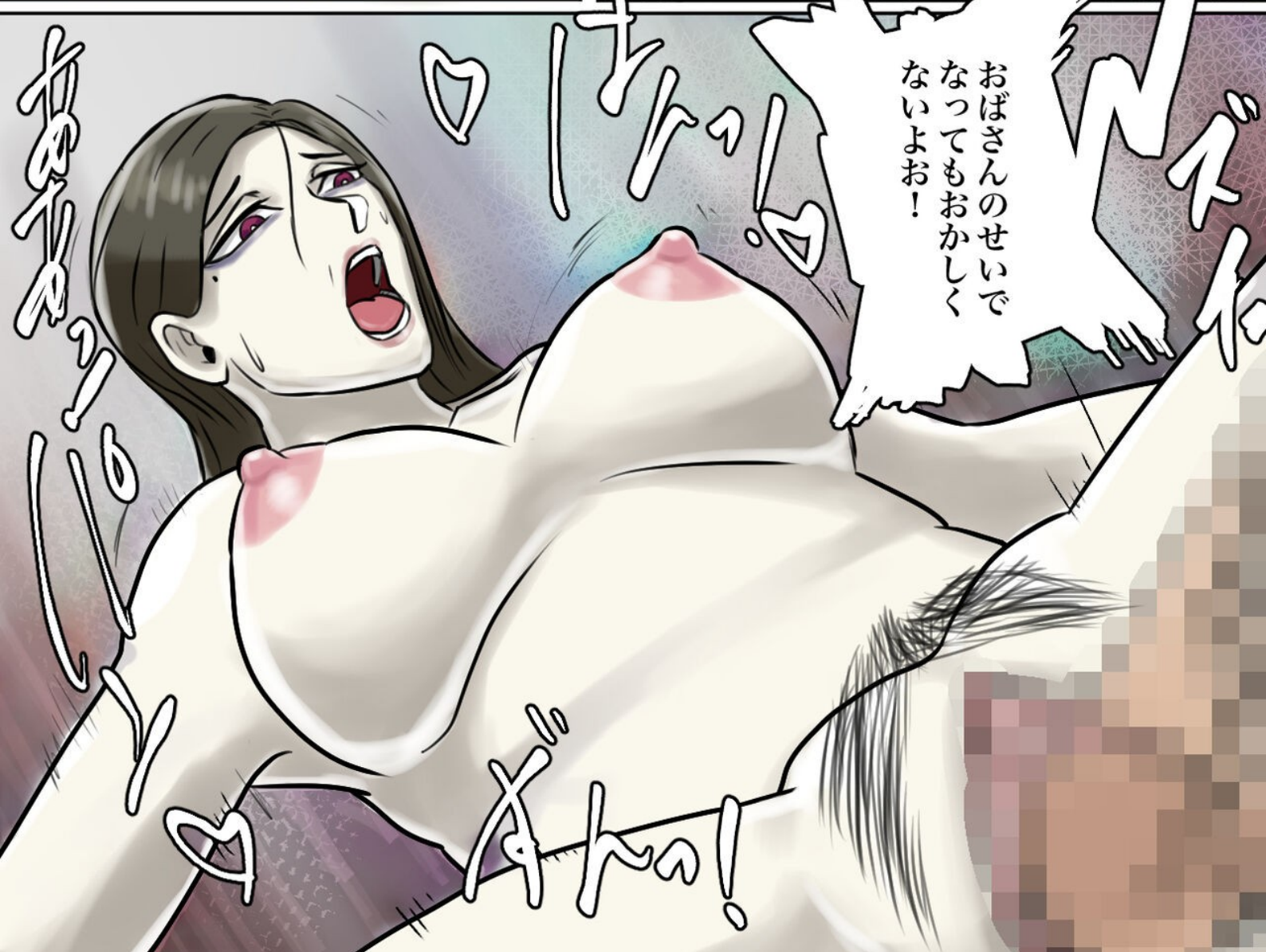
おばさんが童貞
もらってあげる♡

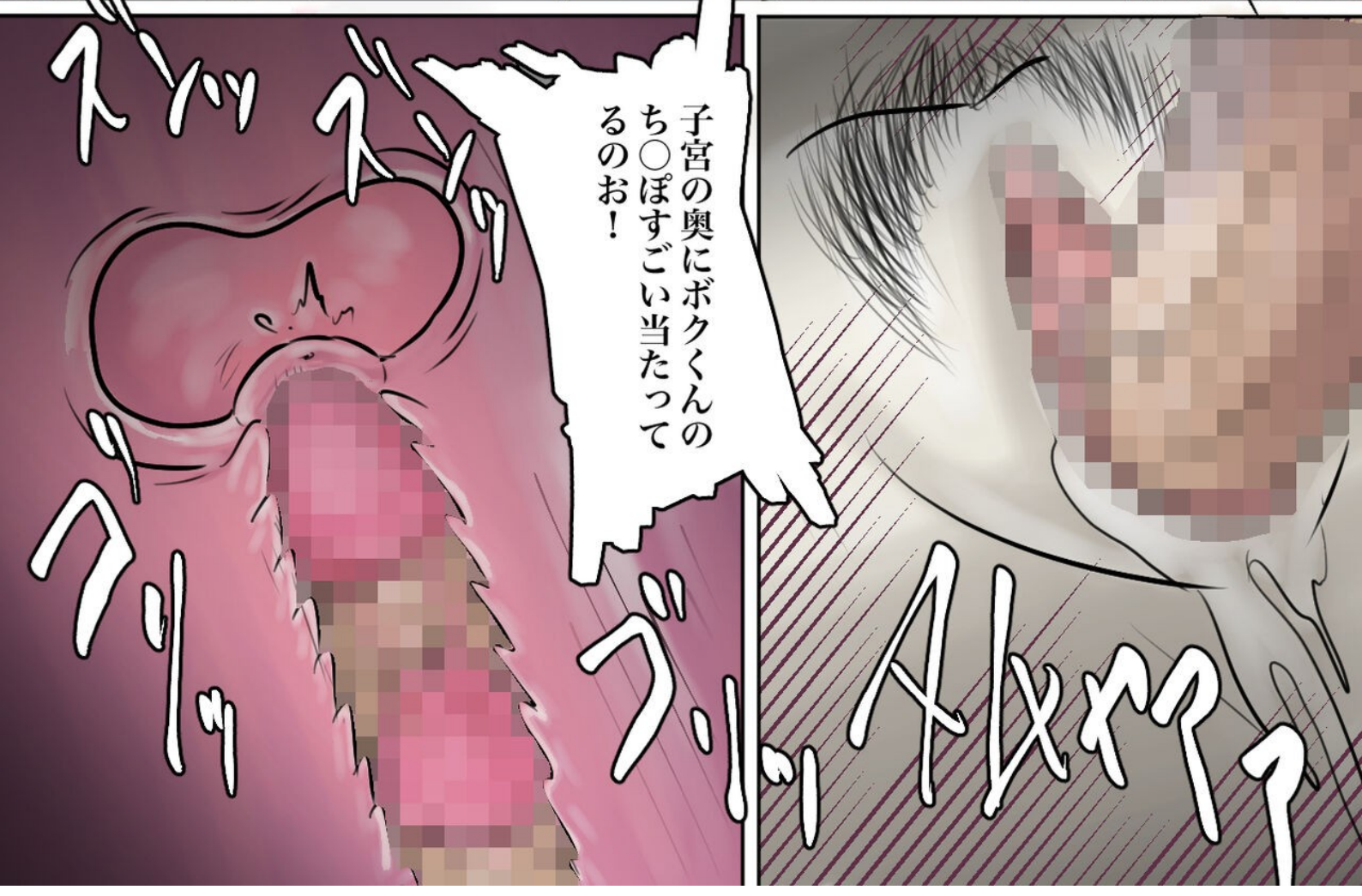
うん
いいよ

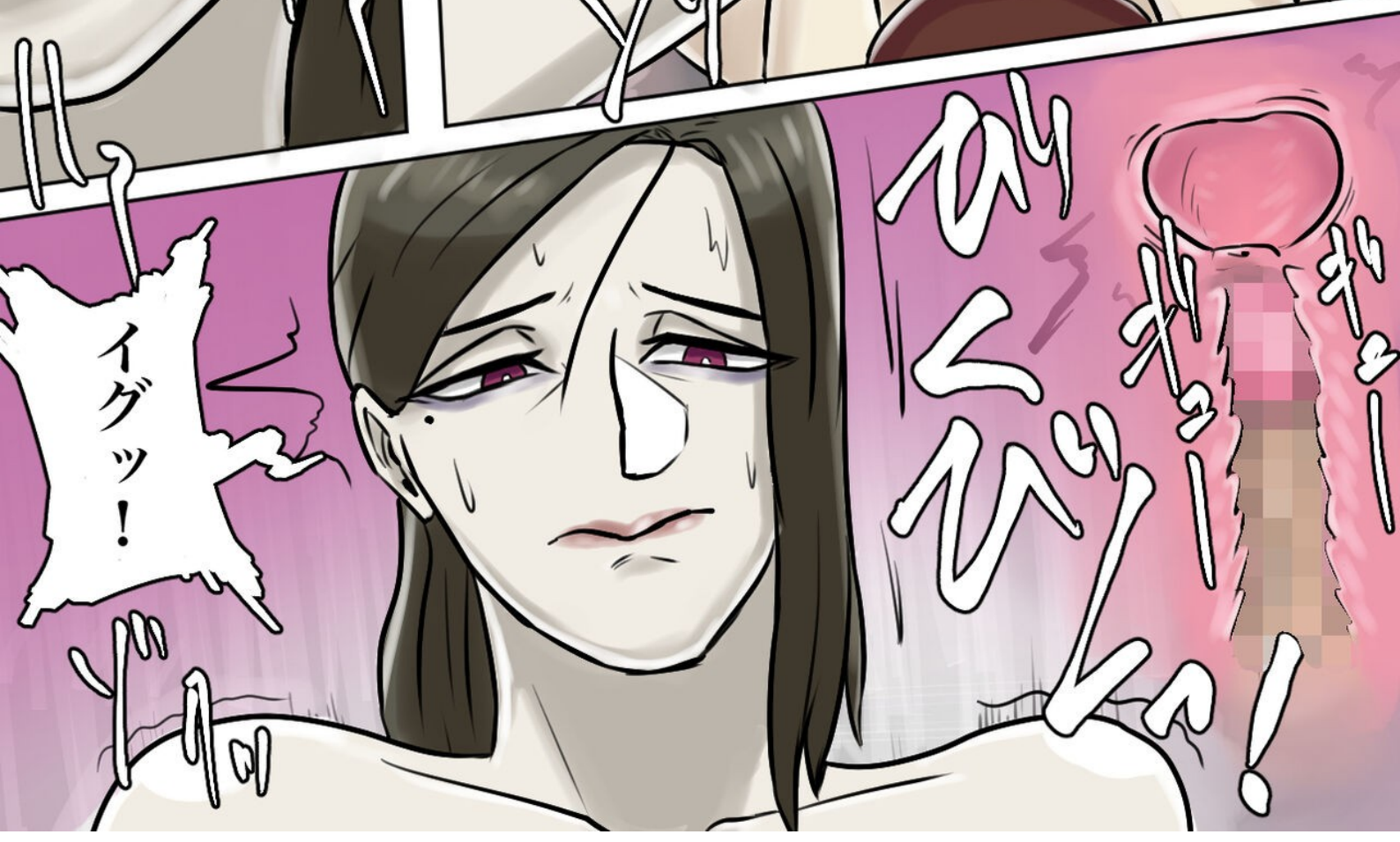


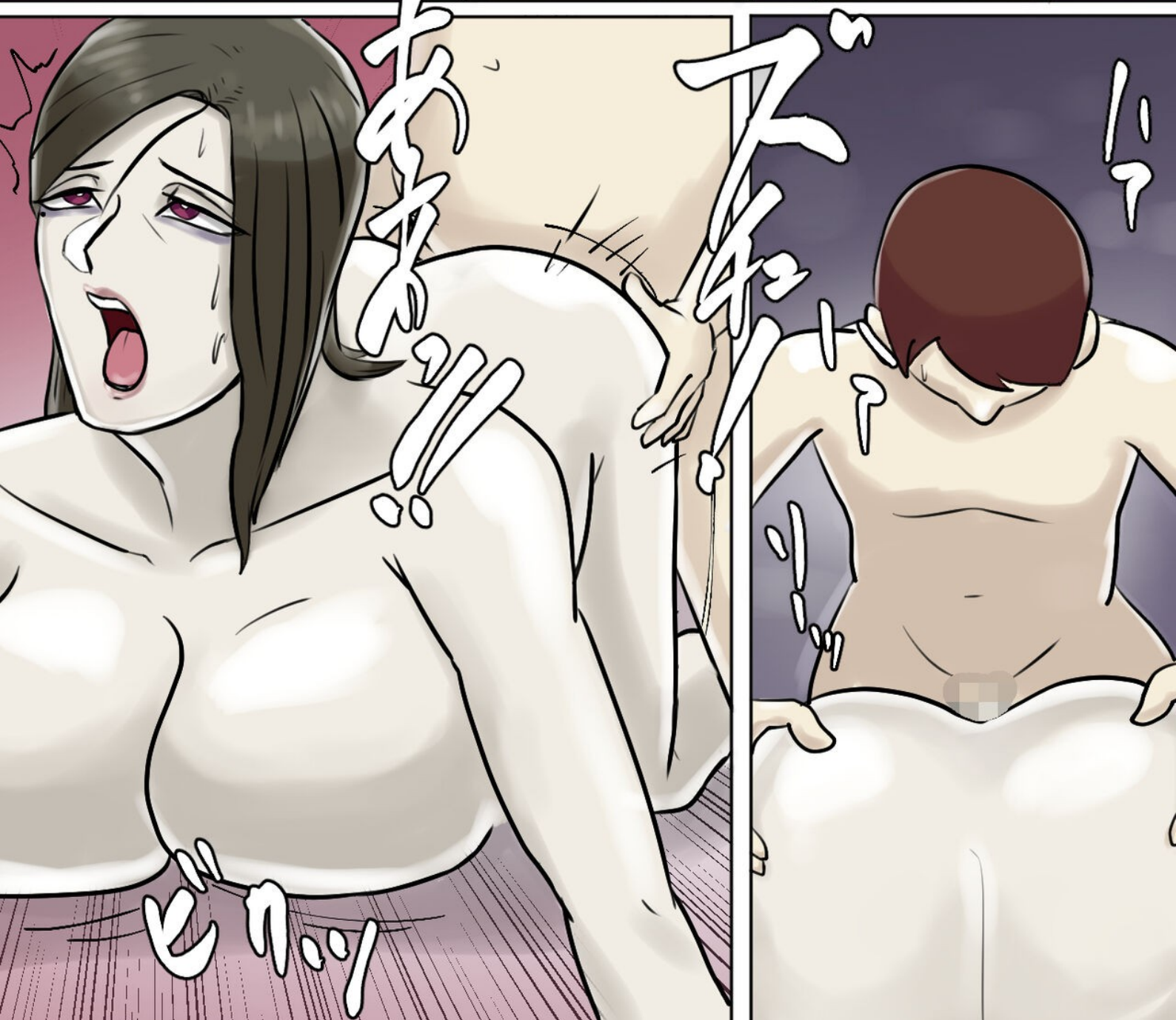
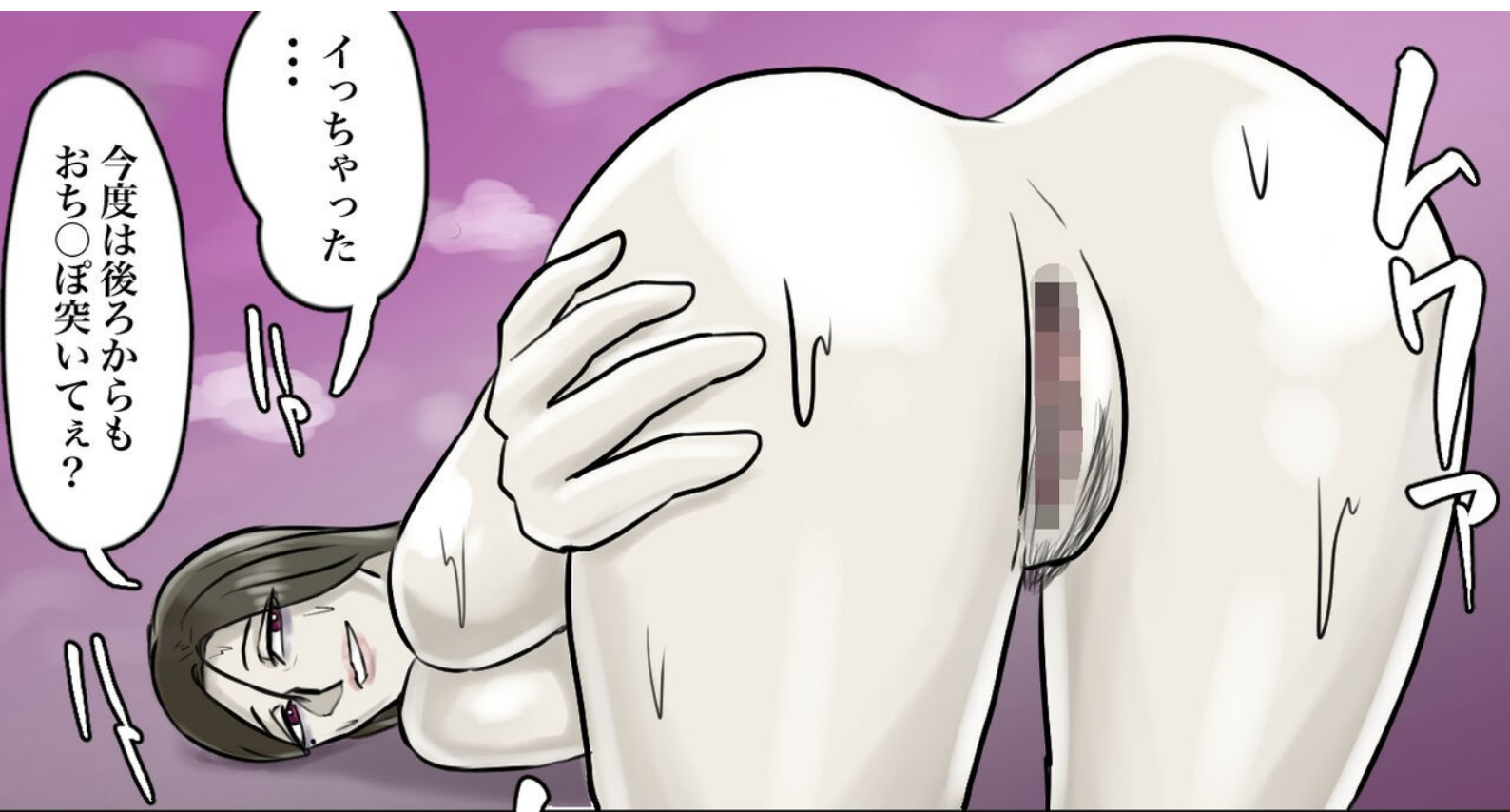


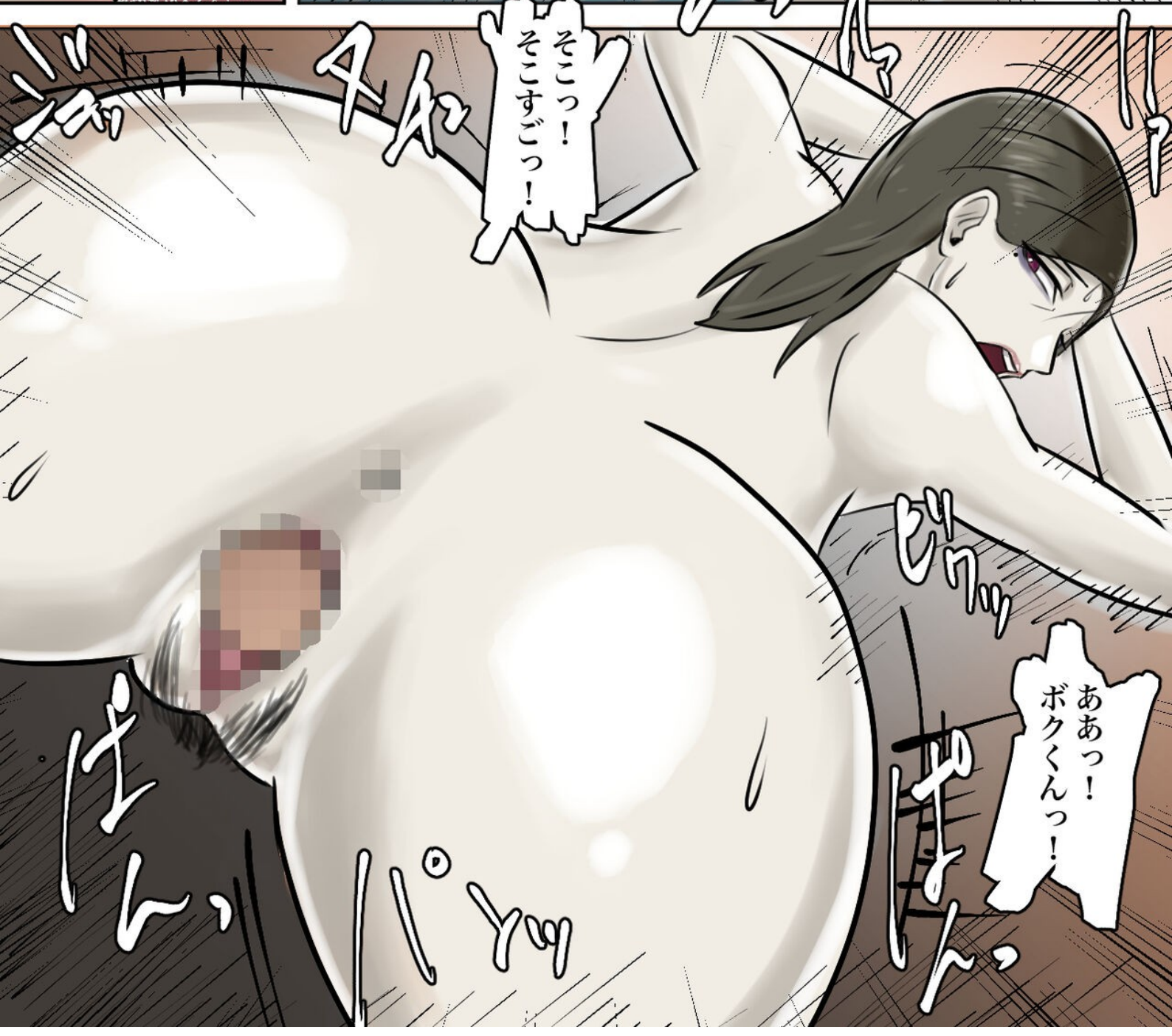
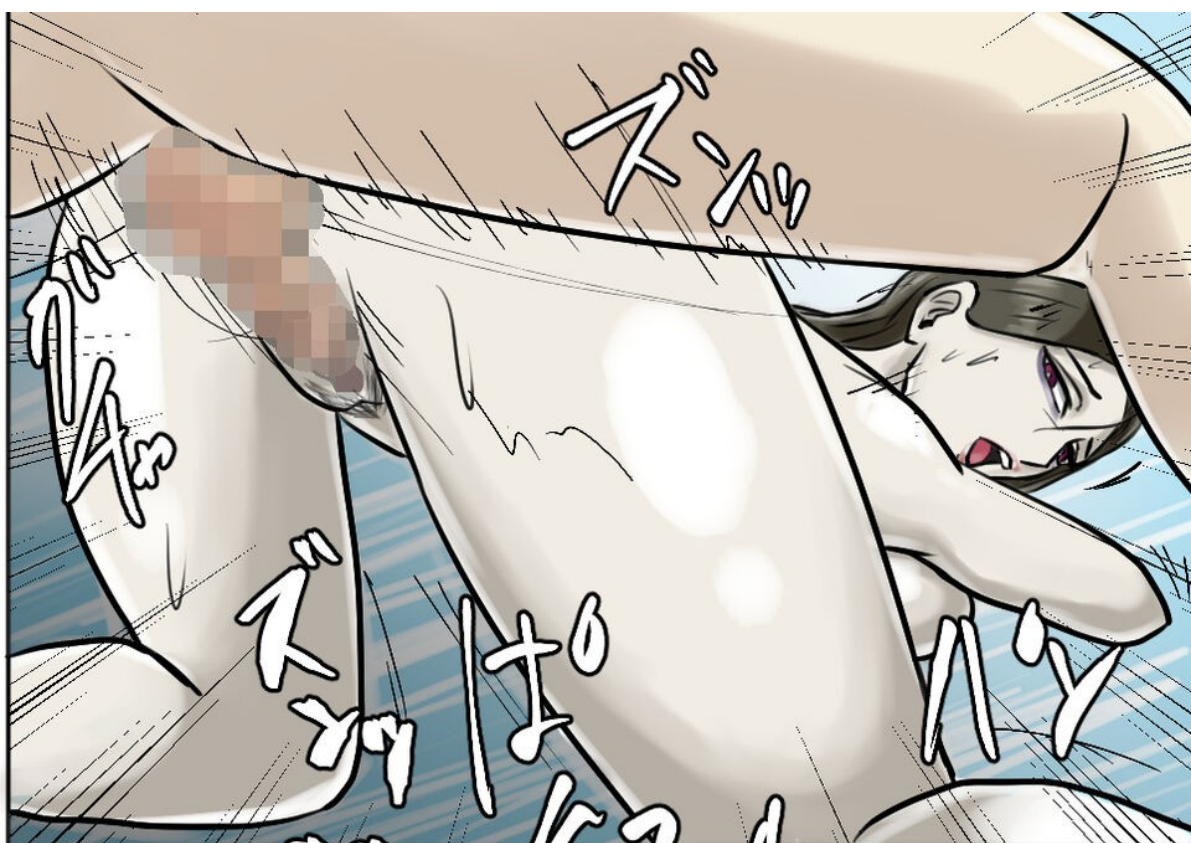
アアっ!
ボクくんの童貞卒業
ち○ぽすっごいわ!

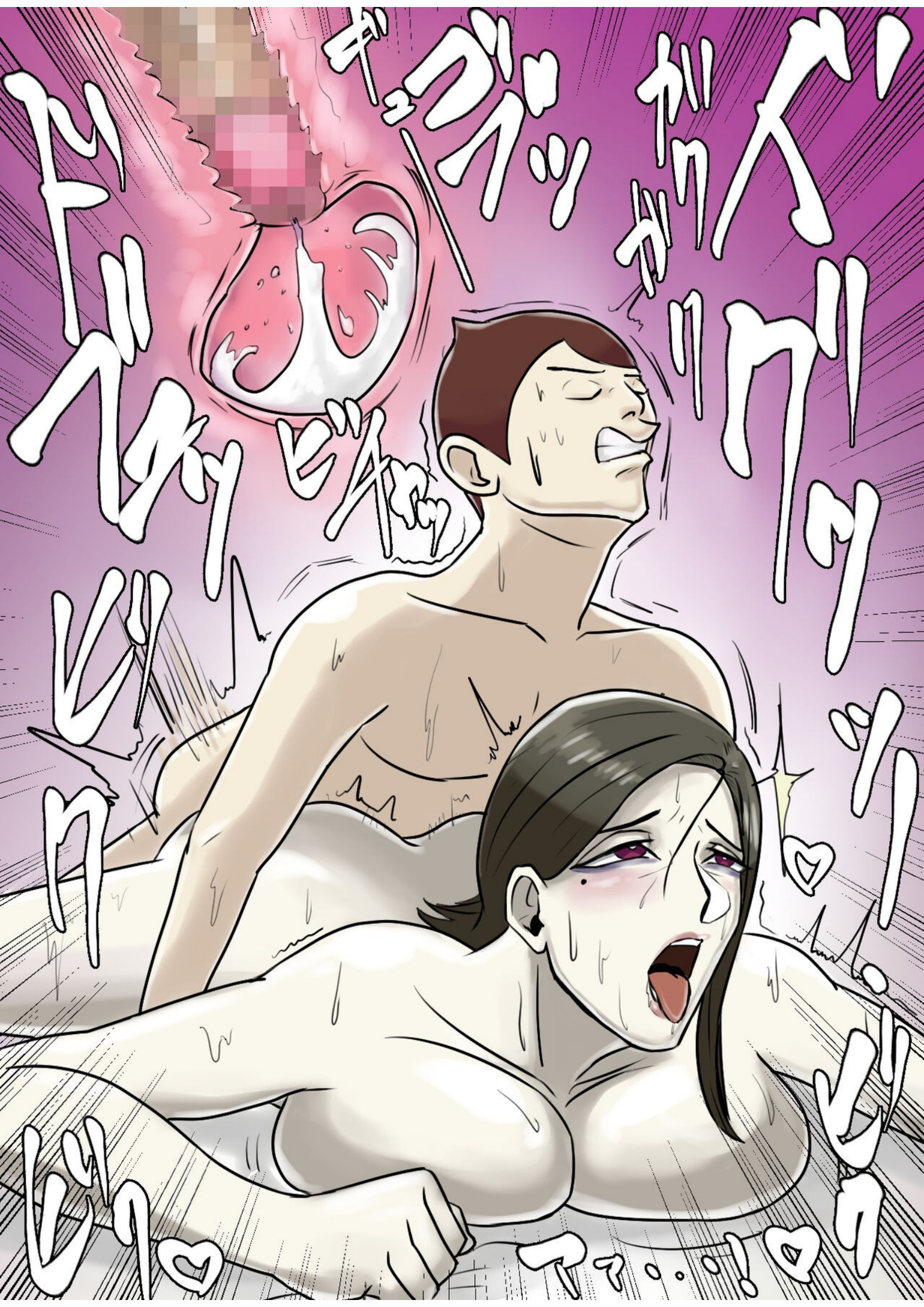


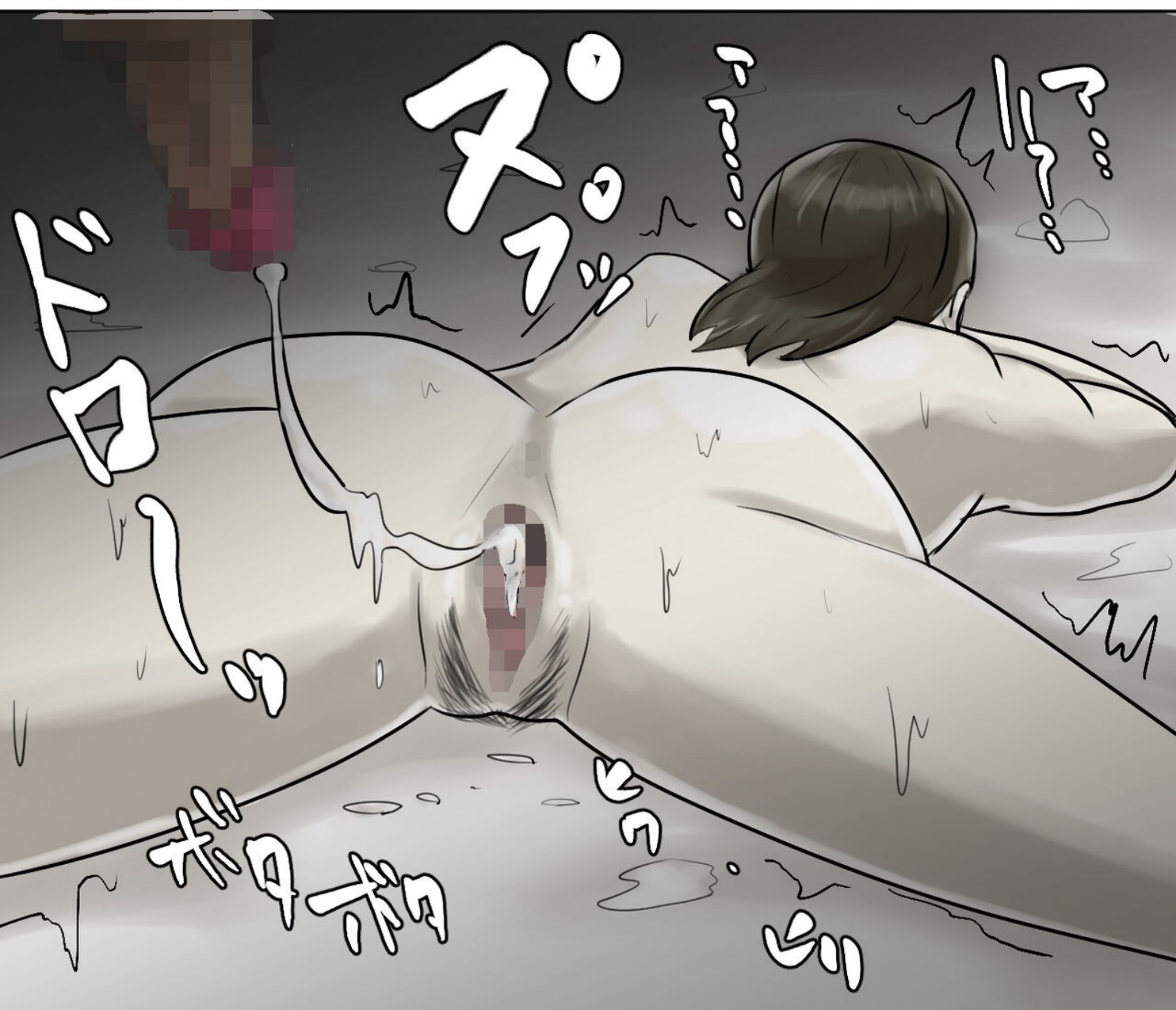














ボクもおばさんのお願いきいて
あげる！
おばさんのこと好きだから
なんでもきいてあげるよ！

あら
本当？
それじゃあ…

数日後……
某所……





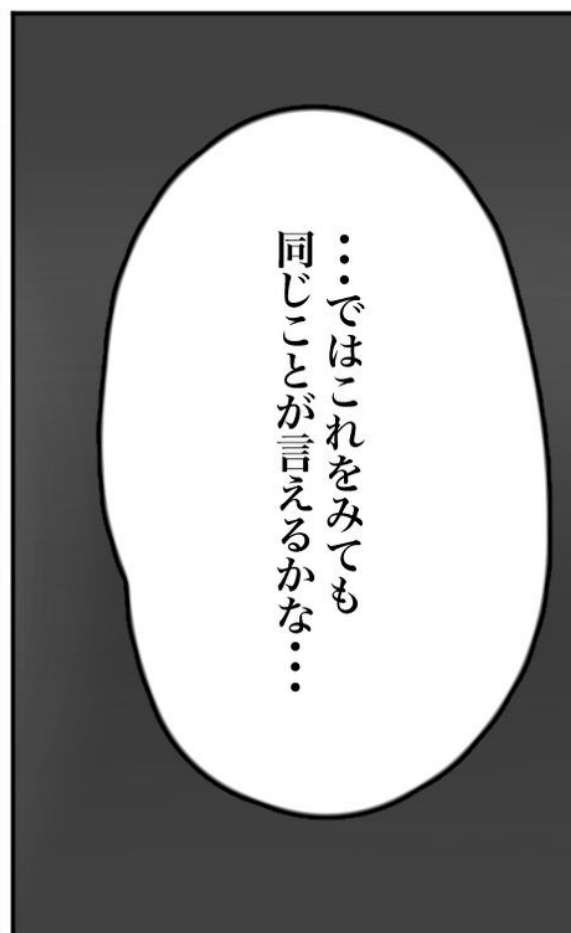
なぜだ！
何度も頼んでいるのに！



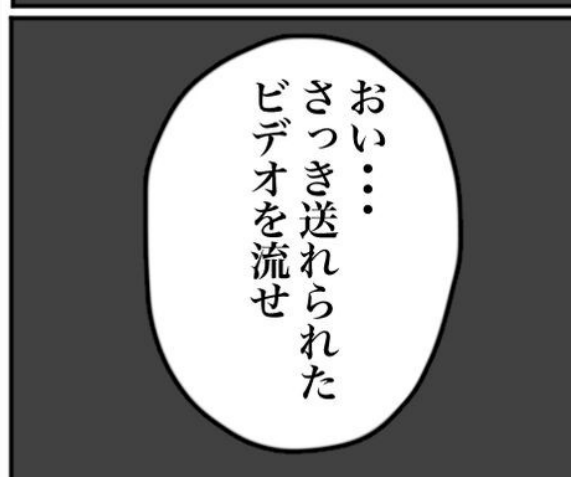
ダメだ



な…なんだ…



…ではこれを見ても
同じことが言えるかな…



おい…
さっき送られた
ビデオを流せ

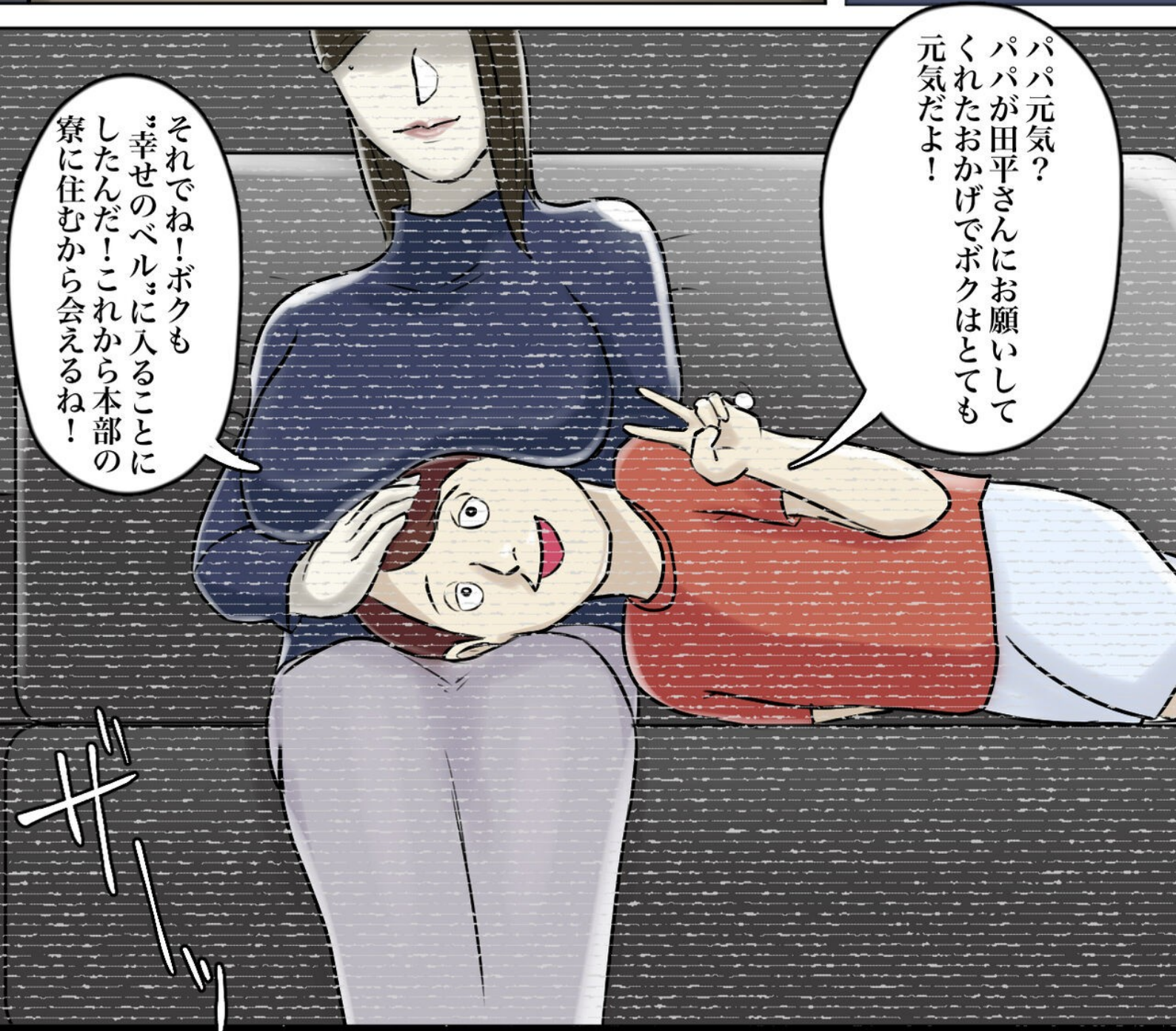


む…
息子じゃないか!

どうして!



パパー!



パパ元気?
パパが田平さんをお願いして
くれたおかげでボクはとても
元気だよ!

それでね!ボクも
幸せのベルに入ること
にしたんだ!これから本部の
寮に住むから会えるね!



これでも…
辞めると言うのかね？



くっ…くっ…
くそおっ！

わ…わかりました

よろしい



田平！

END

ここは都内の住宅街…



両親は離婚してママと二人暮らしだ
そのママは新しい彼氏を
作って海外旅行に行ってる



若さと性欲だけがとりえの
ボクはとても退屈していた

この留守番はもう二週間も続いている
ママの話だとあと一週間は戻ってこな
いらしい



暇で仕方がないボクはオ○ニーと
ゲームしかすることがない

うちは金だけはあるからこの留守番を
している間の食事は全部出前になっ
ていた

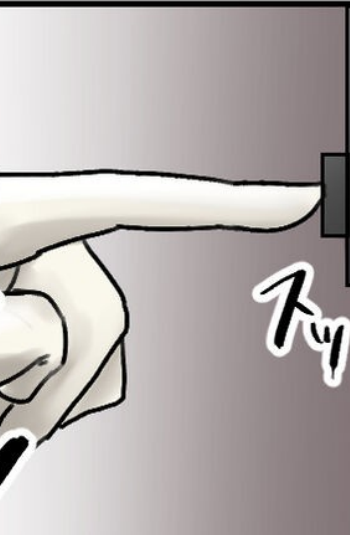


友達もいない…癒しもない…
時間だけが有り余る
退屈だ…またオ○ニーでもすつかあ…

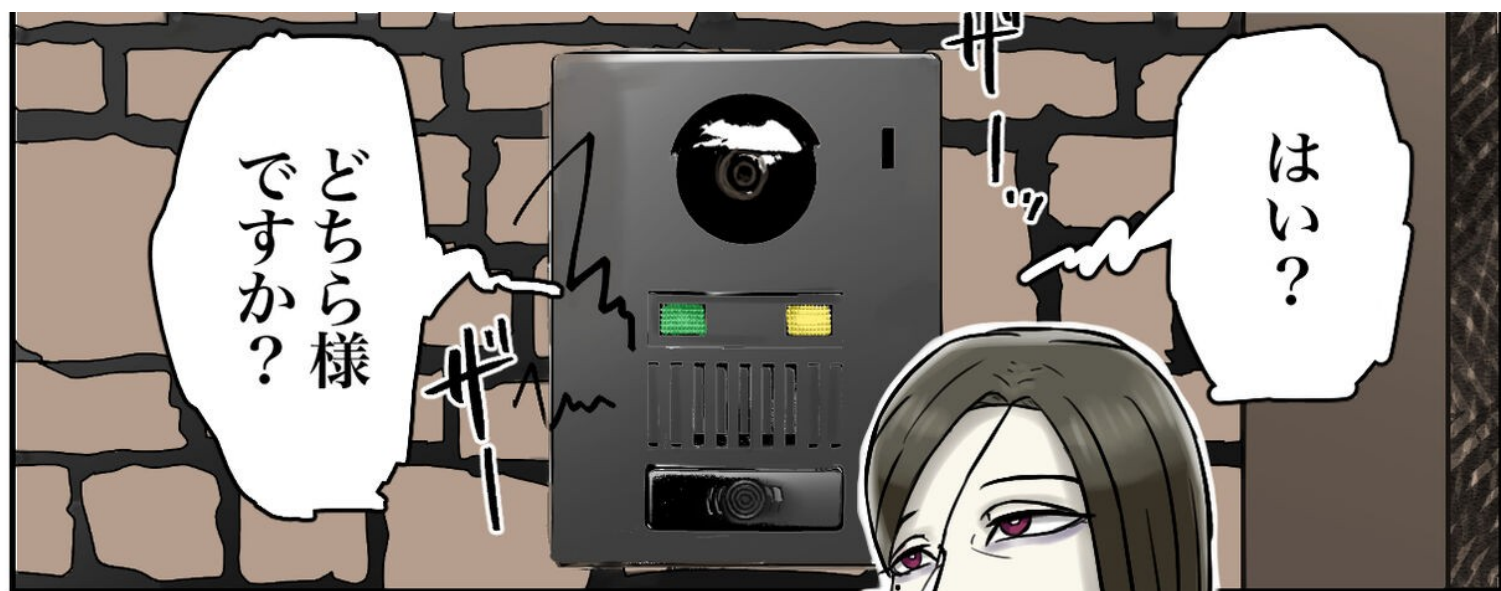


チツ…誰だよ
ママじゃないしなあ

リンボリン

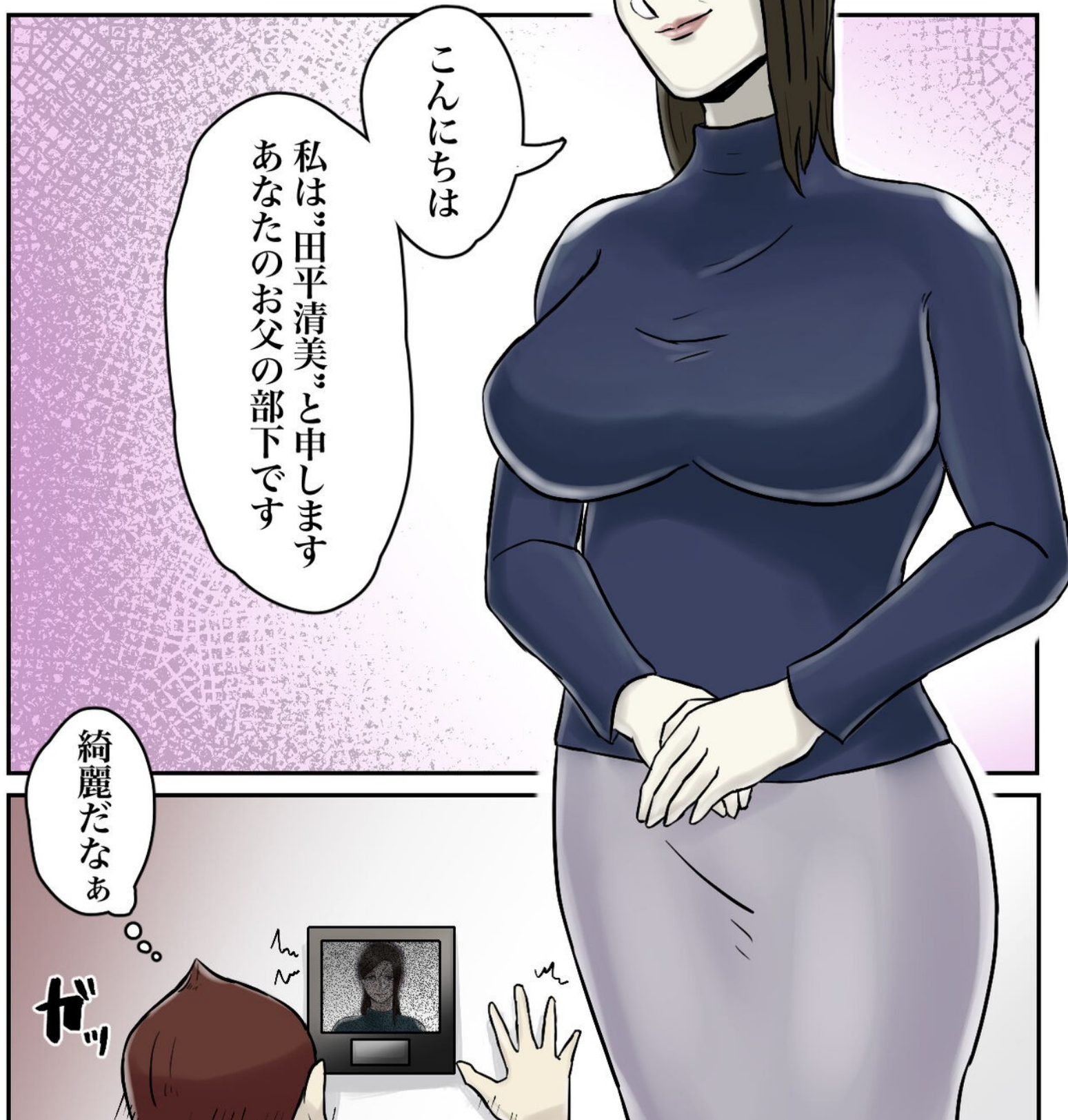


ガバッ



どちら様
ですか？

はい？



こんにちは

私は、田平清美と申します
あなたのお父の部下です

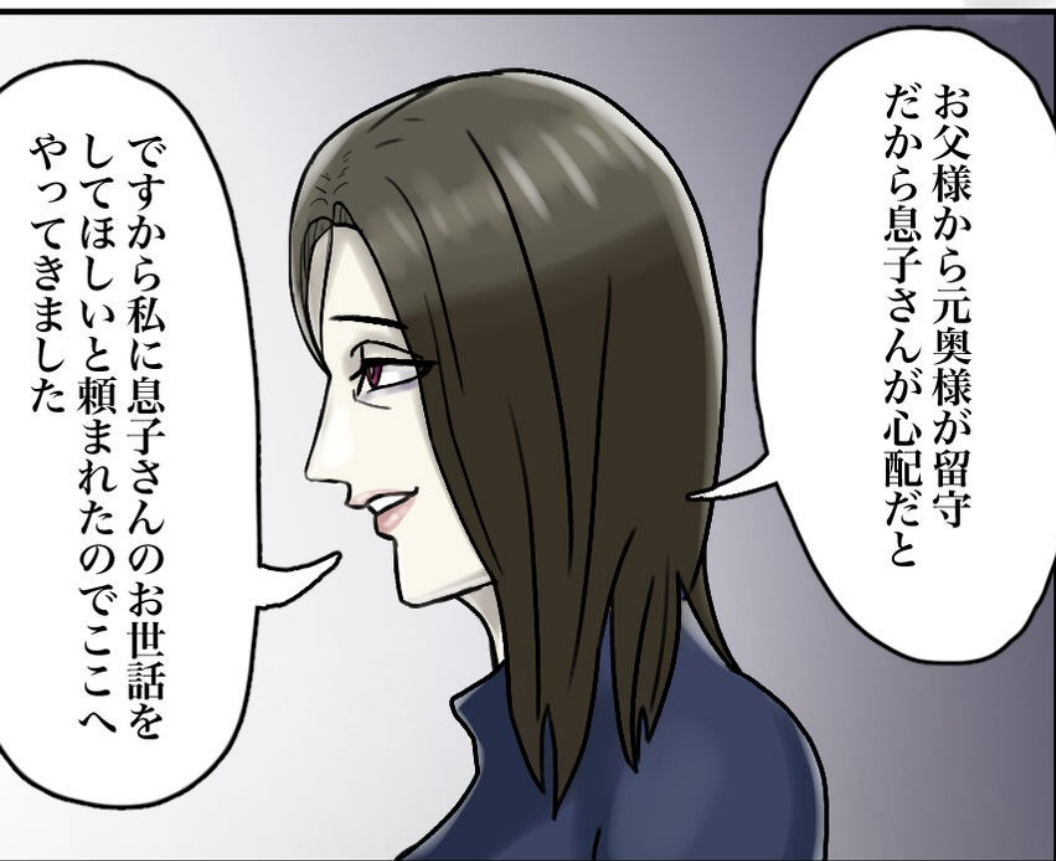
綺麗だなあ

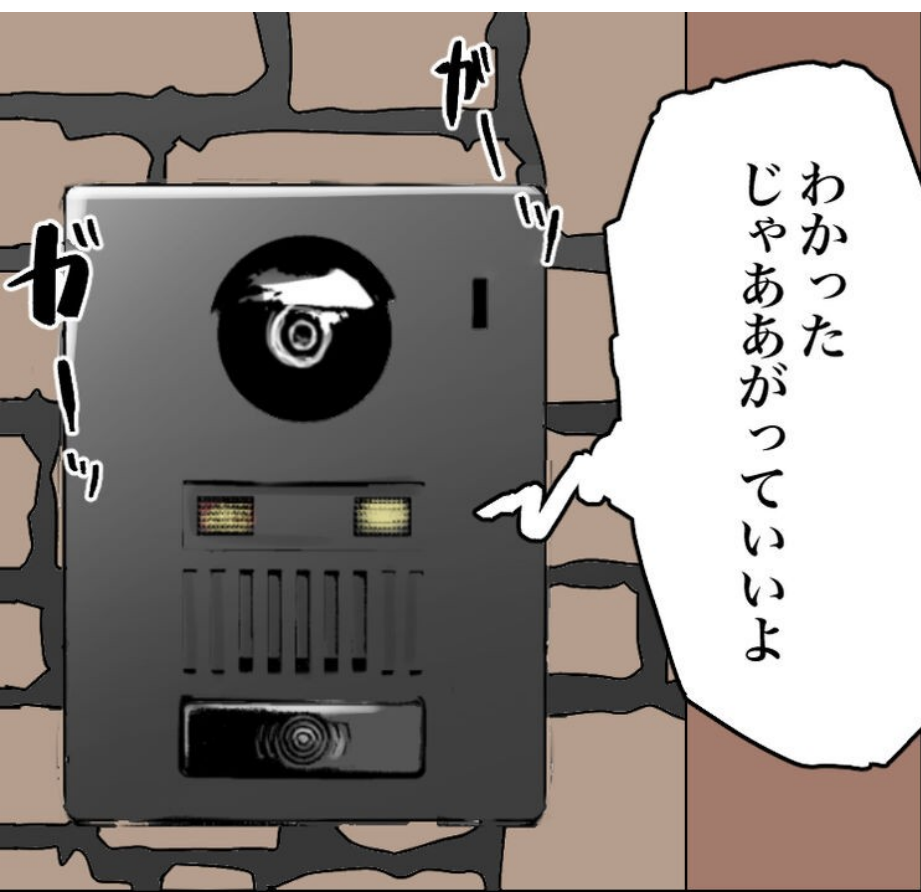
ガッ

ムム



ムム





わかった
じゃああがつていいよ



もしかして頼めば
あんなことやこんなこと
だって……!



おじやまさせて
もらうわね



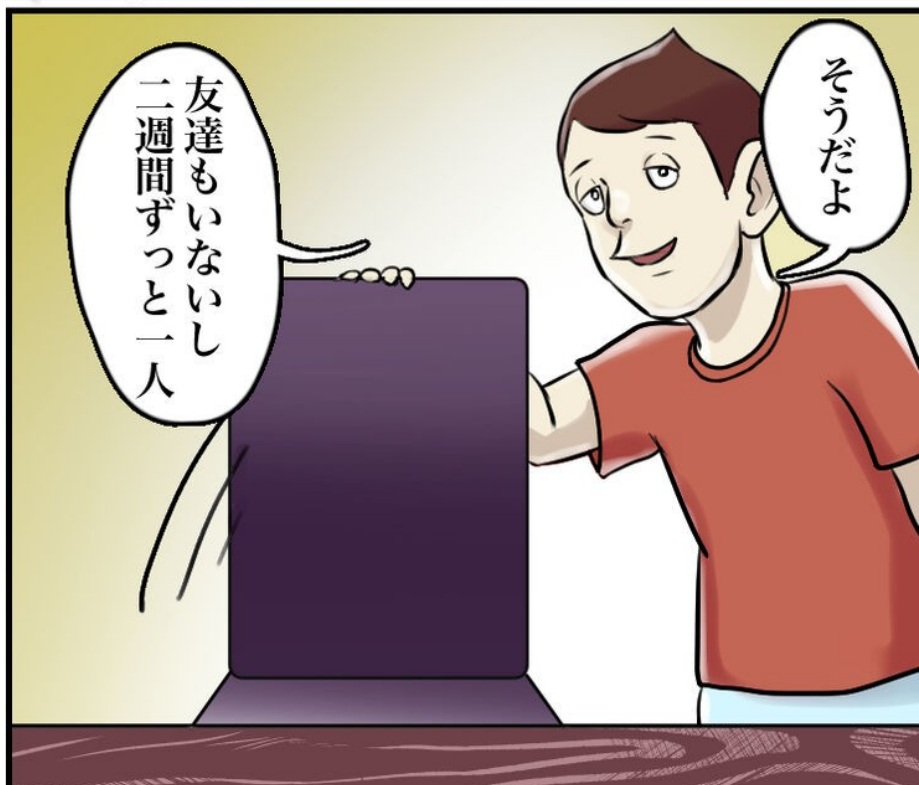
よかった
ありがとう

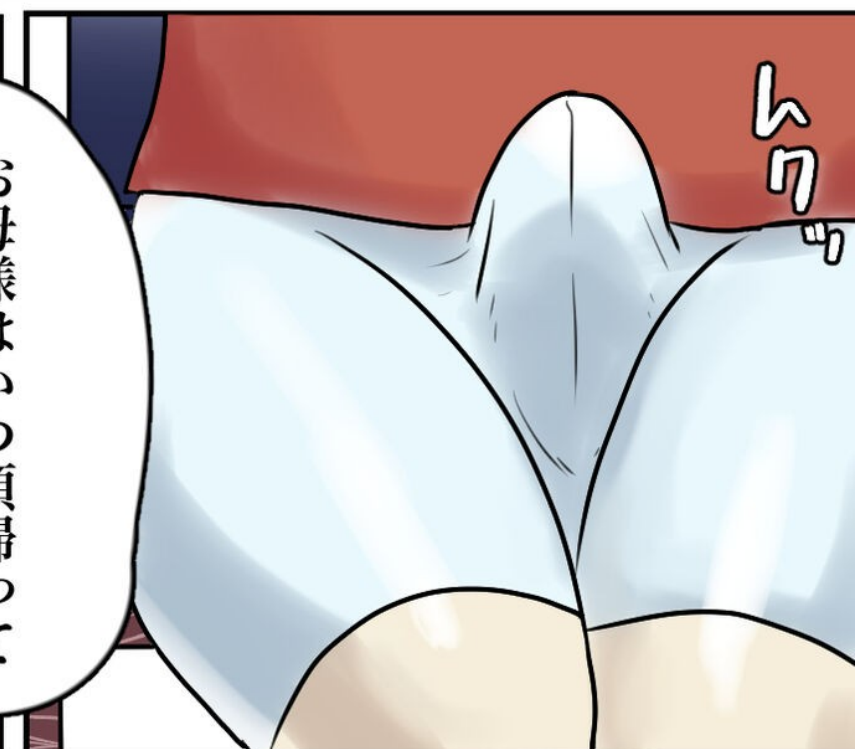
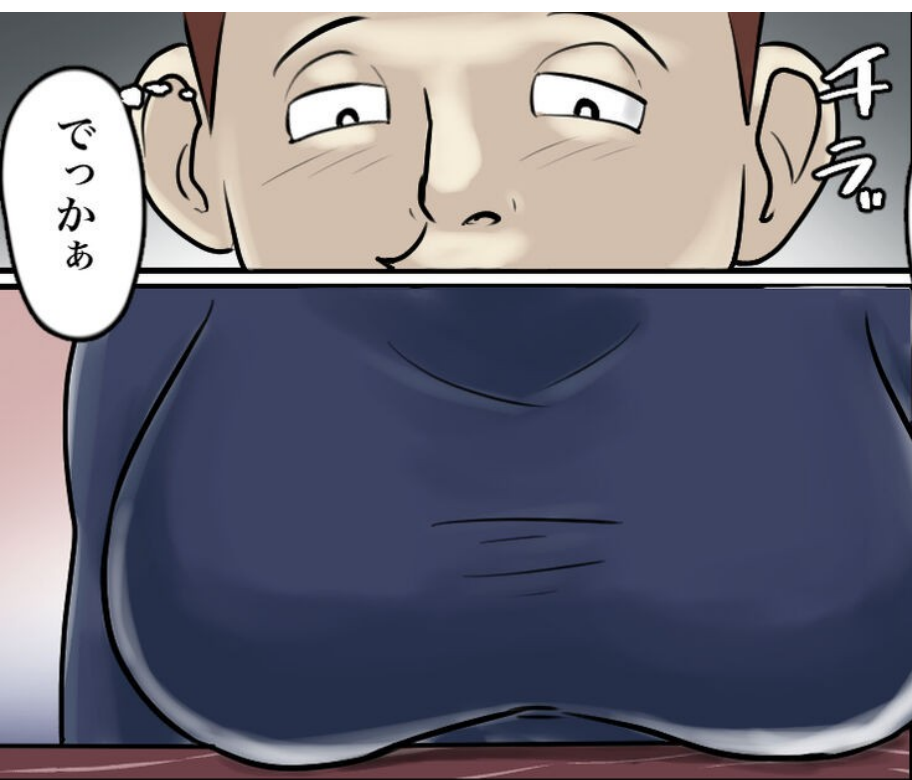
ガチャッ

おじやまします

田平清美です
改めてよろしくね

おっぱい…
おっぱい…
おっぱい…



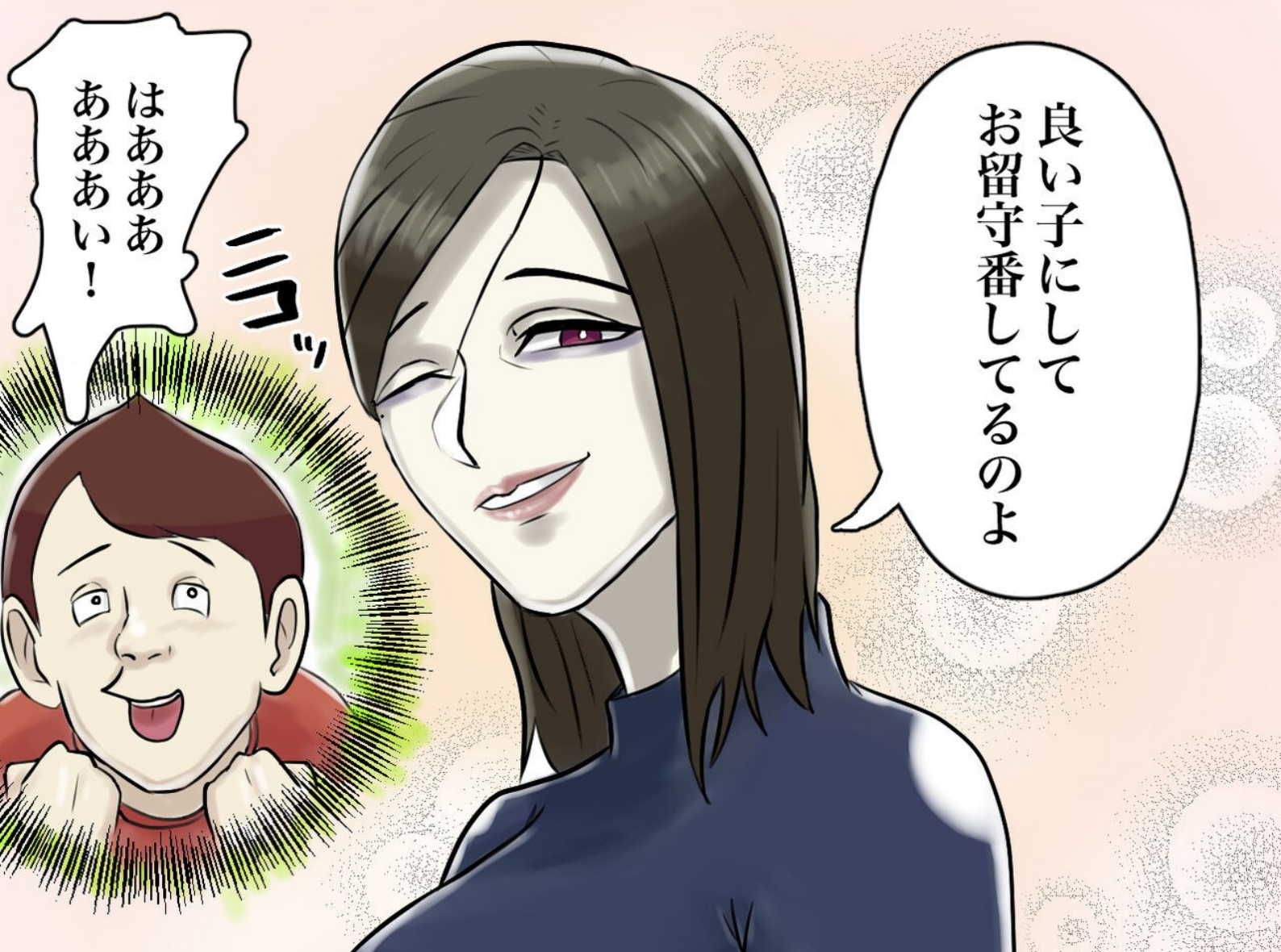
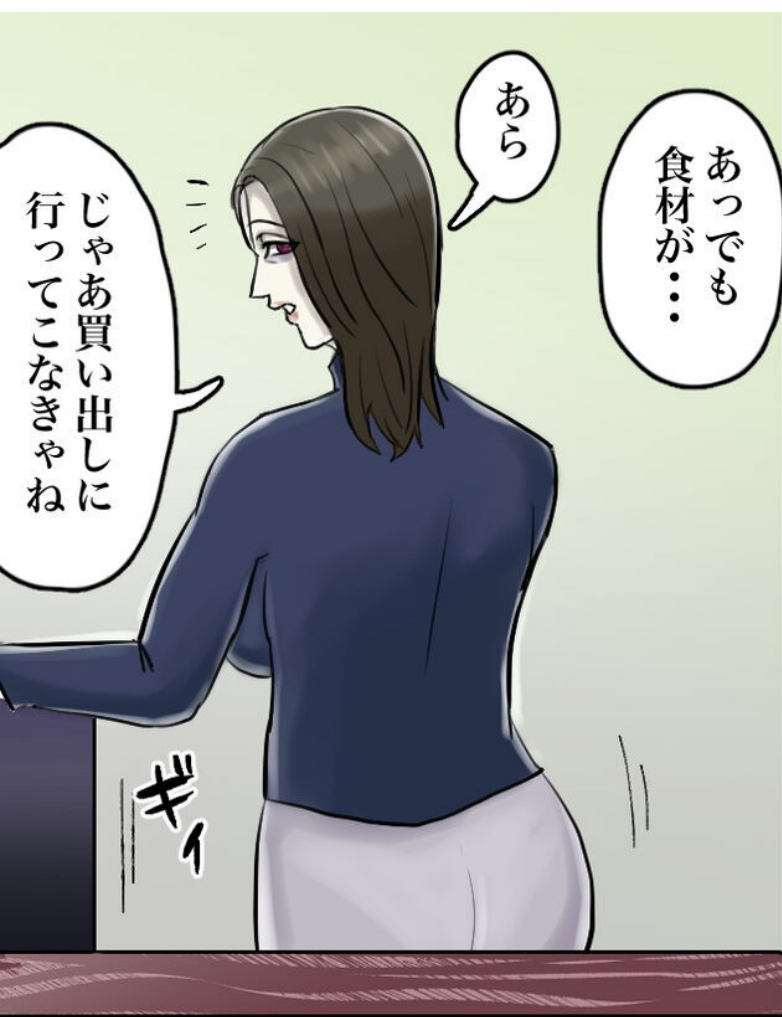


お母様はいつ頃帰ってくる予定なの？



充分すぎるわね...





うっひょおお！
サンキューパパ！

おばさんとの距離が縮まれば
エッチなお願い聞いてもらえる
んじゃないか？ぐへへ……

接触は簡単でした

田平です

……
もしもし

はい

総統

XXX-XXX-XXX

終了

ジロジロと変な目で
見ているので楽勝かと

はい
それでは

ポンッ……

1時間後…

ボクくーん！
もどったわよー

おかえり！

ボクくんごめんなさい
今後の食料とか色々買って
たらこんなになっちゃった

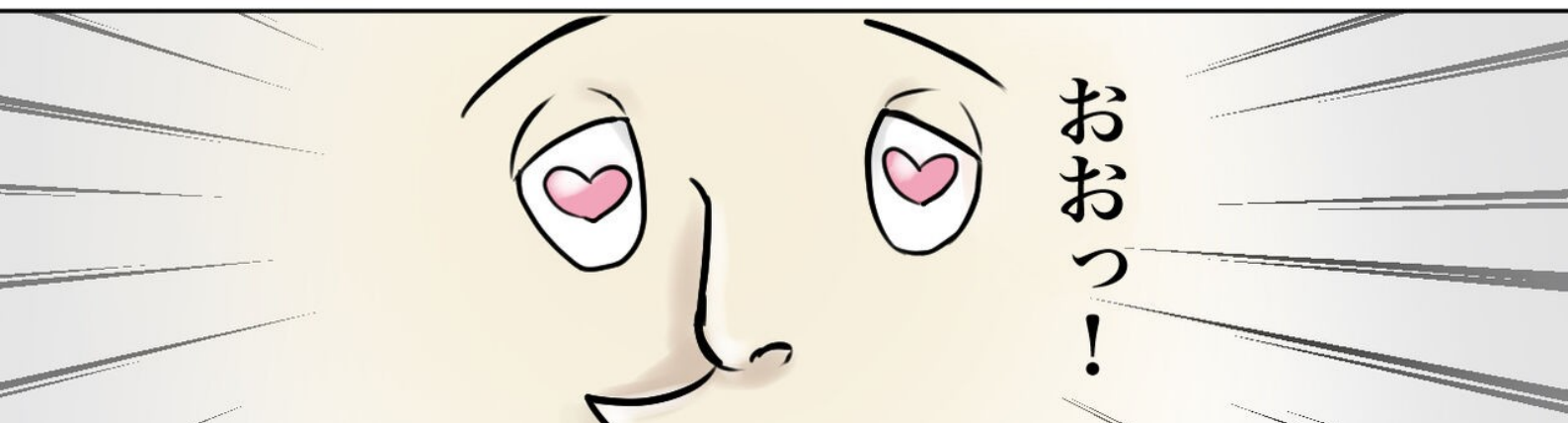
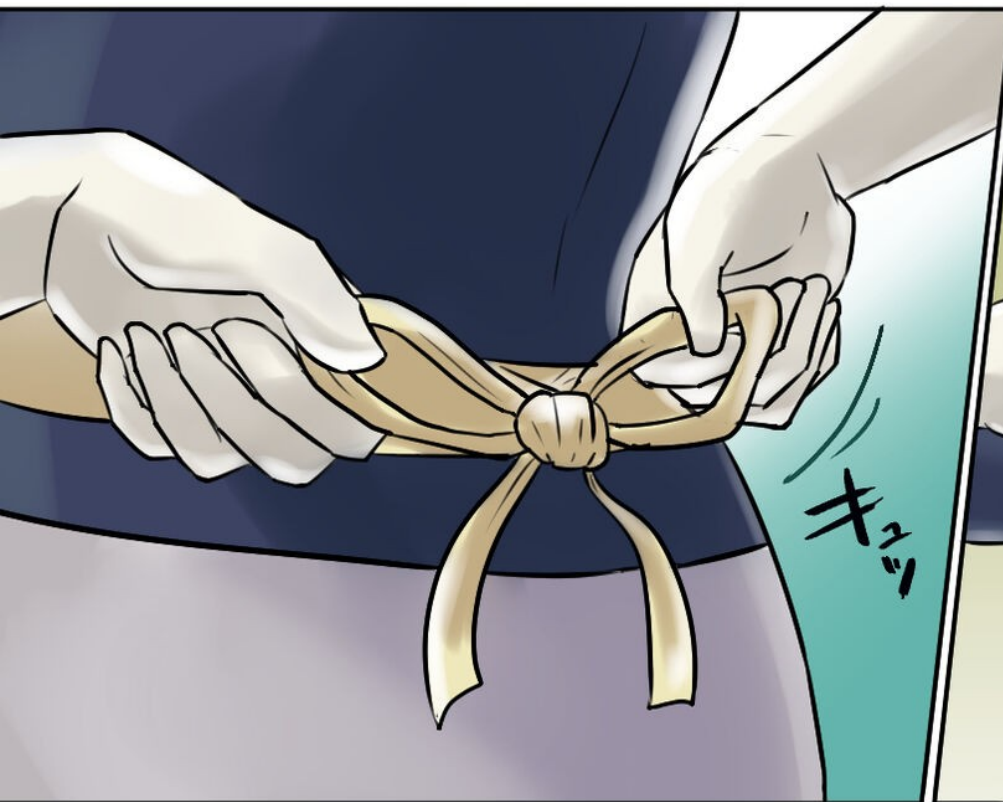
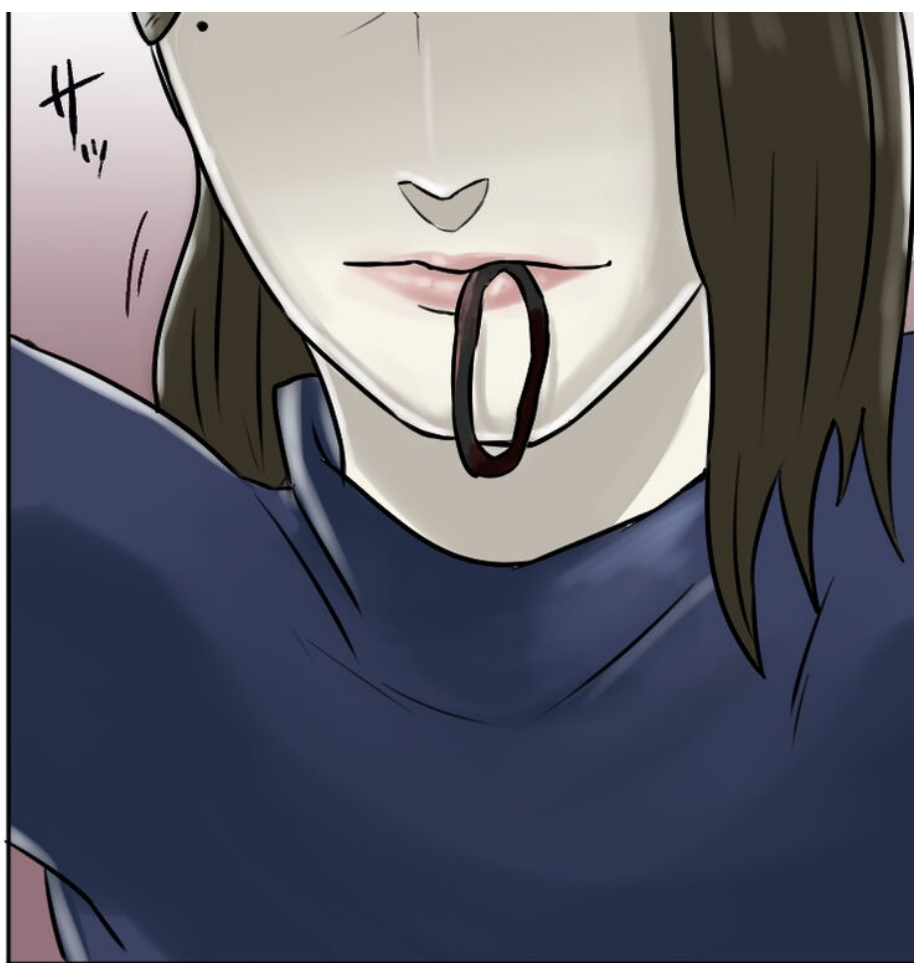
運ぶの手伝って
くれない？

はい！手伝います！

ドサッ

ガサッ

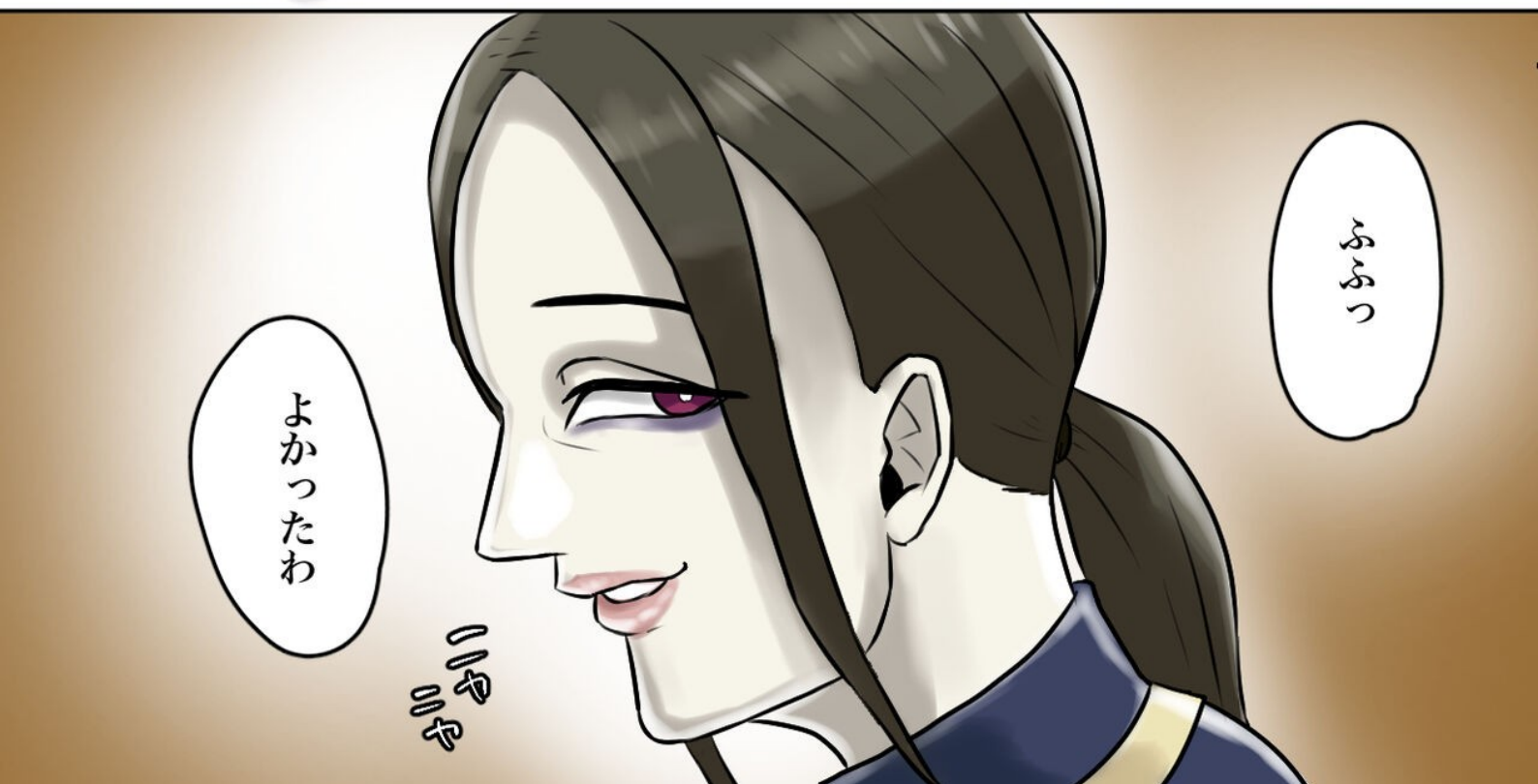
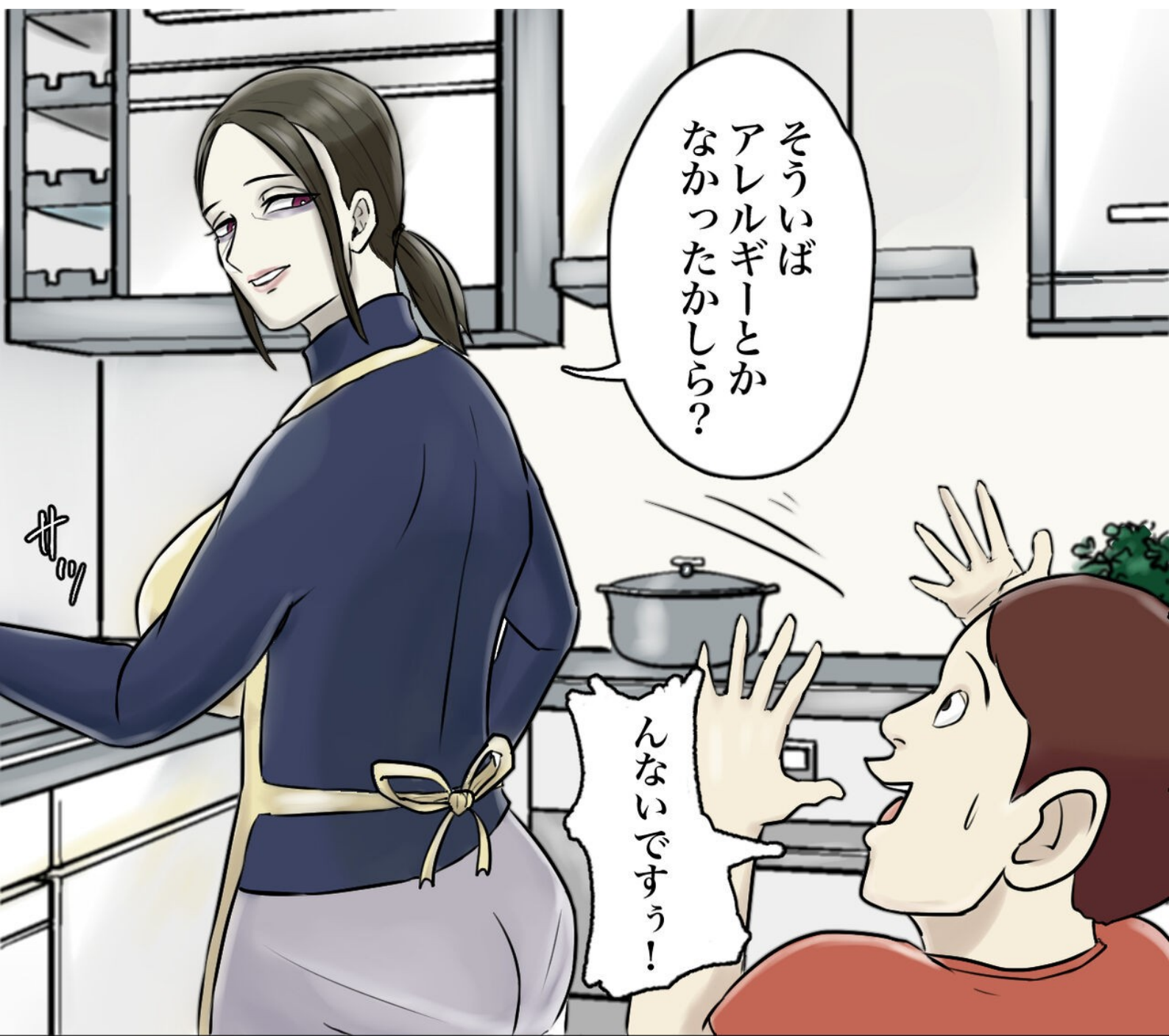




それじゃっ
おばさんがとつても美味しい
ご飯作ってあげるわね！









デーン

さっ
できたわよ

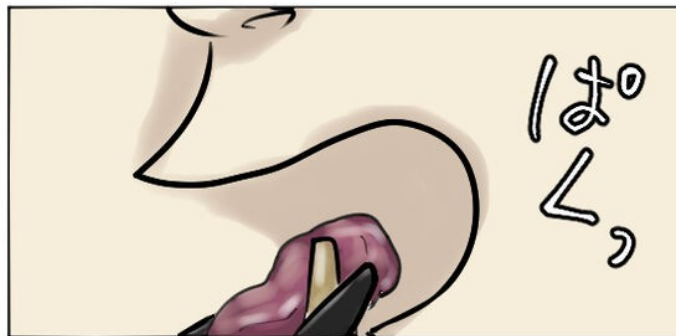
おおおっ！
おばさんすごい！
いただきます！



最高だあ：

毎日食べれる
よこれえ...

おいし〜っ！



はくっ



んん

んん



じゃあご飯がすんだら
お部屋の掃除してあげるね
ゆっくり食べて頂戴

ホッ

よかったわあ！
正直お口に合うか心配
だったの！

ごちそうさまでした！
おばさんありがとう！

はい！

んゝ…
お腹一杯になったら
眠たくなってきたな

おばさんボク
ちよつと寝るね

あらあら
わかったわ

ボクくん

ボクくん！

ねえ

起きて！

んゝ…
なにい？
おばさん…

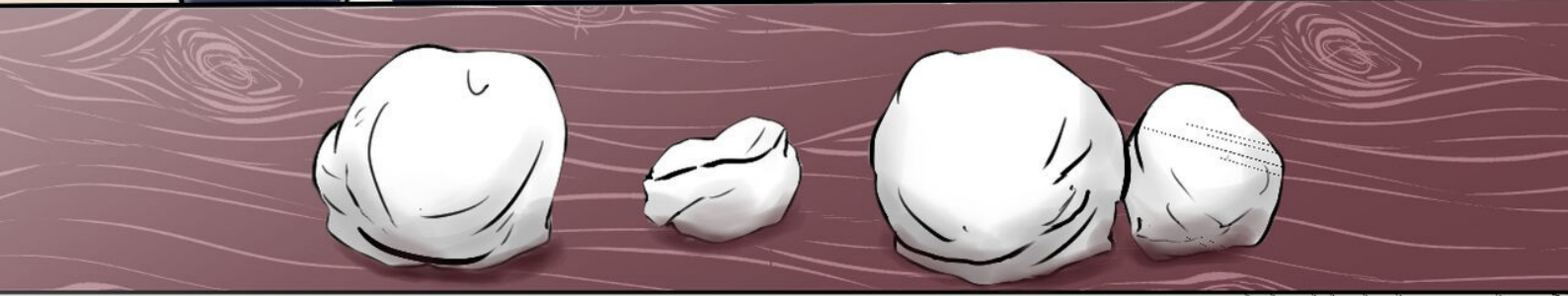
こ…これ…
ベッドの下に沢山落ちて
た一部を持ってきたたん
だけど…



あっ!?!
こ...これは!?

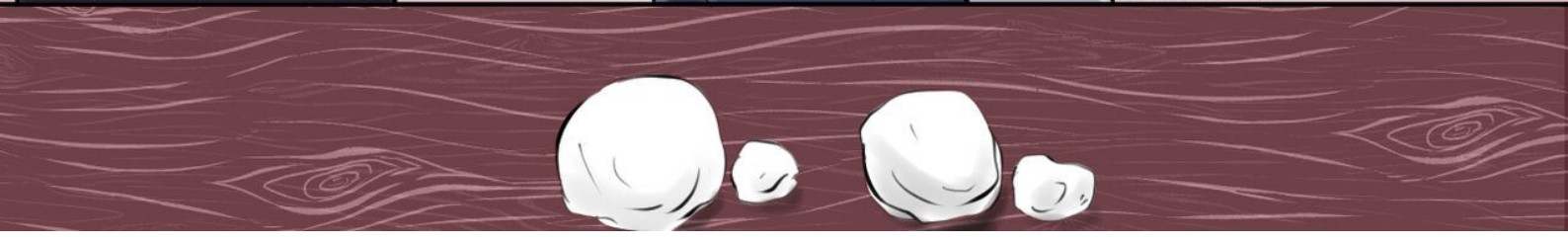
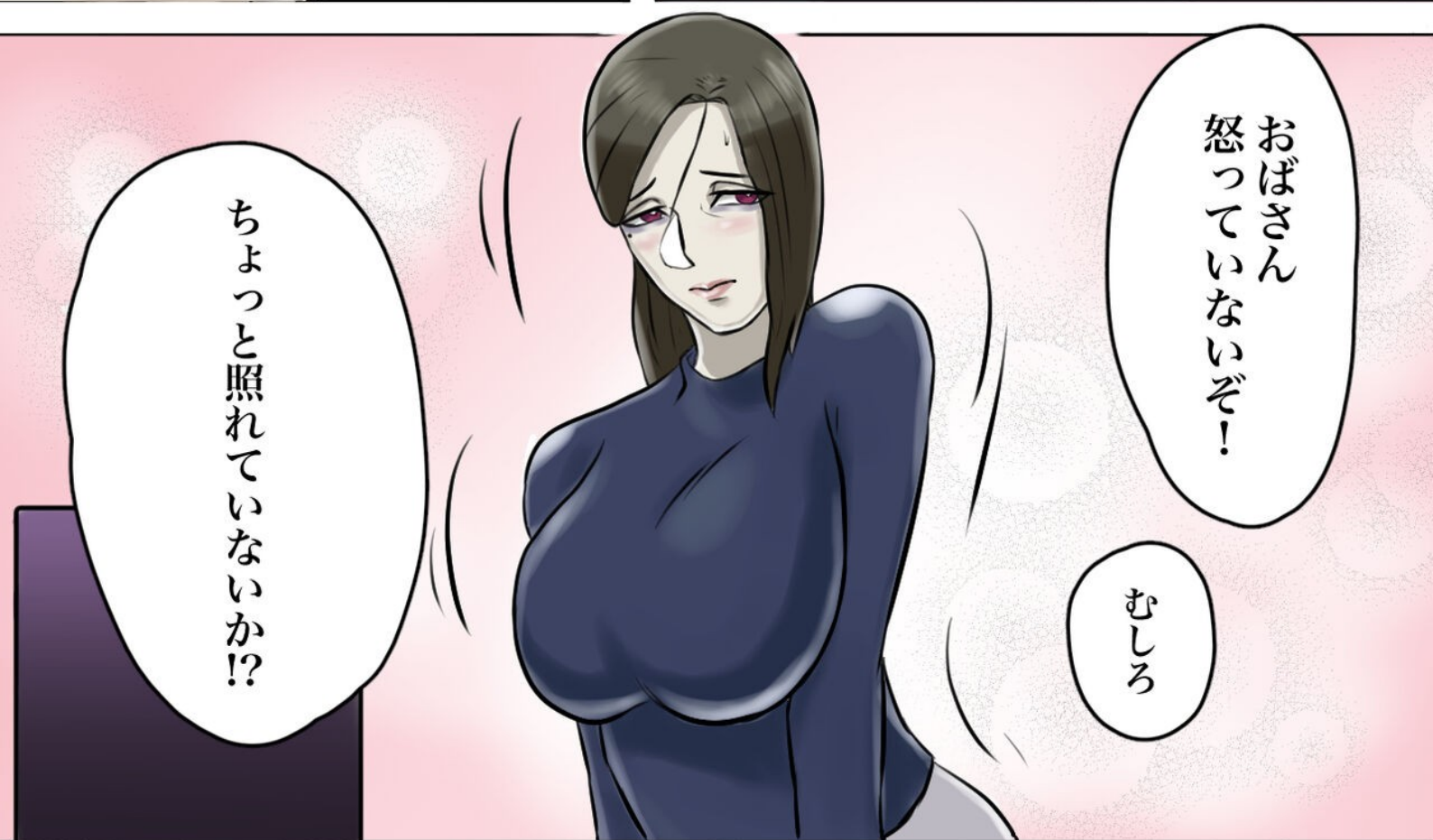
こ...
これって...

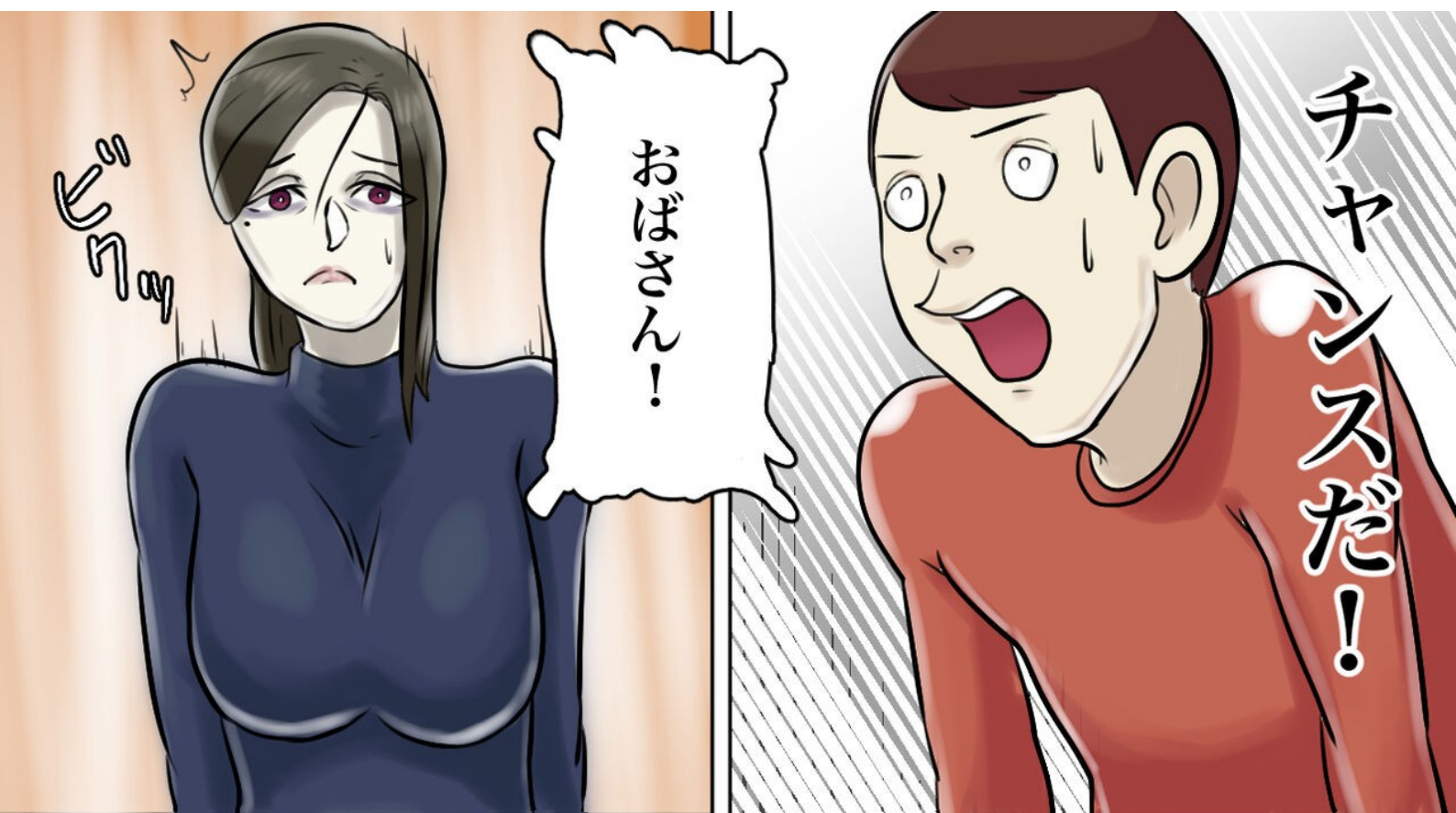
そういうこと...
よね?



お...おばさんに大量の
オナティッシュユバレて
しまった...!
ってか何でも持ってきて
るのお!

え...
え...と...







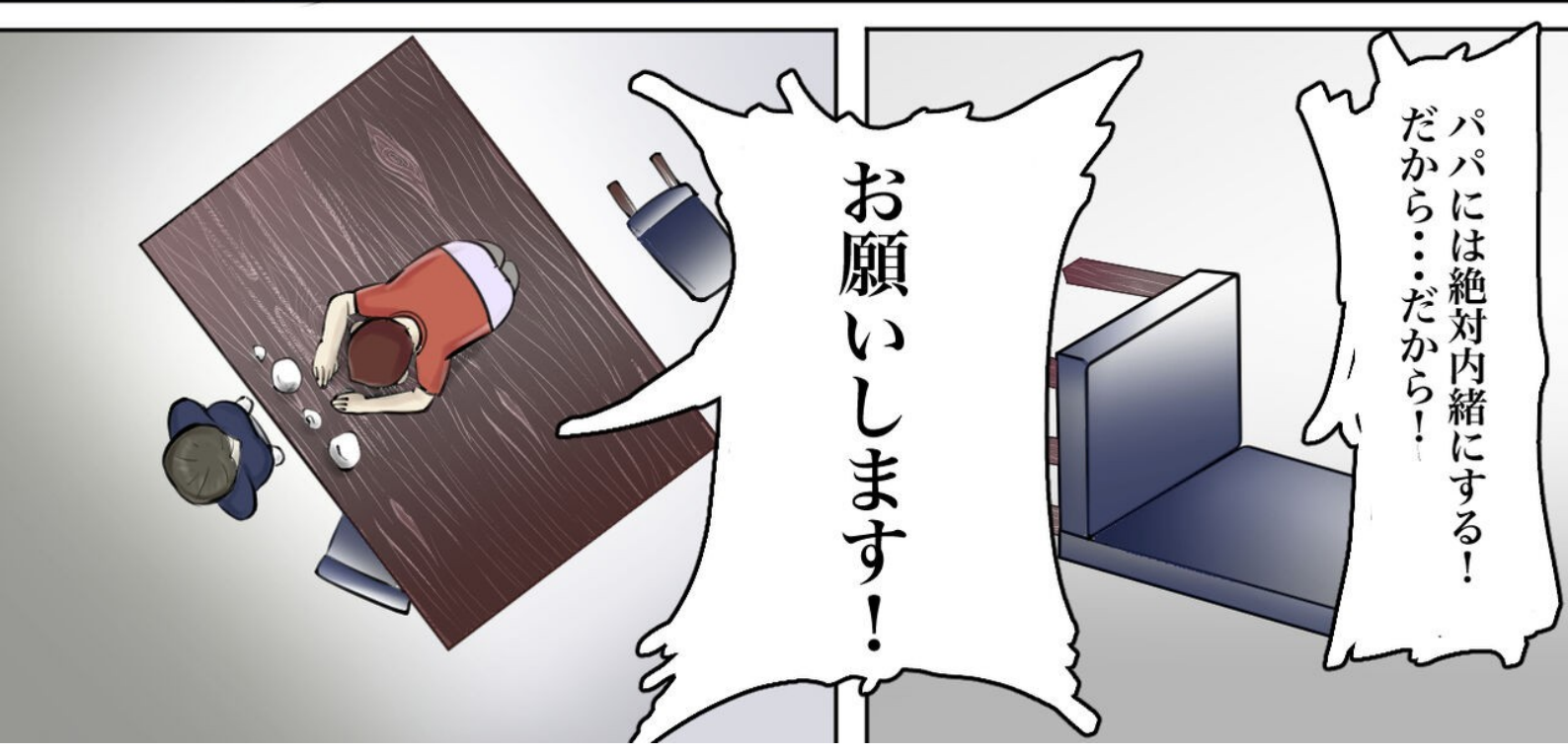
ボク友達も彼女をいないし
ずっと一人で本当はすごく
寂しかったんだ！

慣れてるんだんて嘘だ！



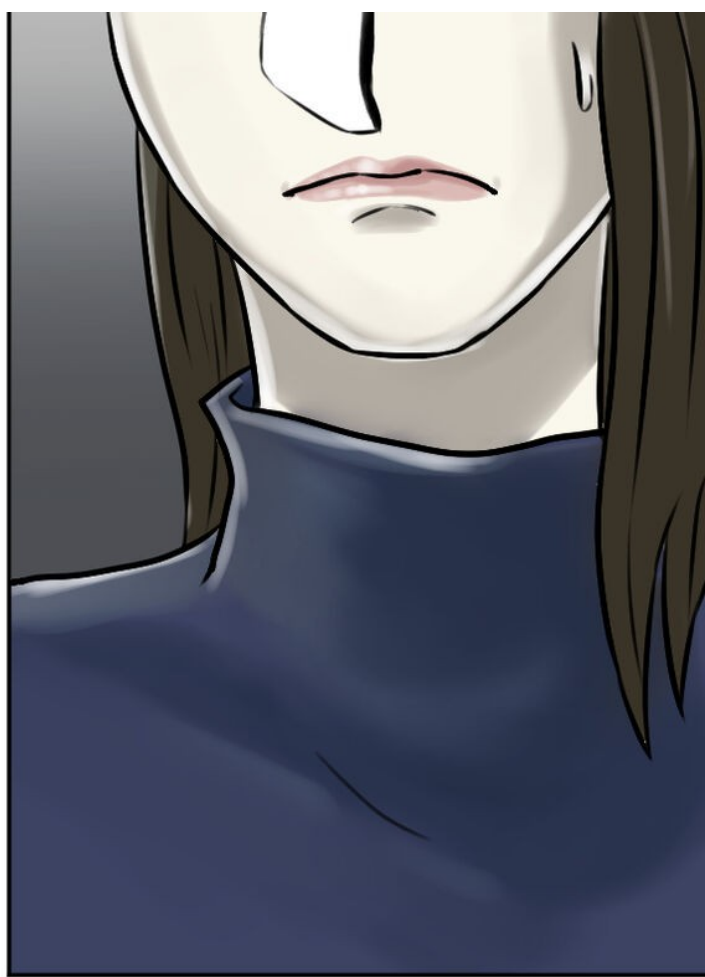
おばさんに優しくされて
ボクおばさんのこと本気で
好きになったんだ！

だからボクの初めては
好きな人にもらって
ほしいんだ！



パパには絶対内緒にする！
だから……だから！

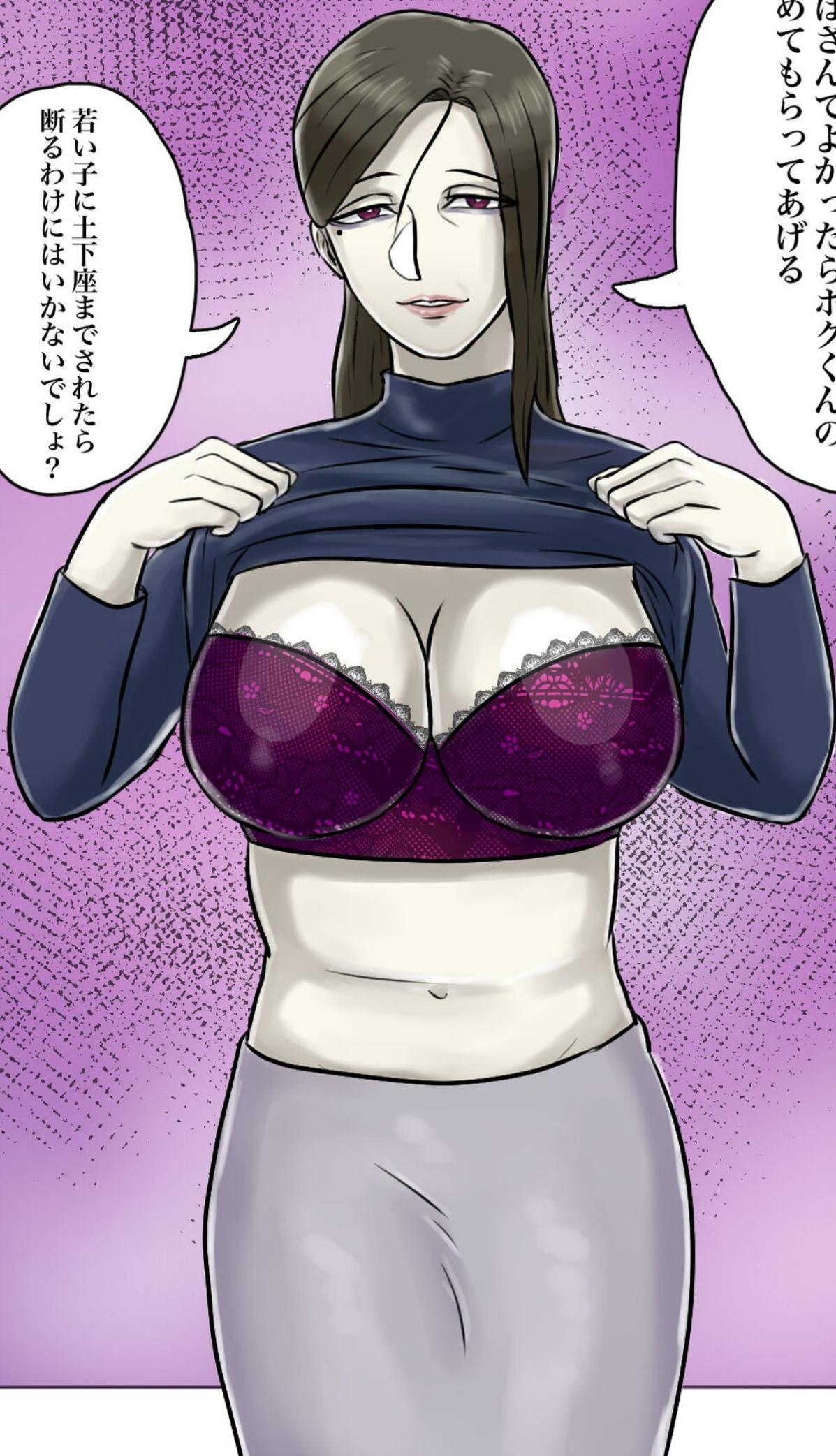
お願いします！

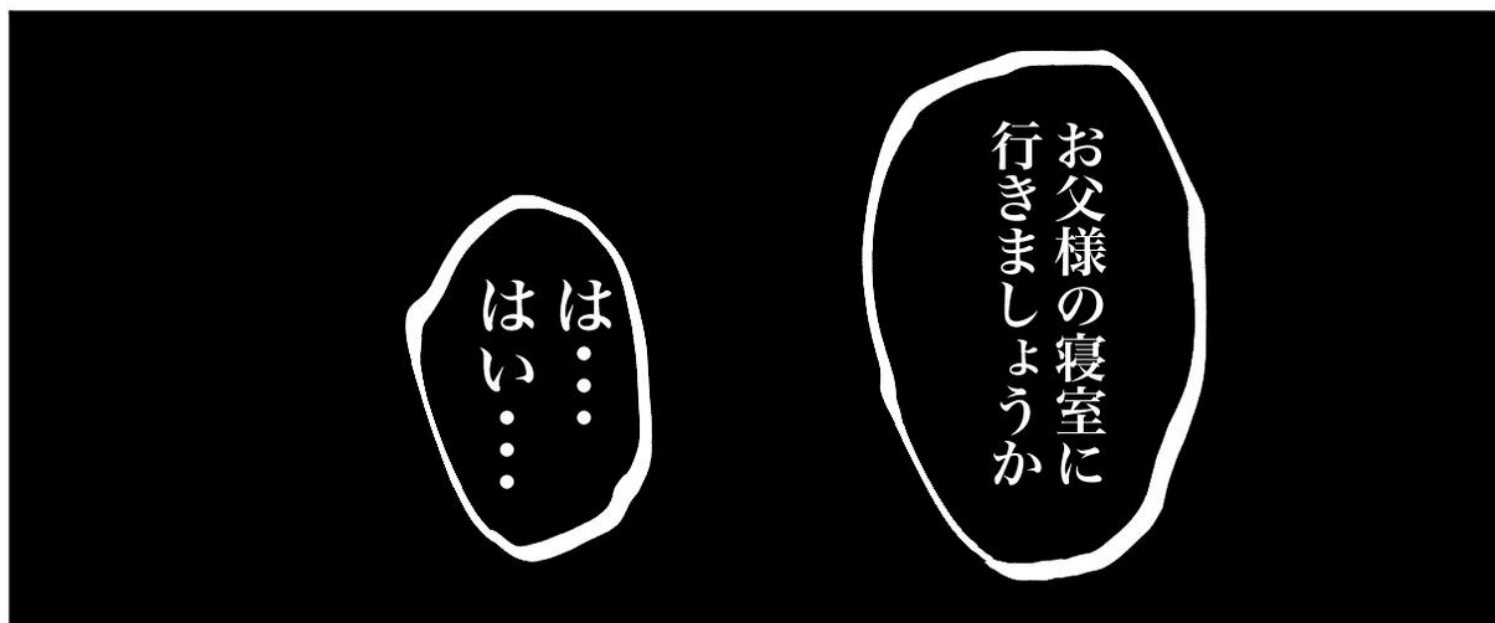
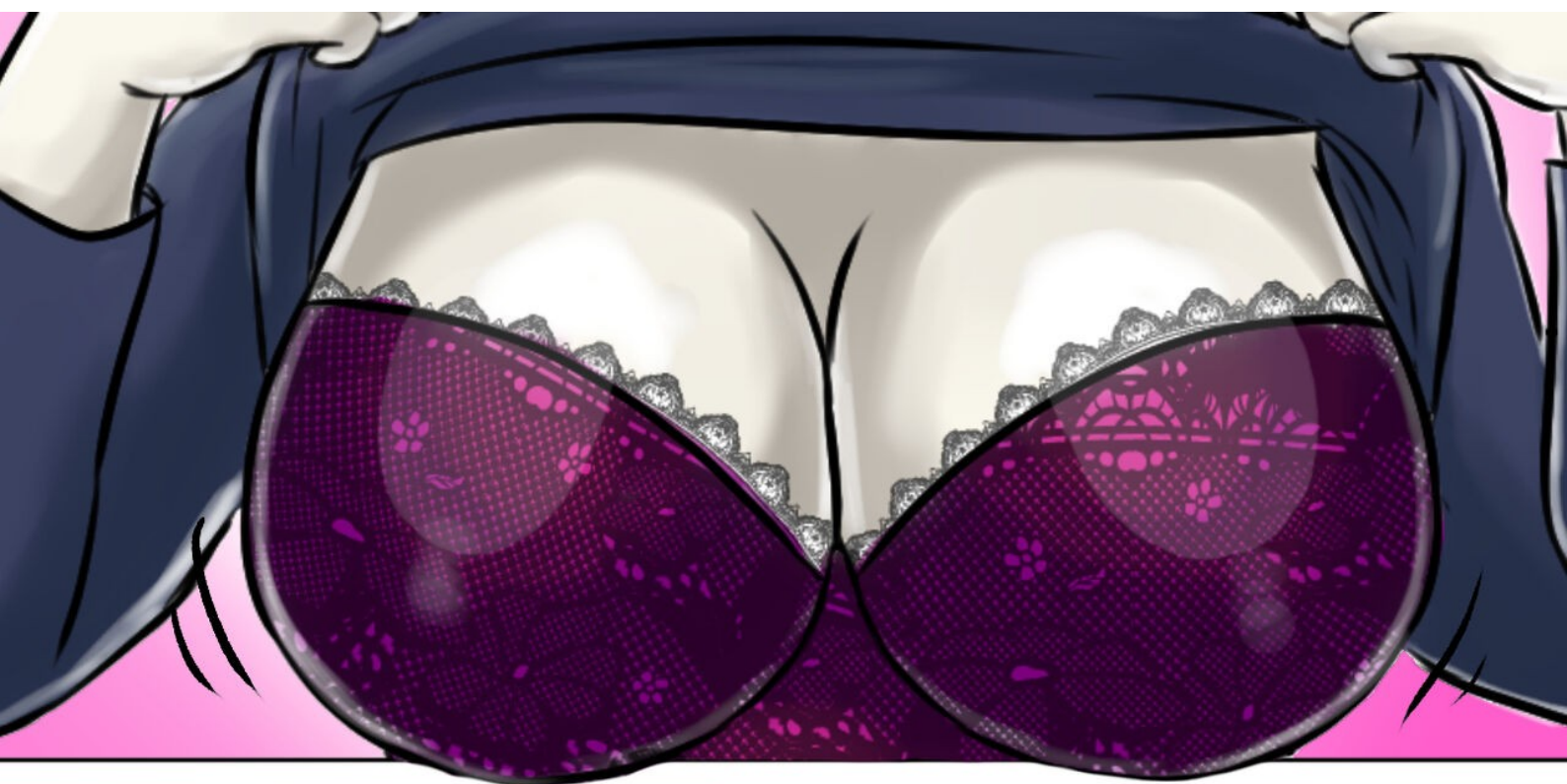


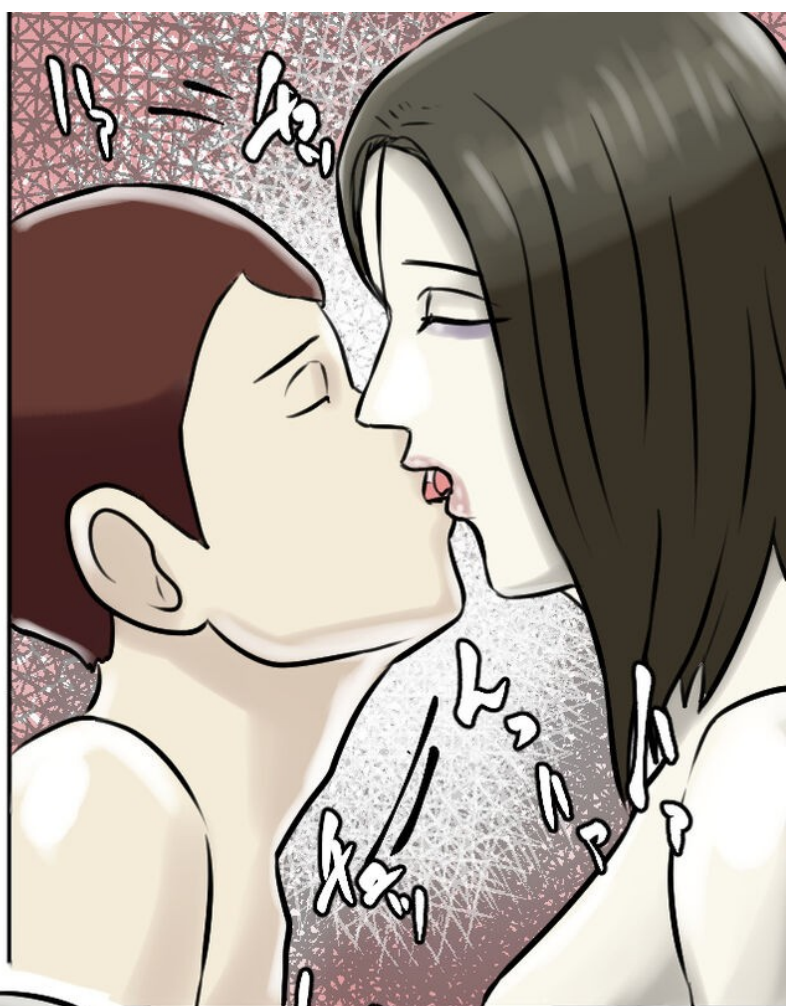
ふふつ
いいわよ

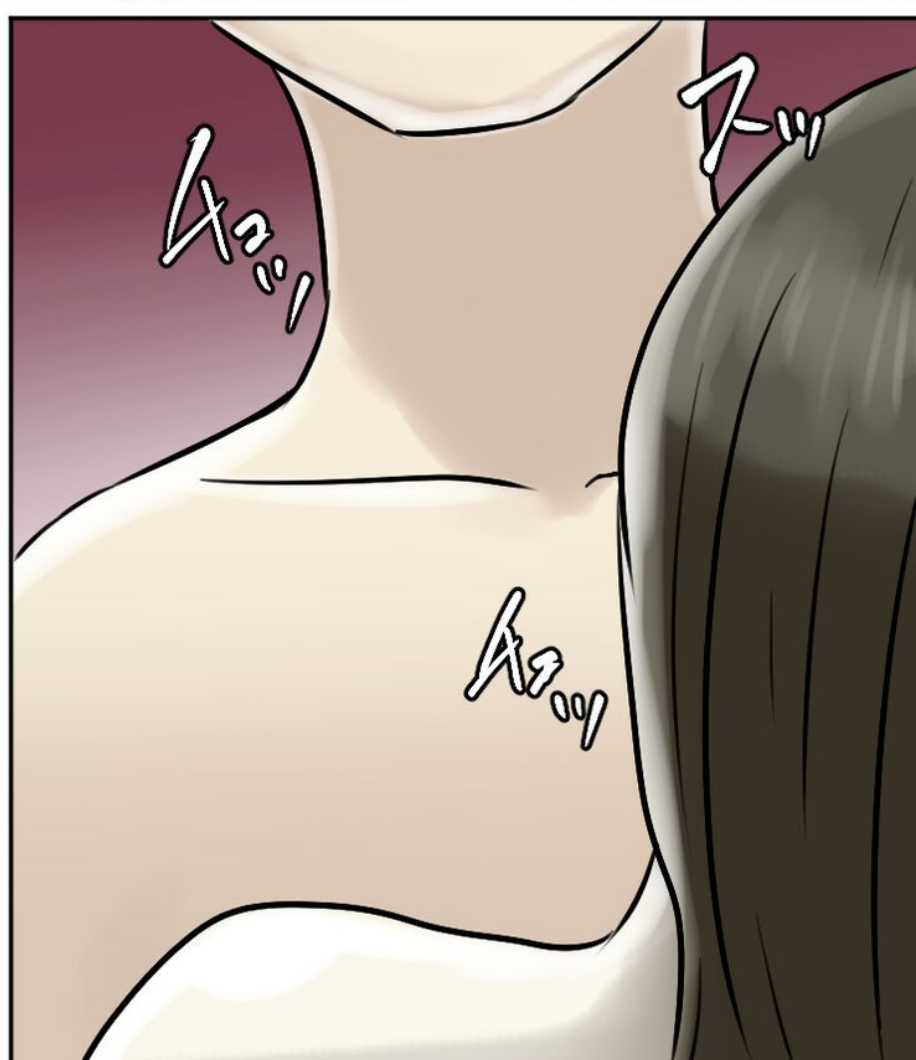
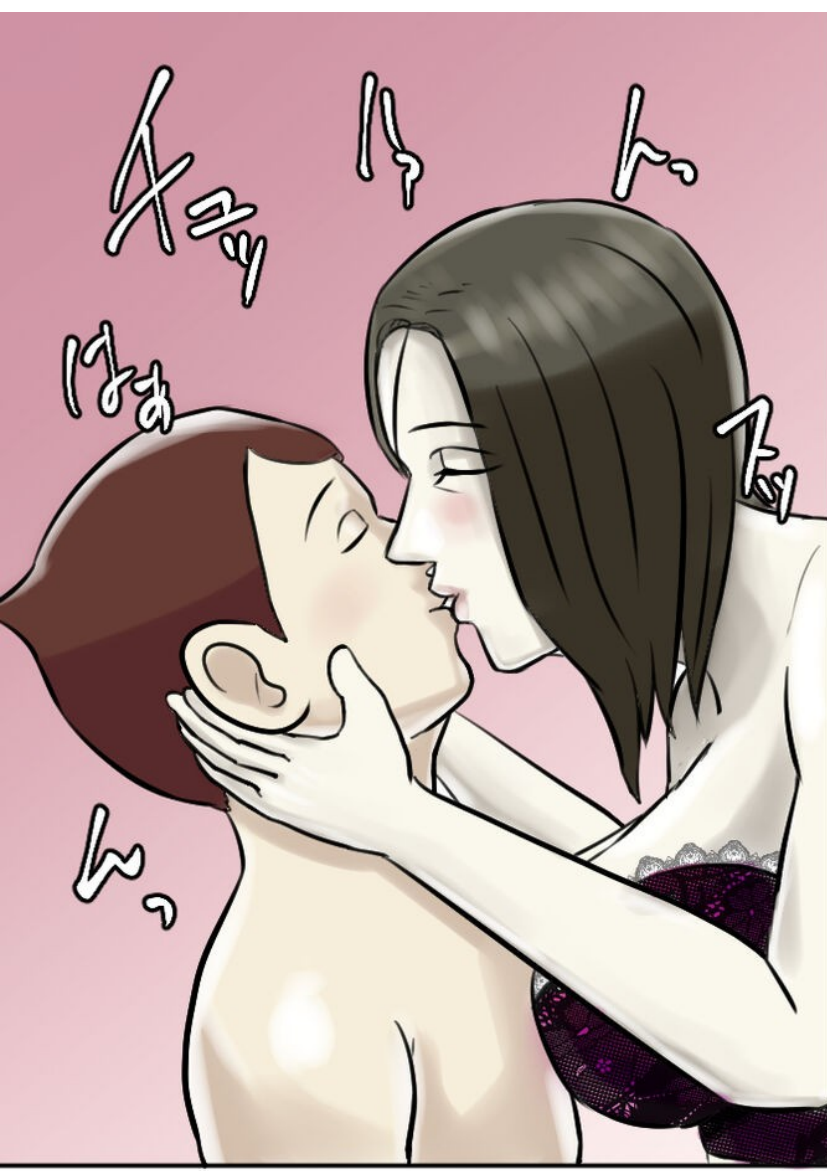
ボクくんの気持ち充分伝わったわ
おばさんでよかったらボクくんの
初めてもらってあげる

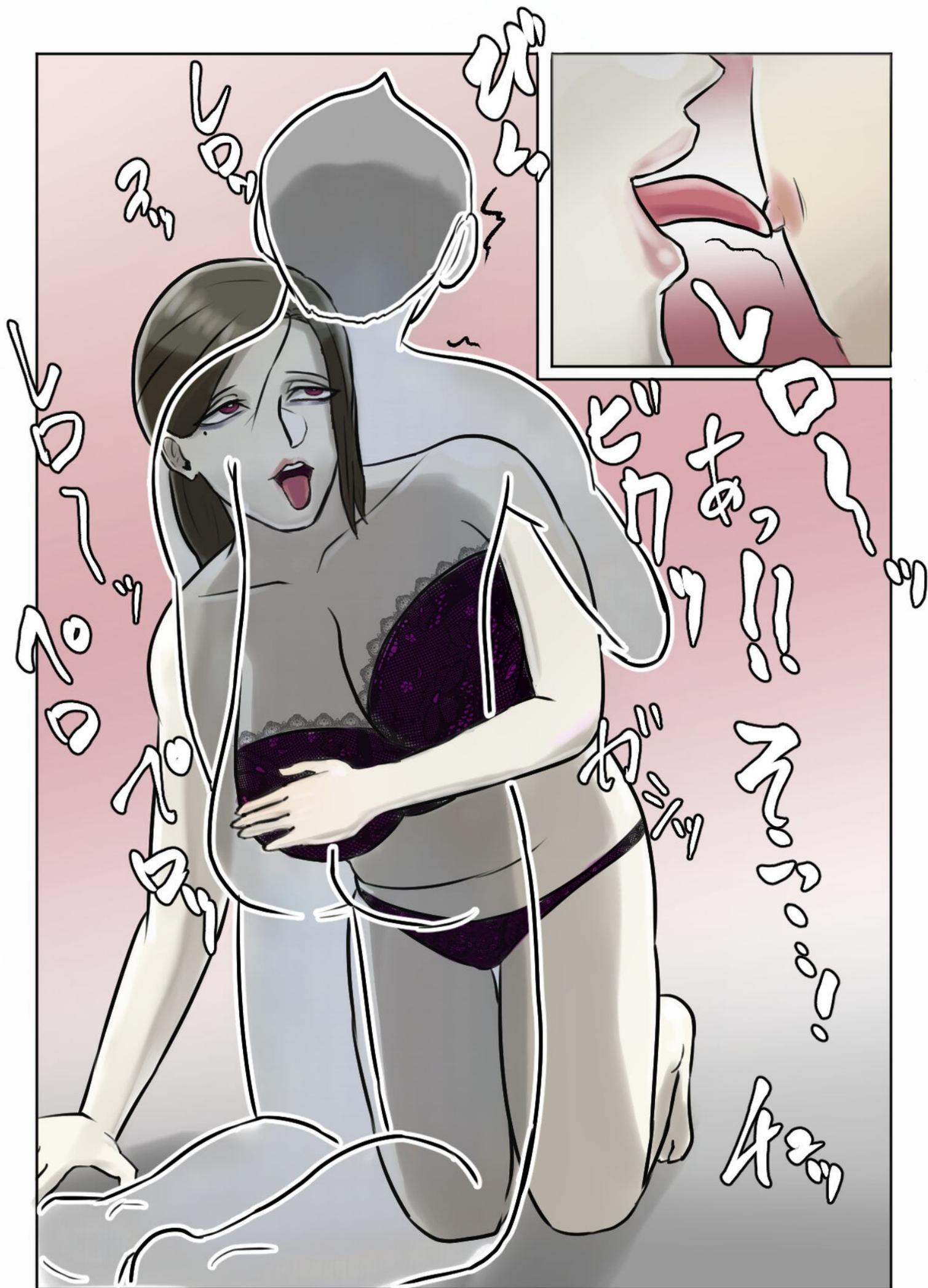
若い子に土下座までされたら
断るわけにはいかないでしょ？

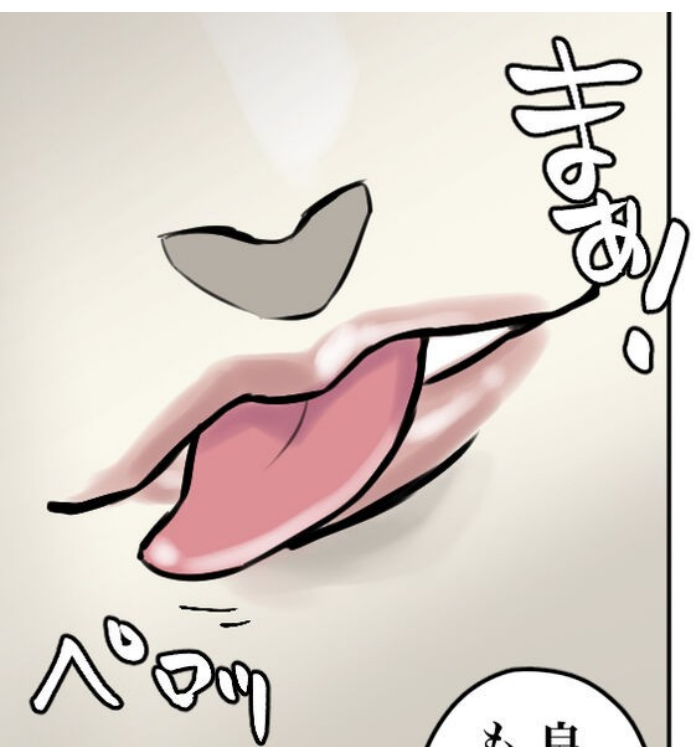




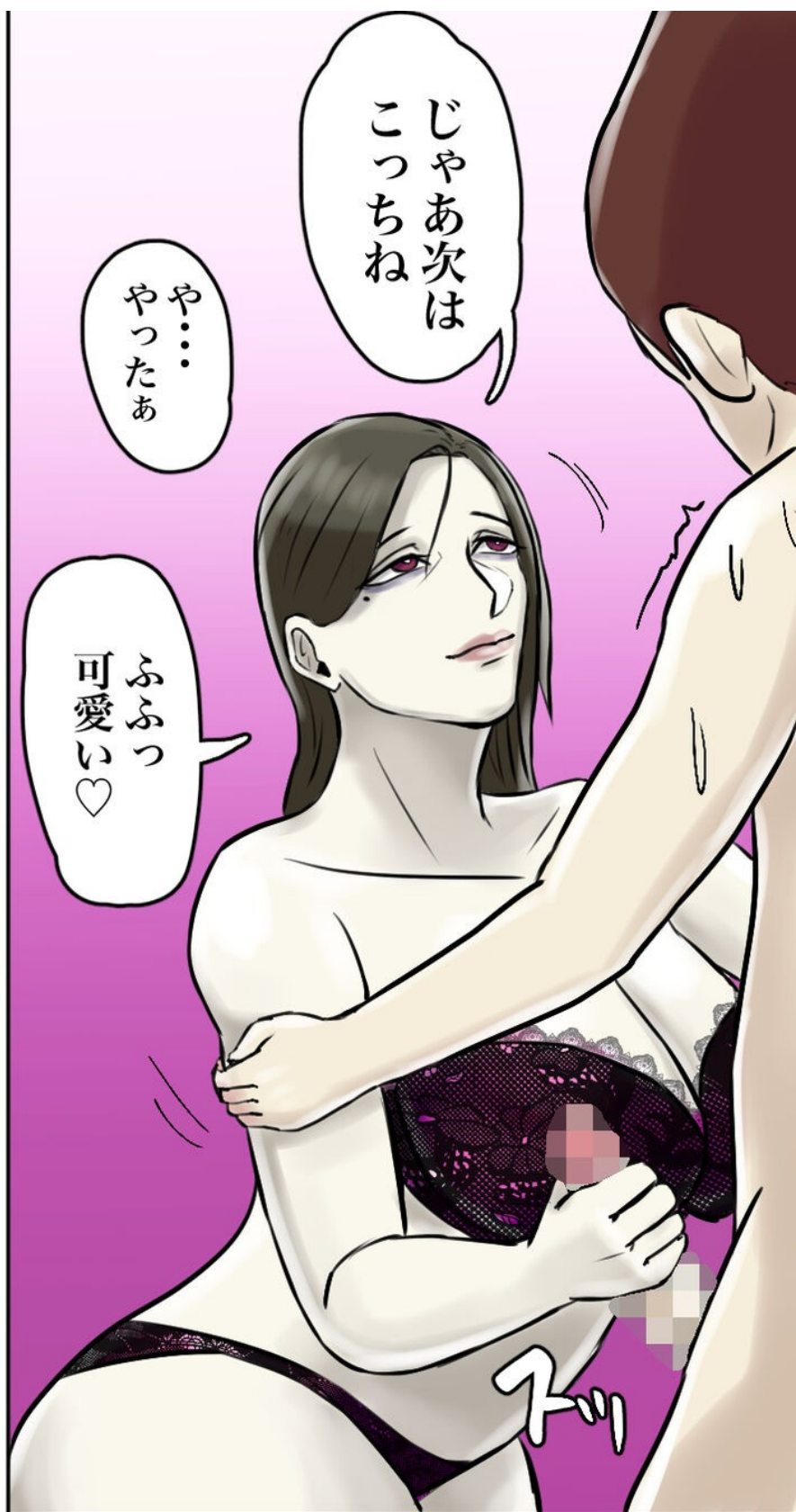






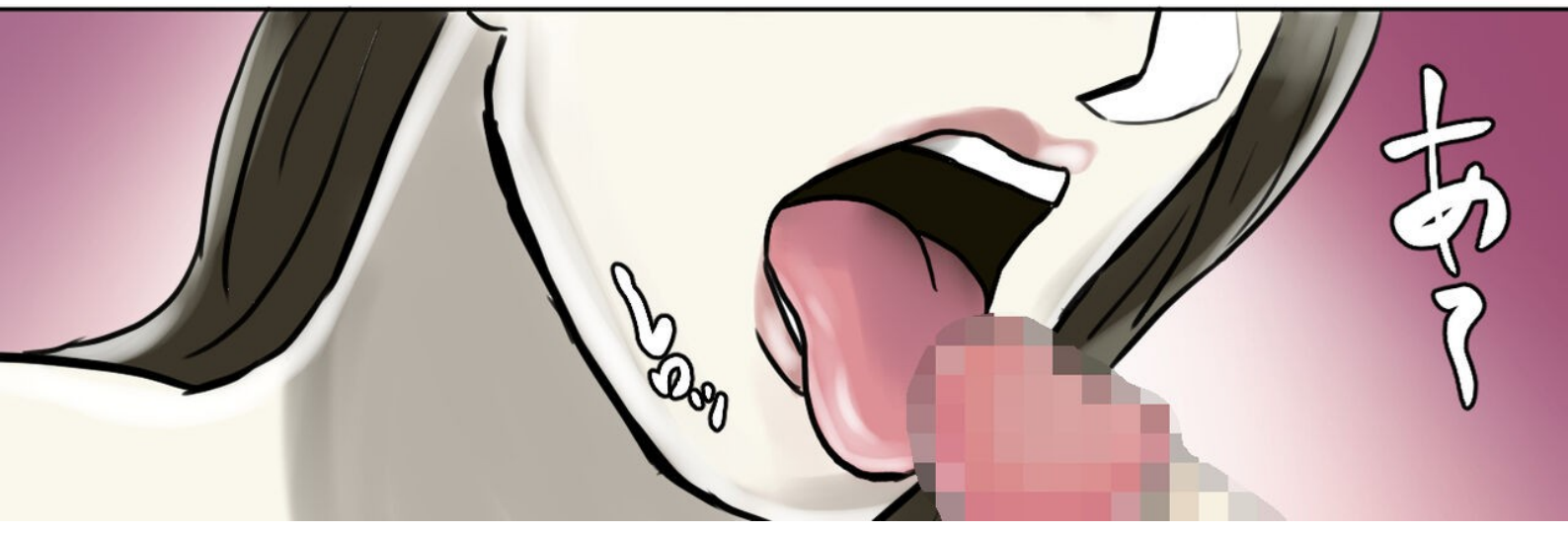


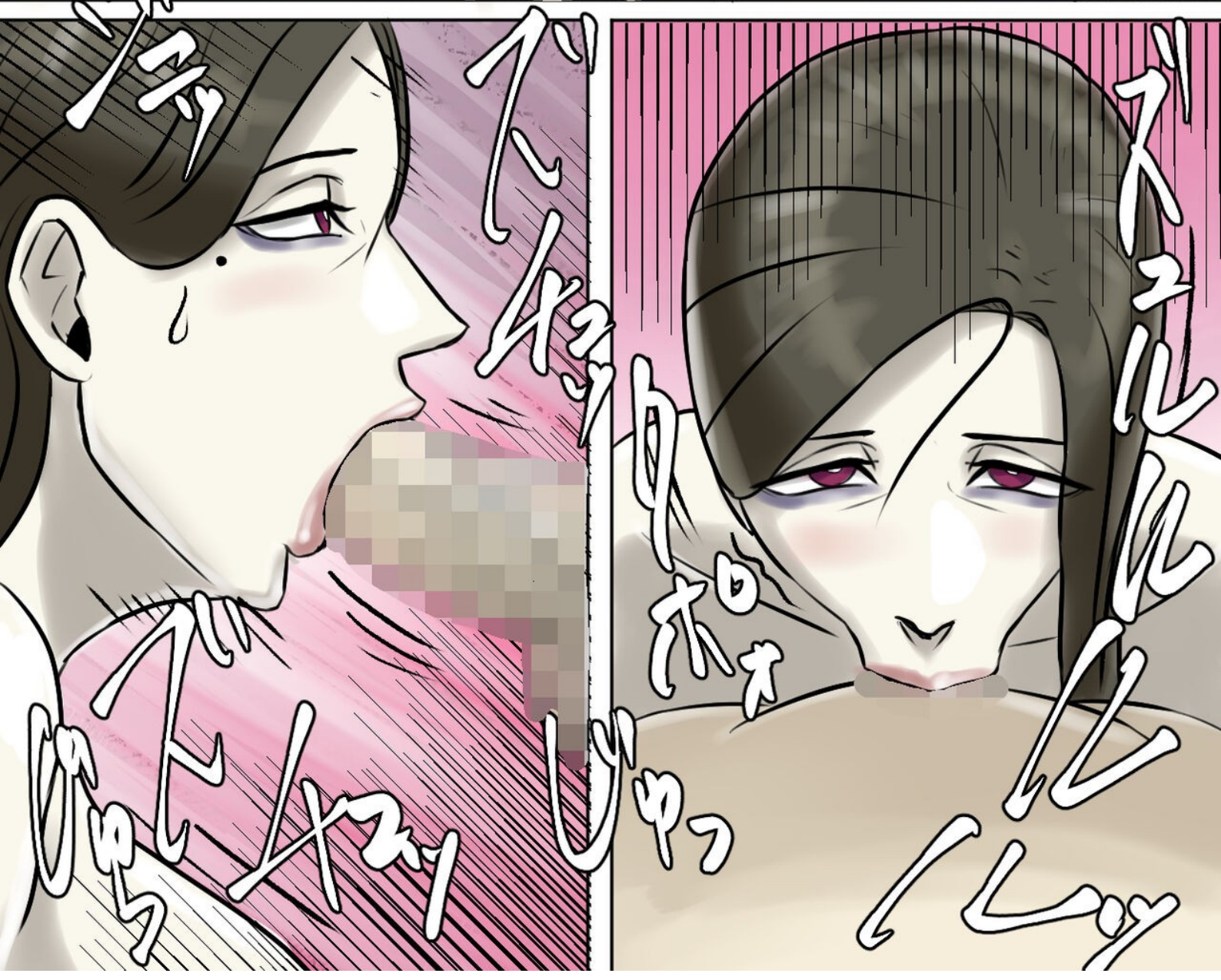
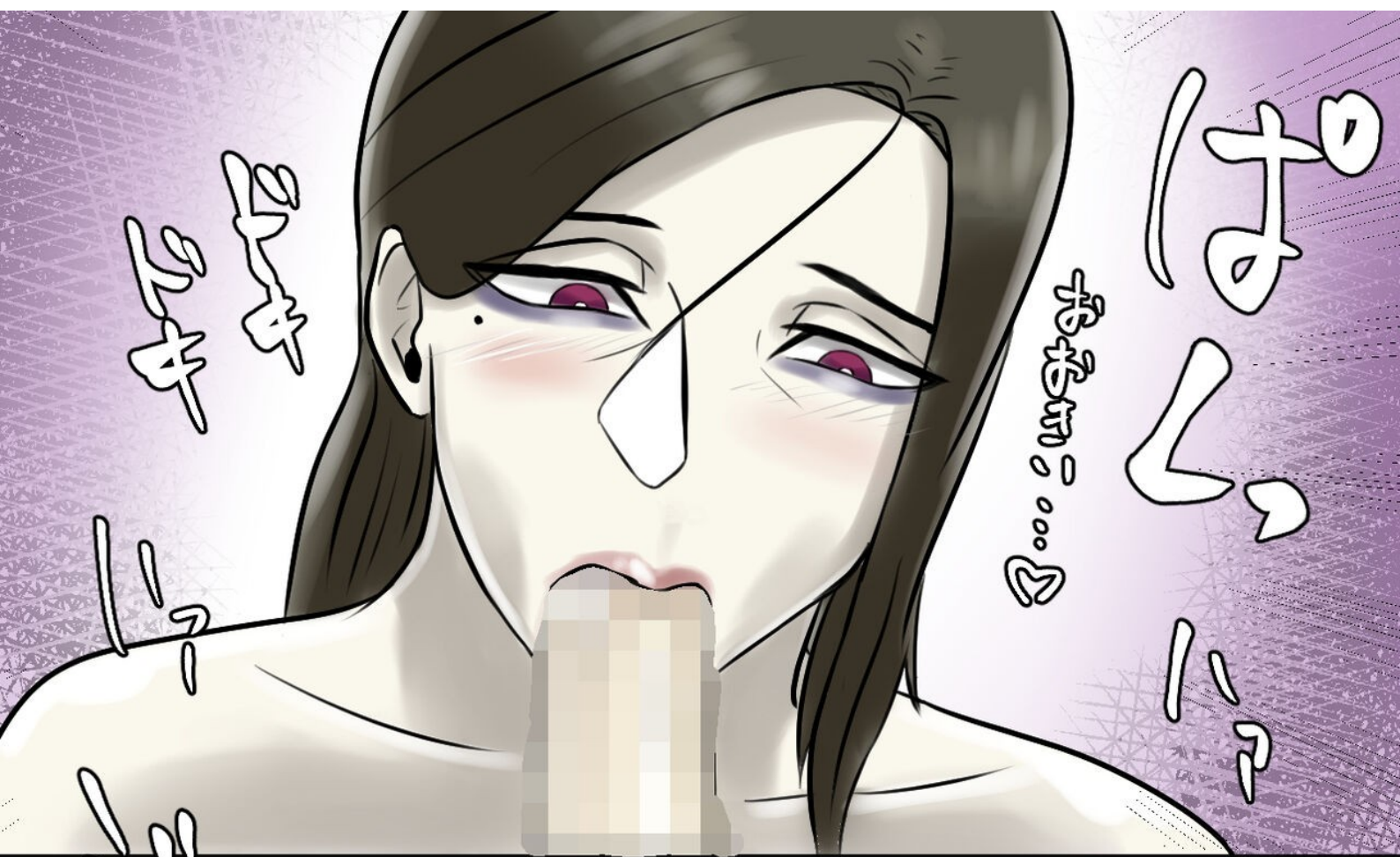
良いもの
もってるのね♡

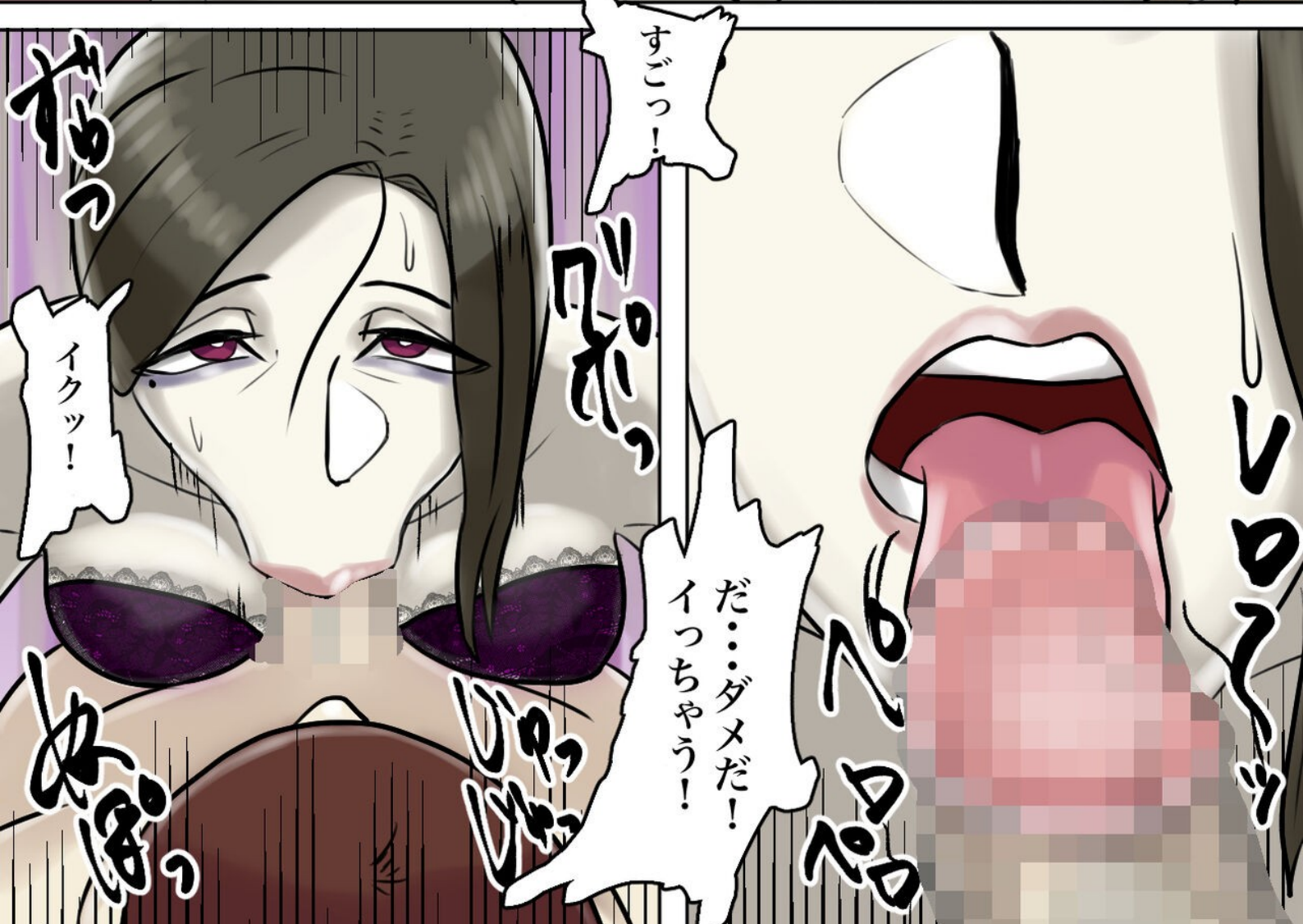


じゃあ次は
こっちね

ふふつ
可愛い♡









あらあら
お口の中に出し
ちやったのね

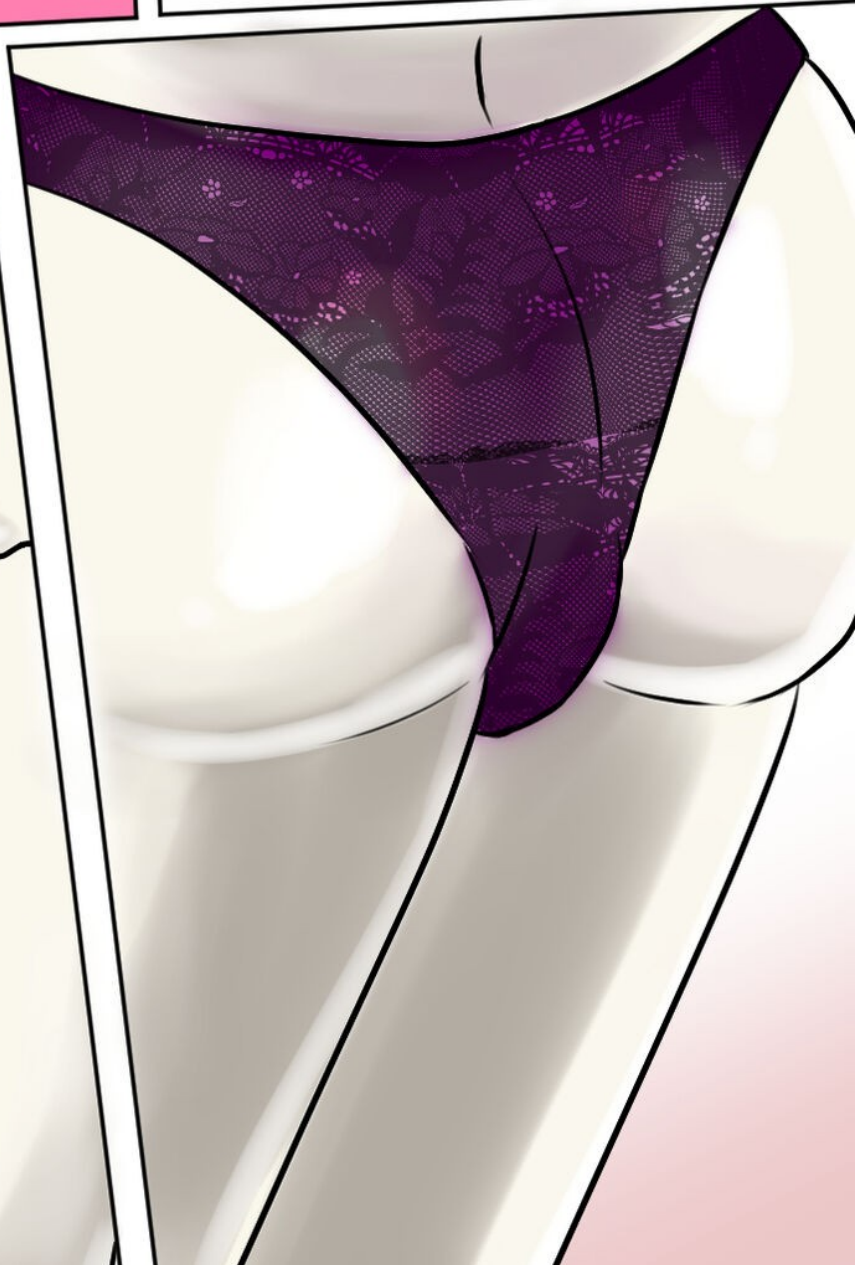
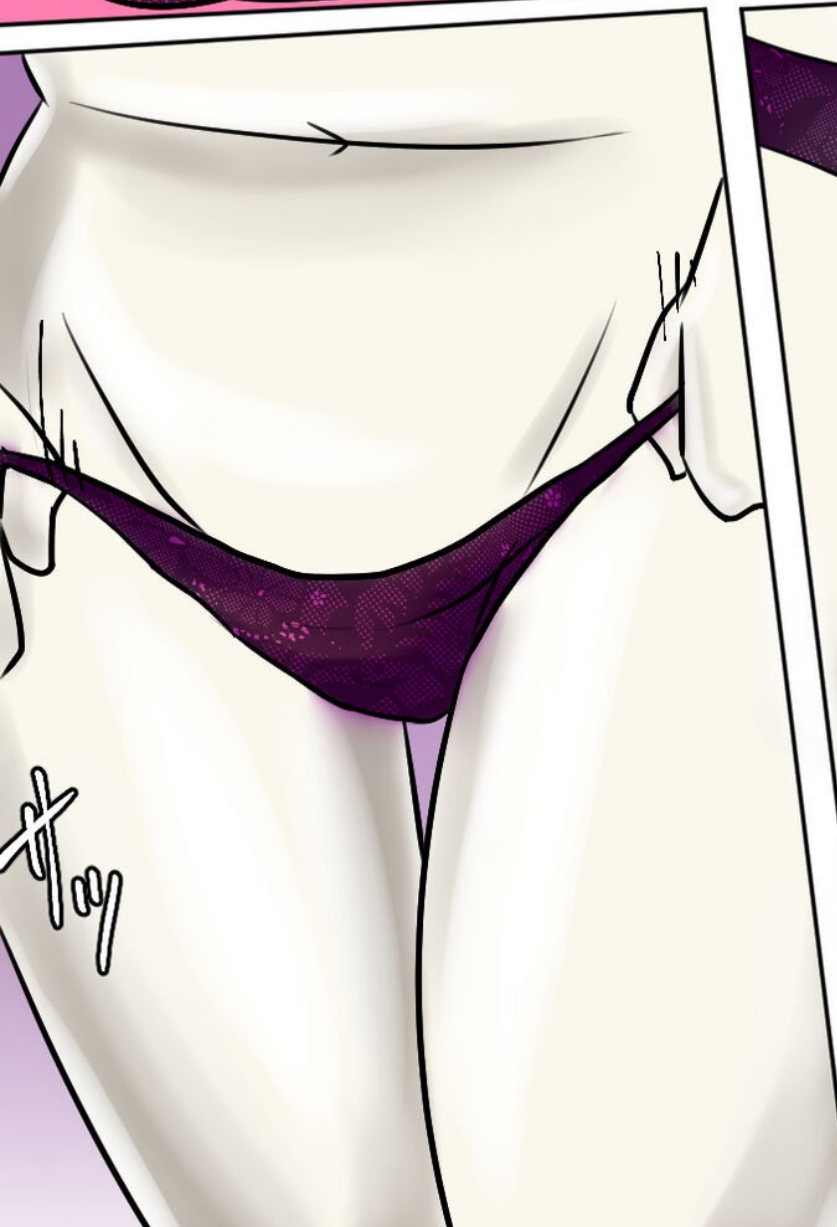
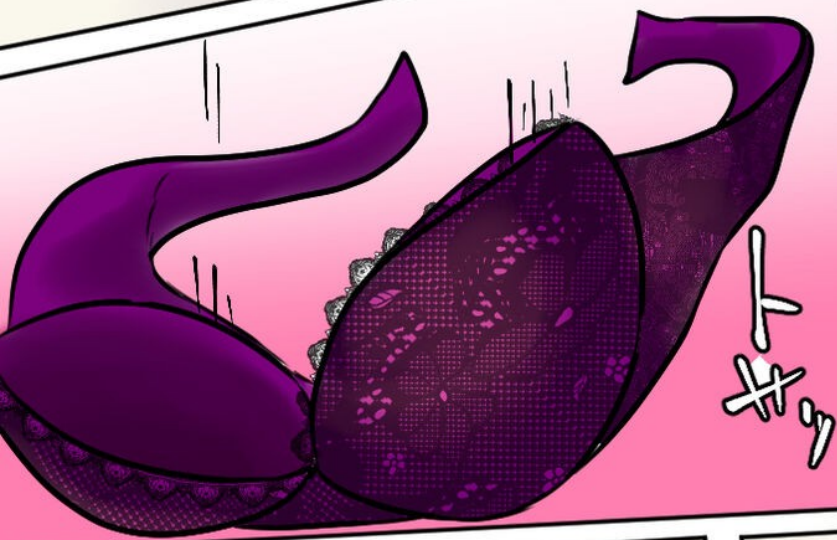
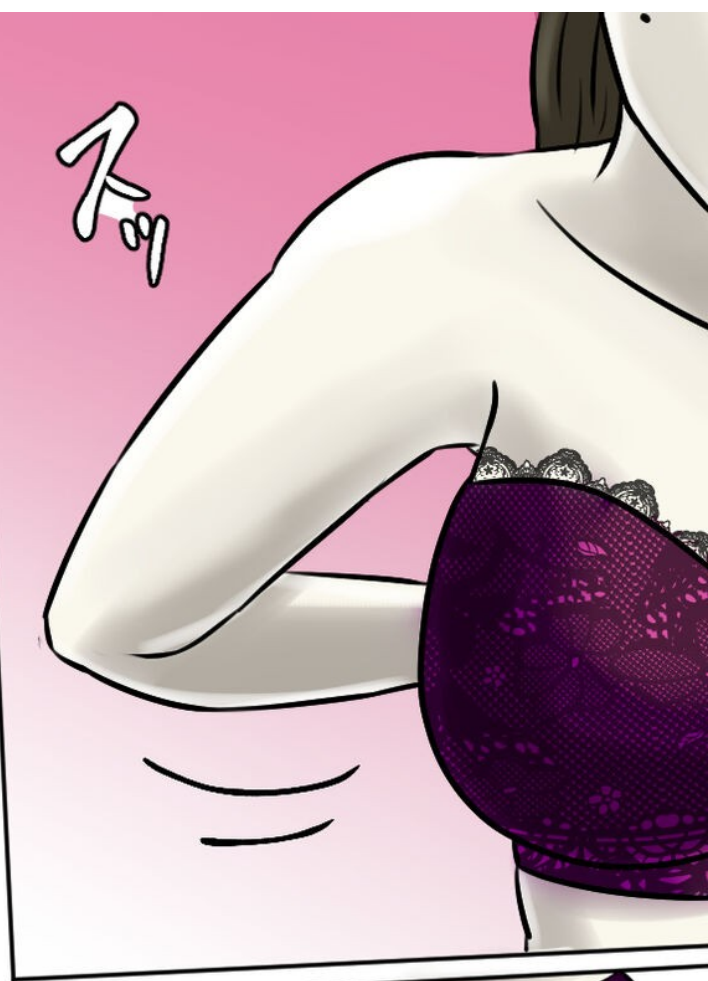


おいしっ♡



飲んで
あげる

あゝ



さあ
これがおばさんの
おま〇こよ

ボクくんがしてみた
かったことは…
なにかな？

くはあ

か
ニッ

ハ
ハ

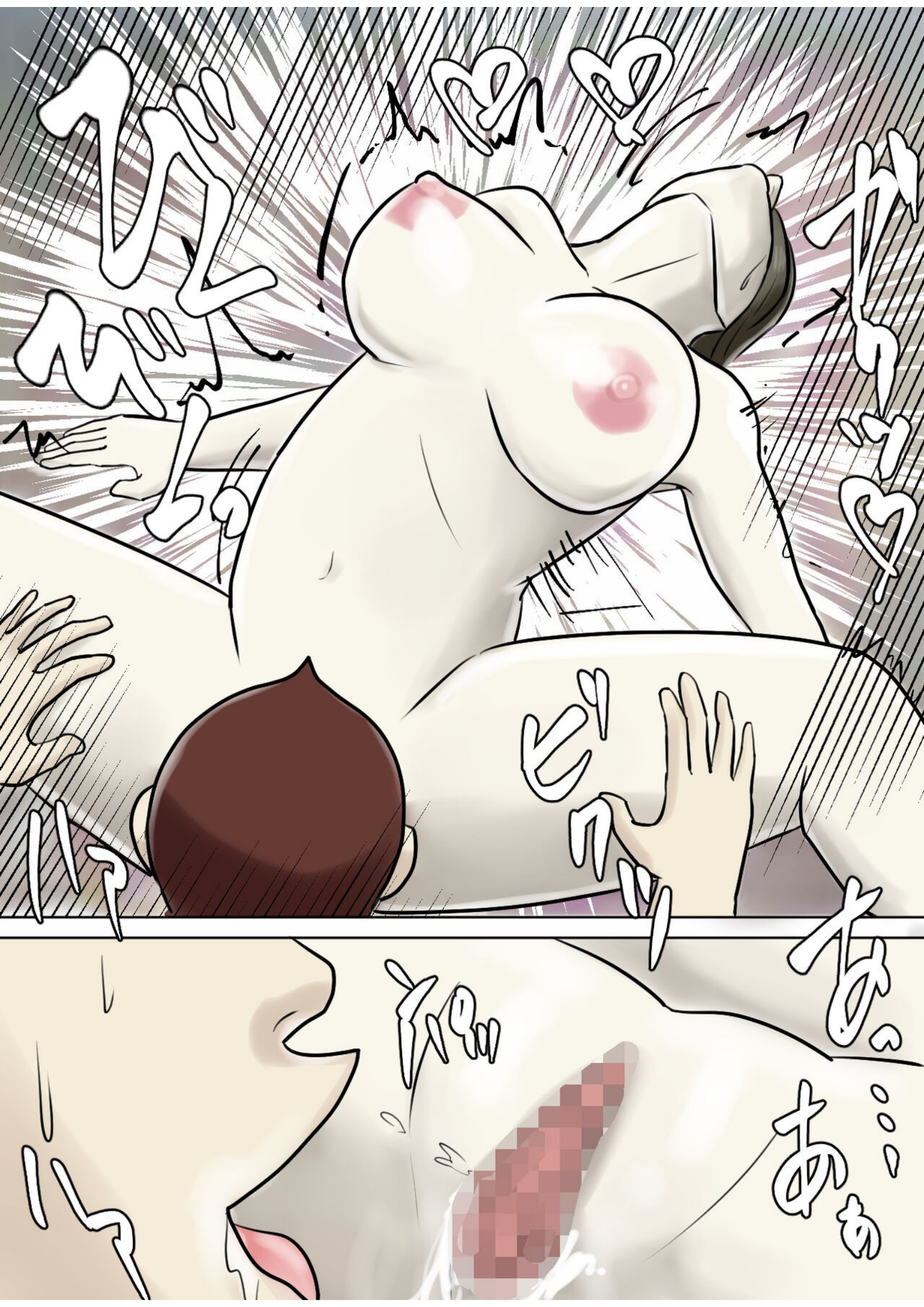
ハ
ハ

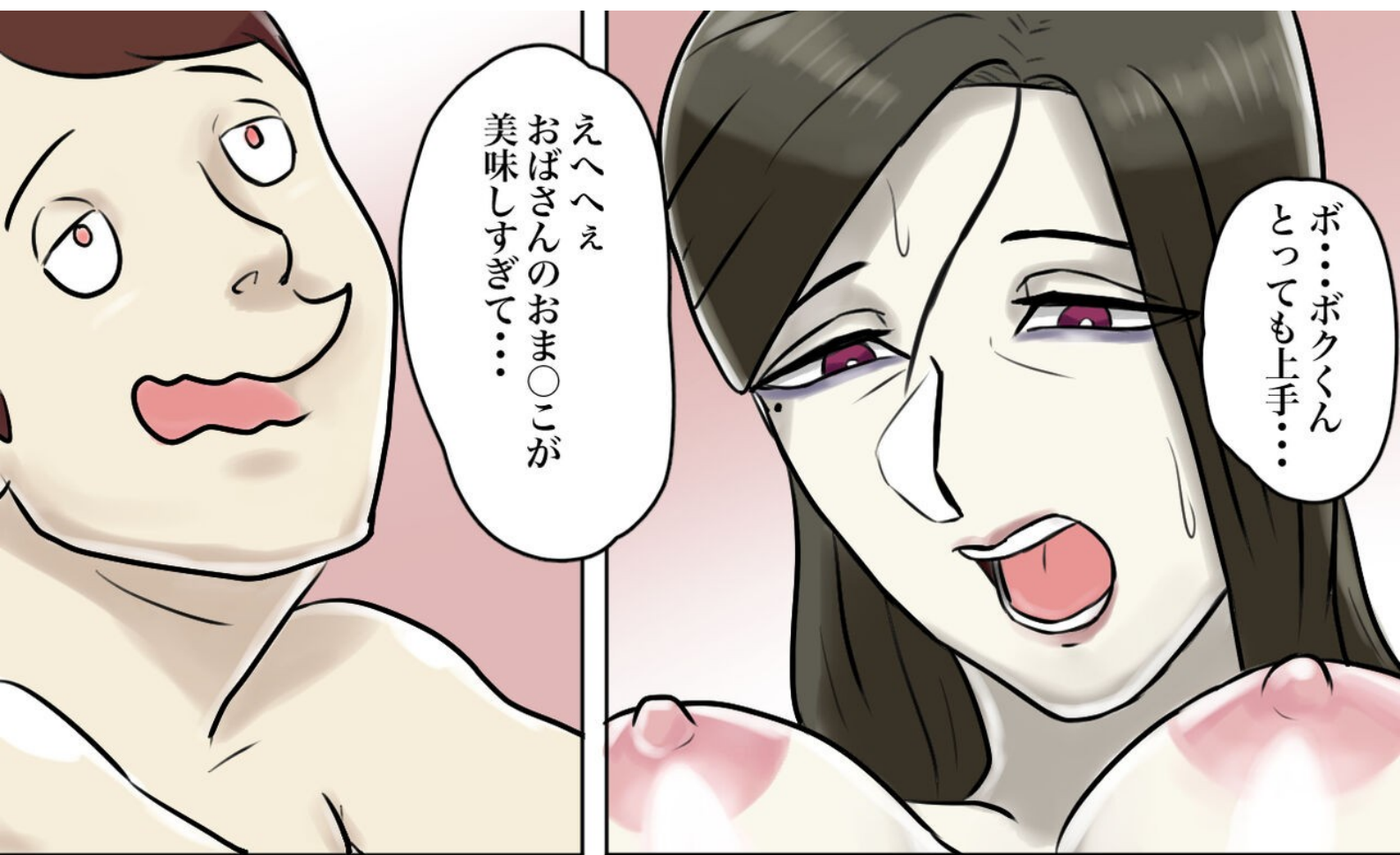




やあつ!

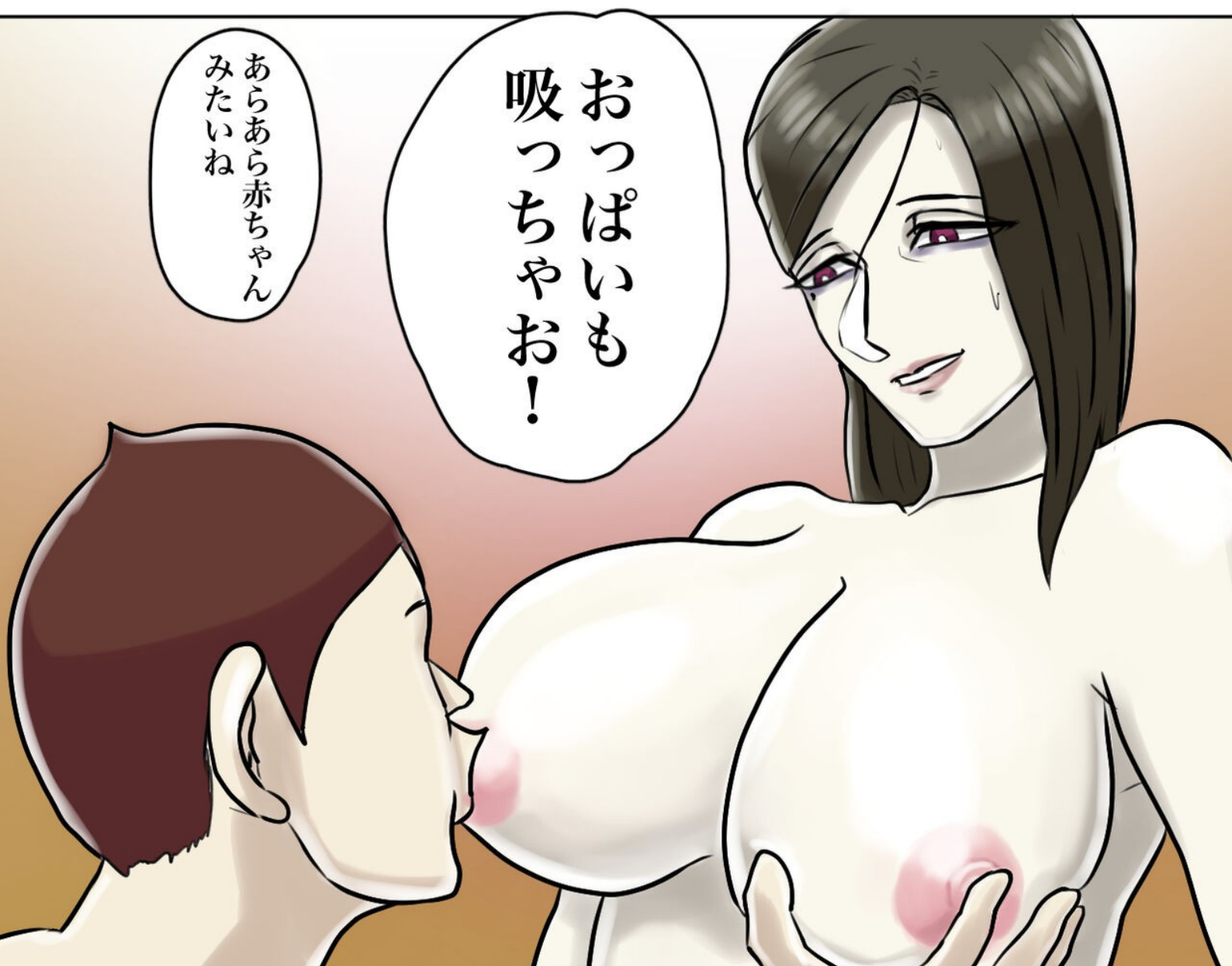
いつ...
イっちゃう!





ボ...ボクくん
とっても上手...

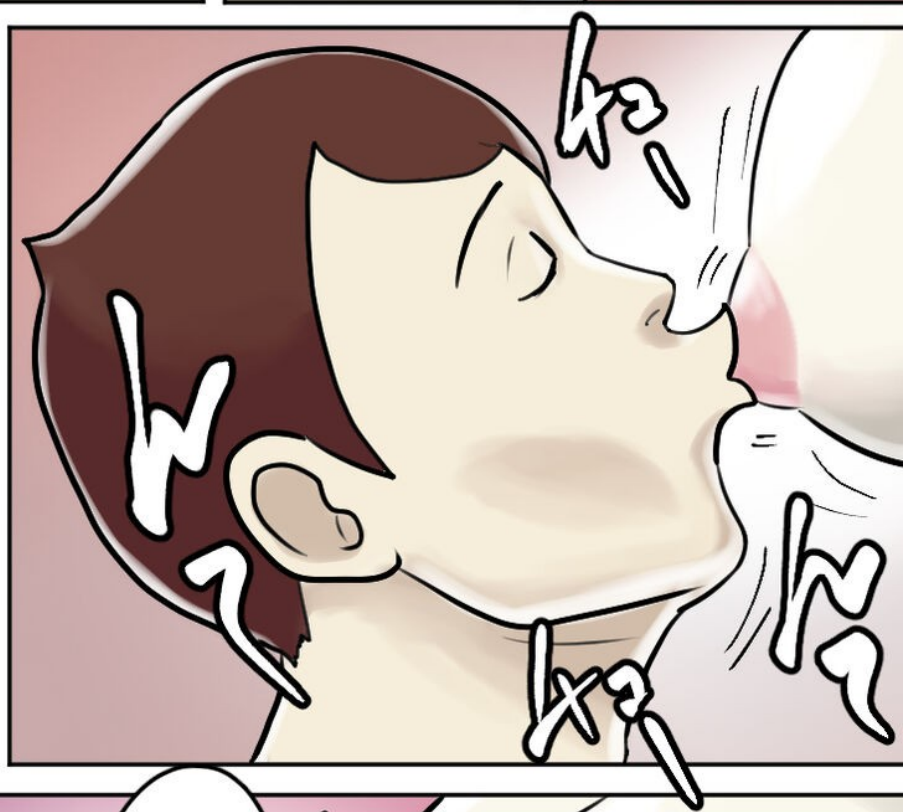
えへへえ
おばさんのおま〇こが
美味しすぎて...



おっぱいも
吸っちゃお!

あらあら赤ちゃん
みたいね

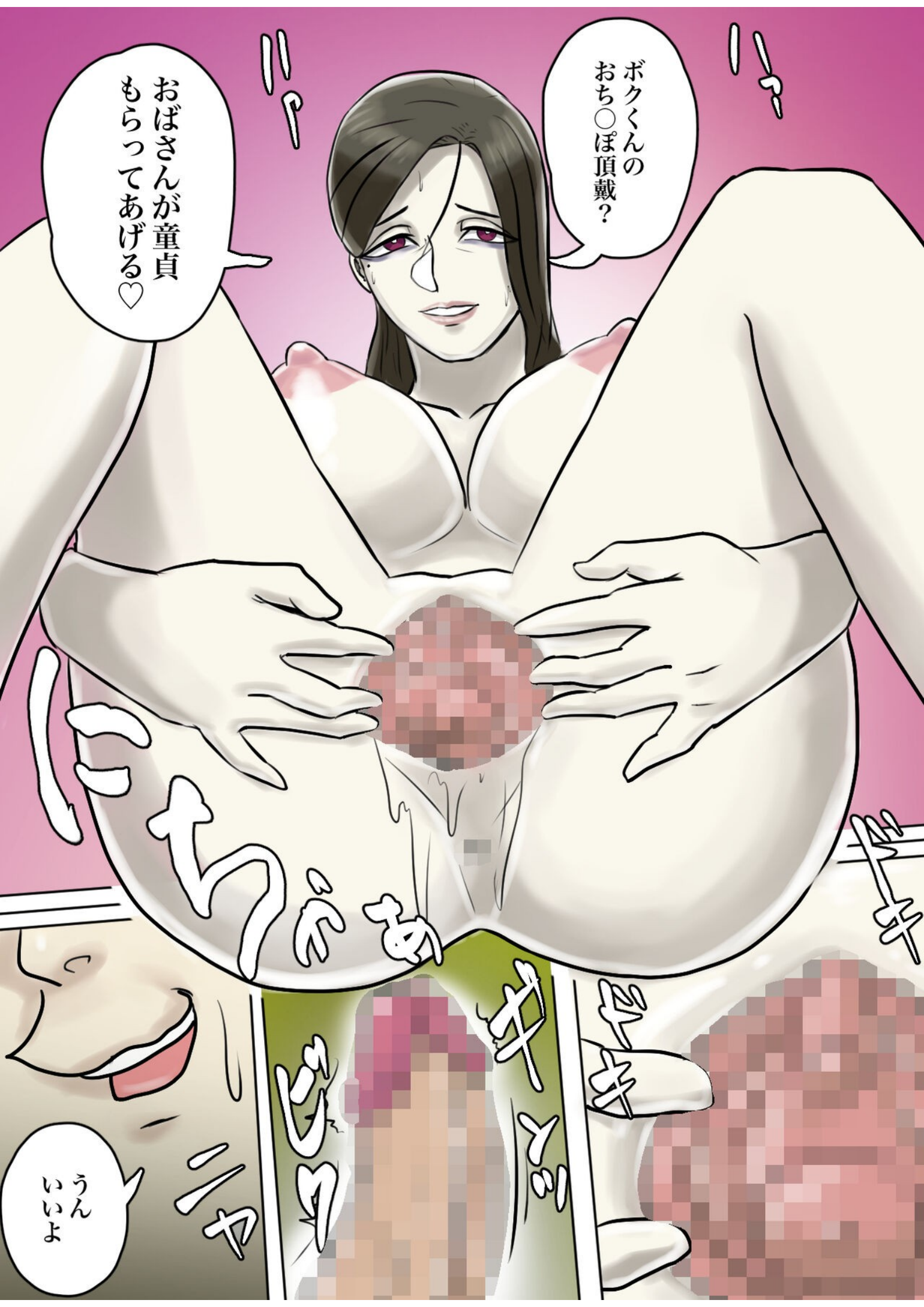




ボクくんの
おち○ぽ頂戴？

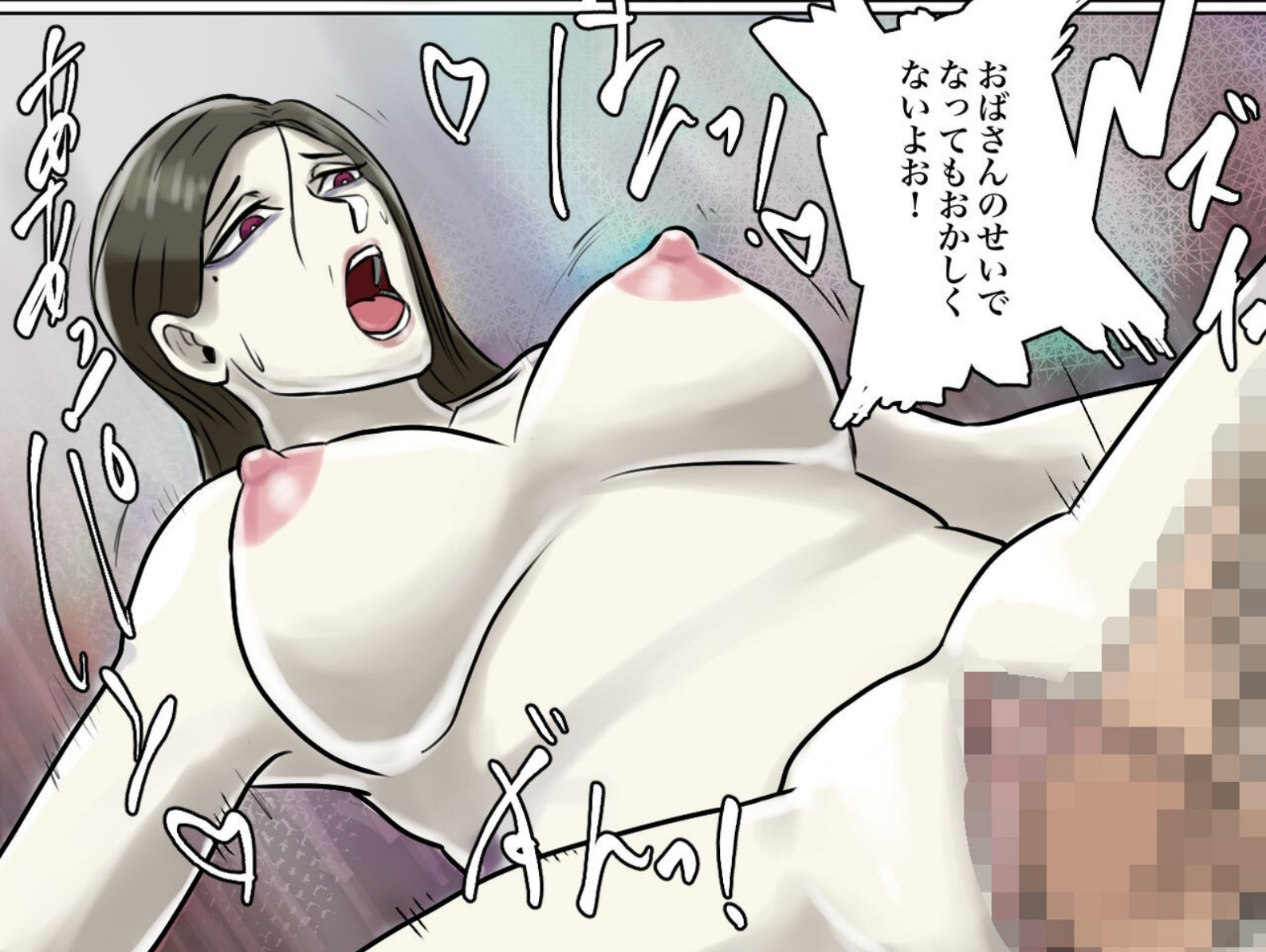
おばさんが童貞
もらってあげる♡

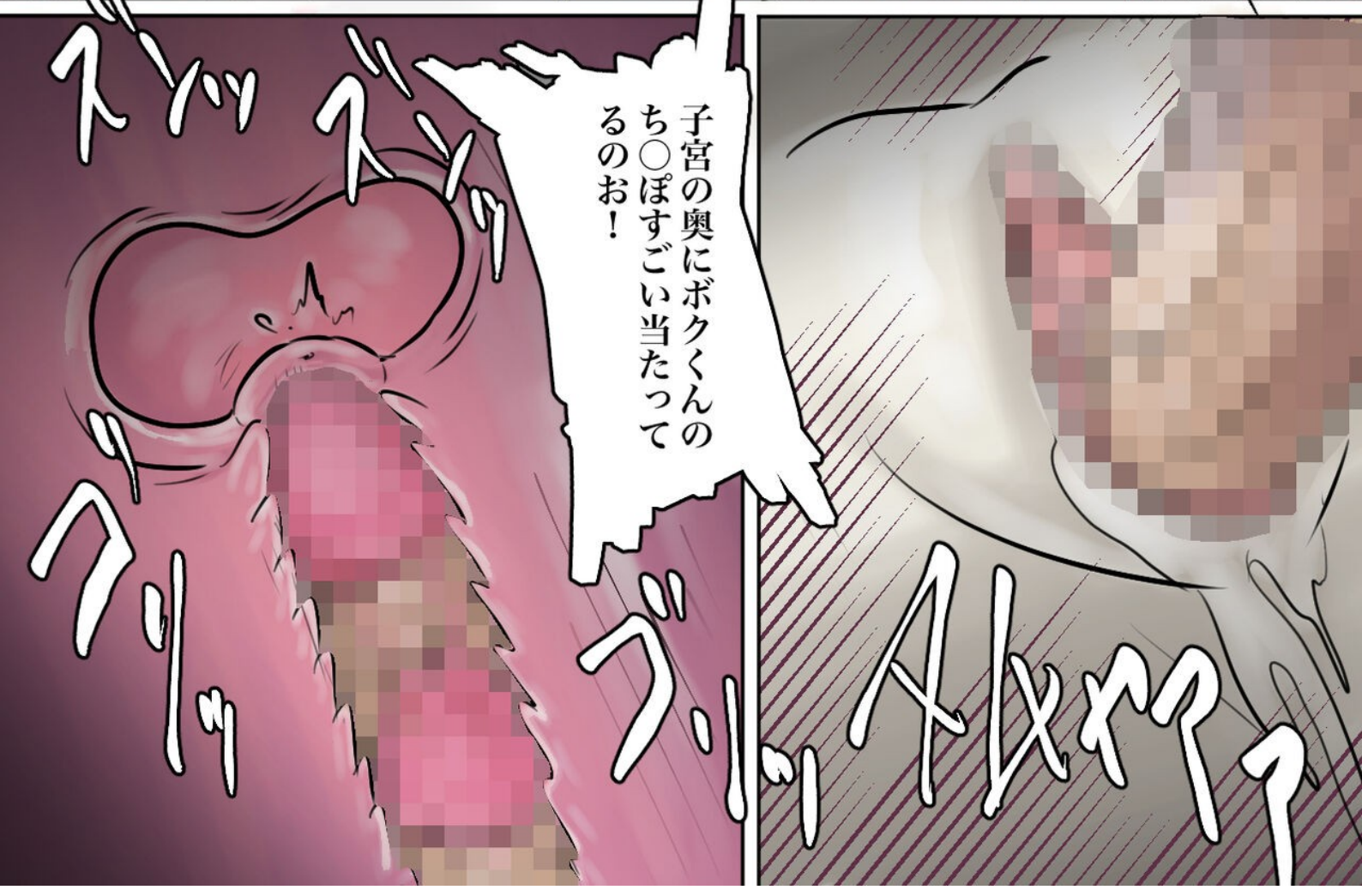
うん
いいよ

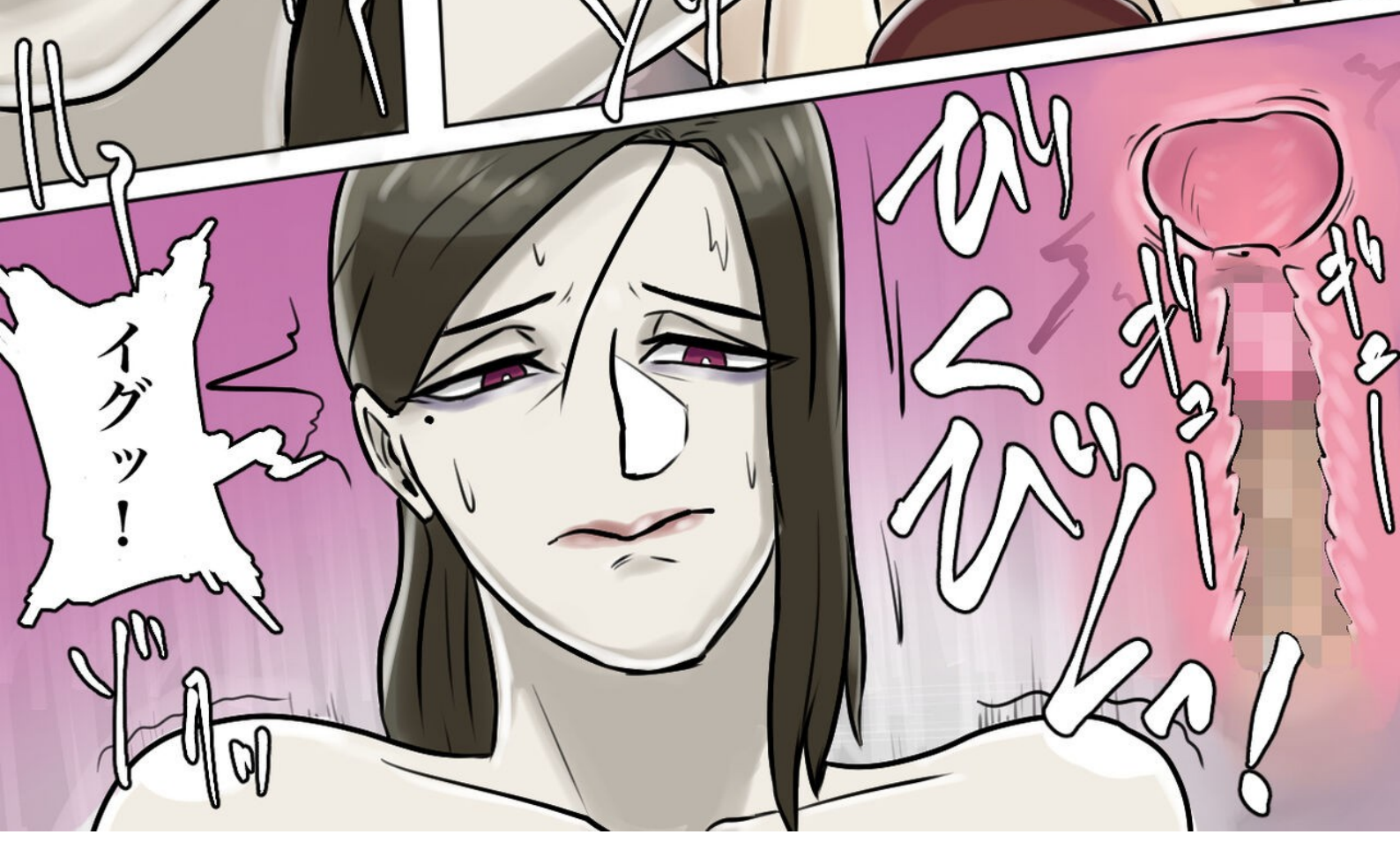


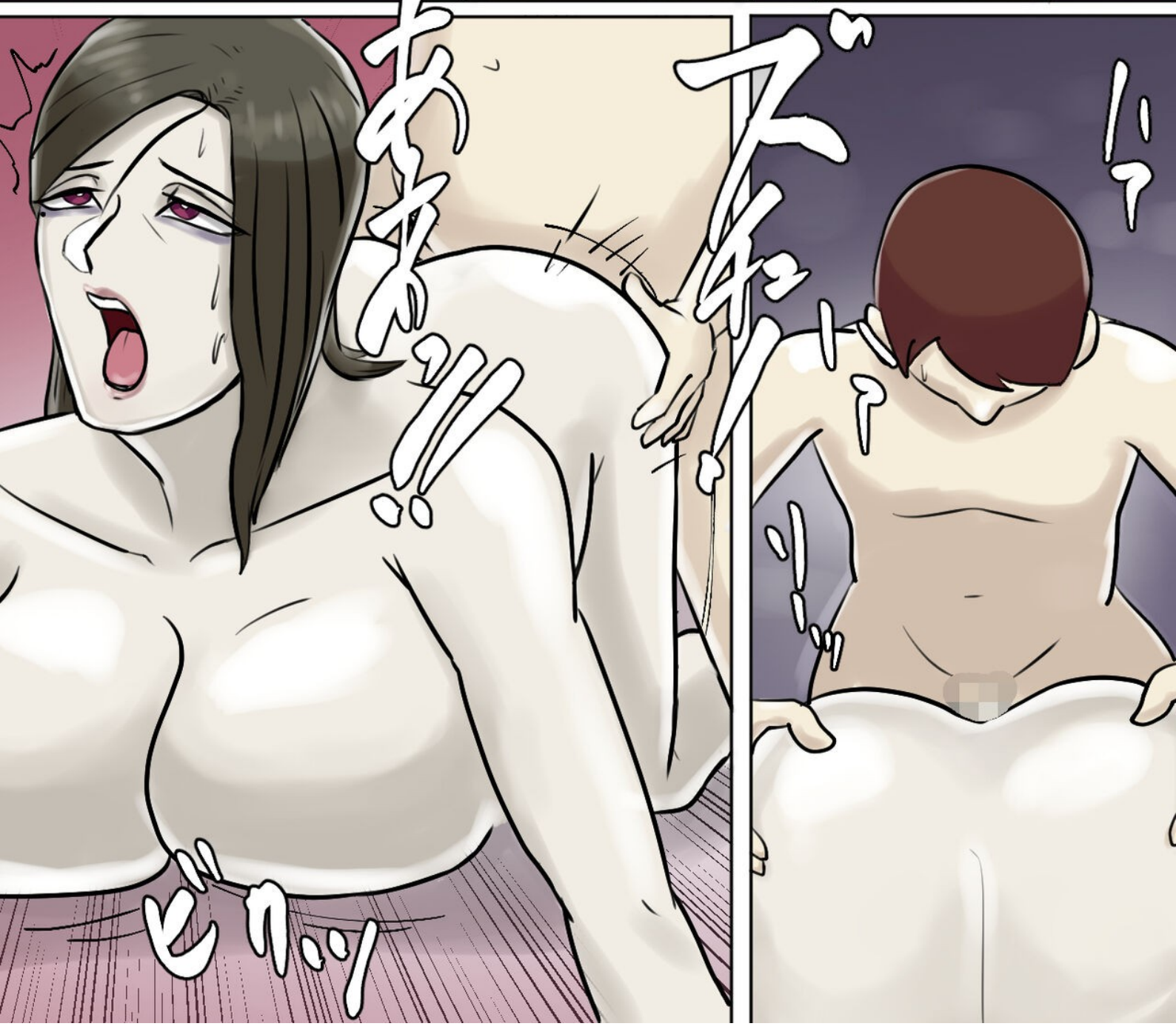
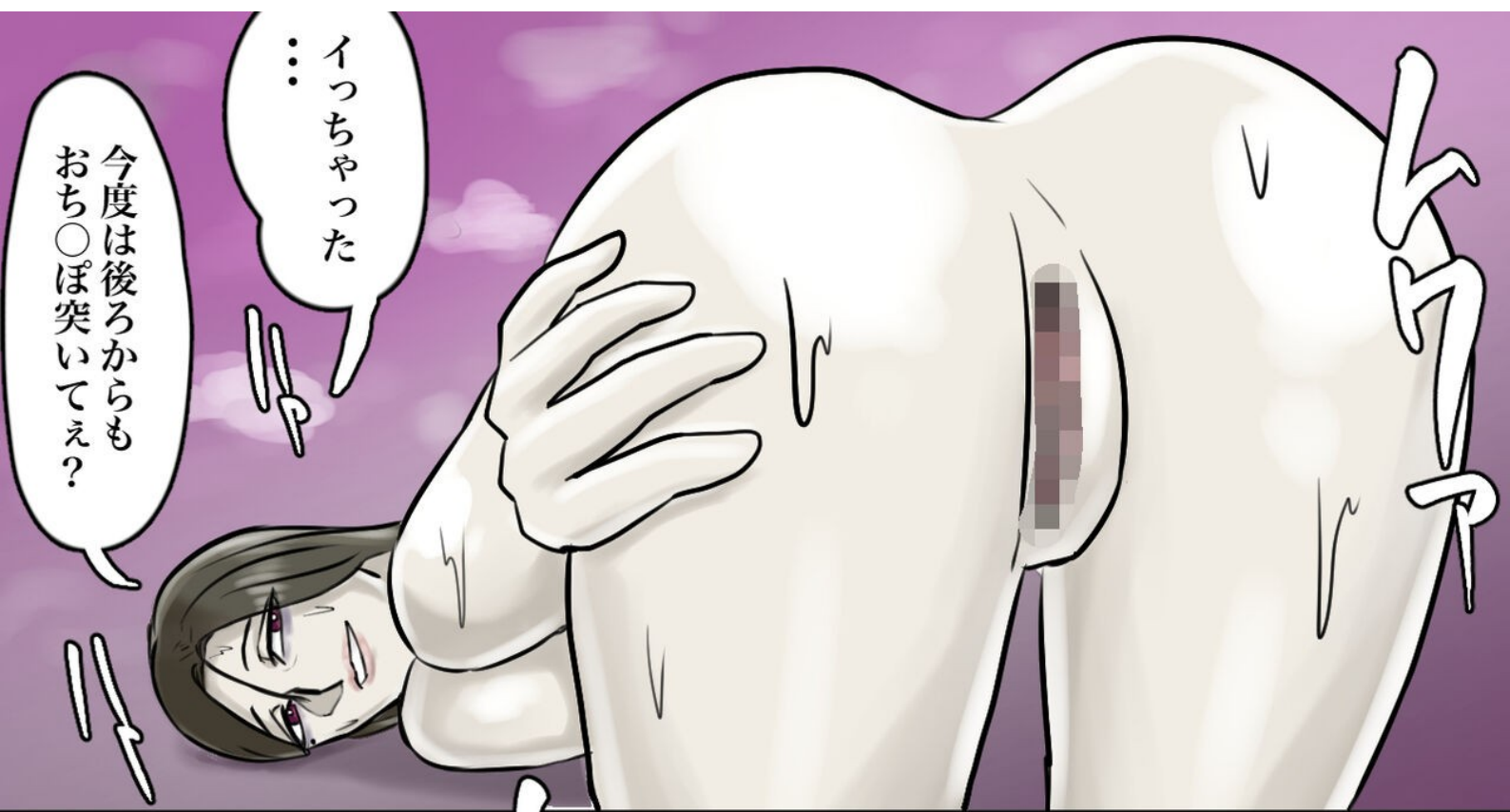


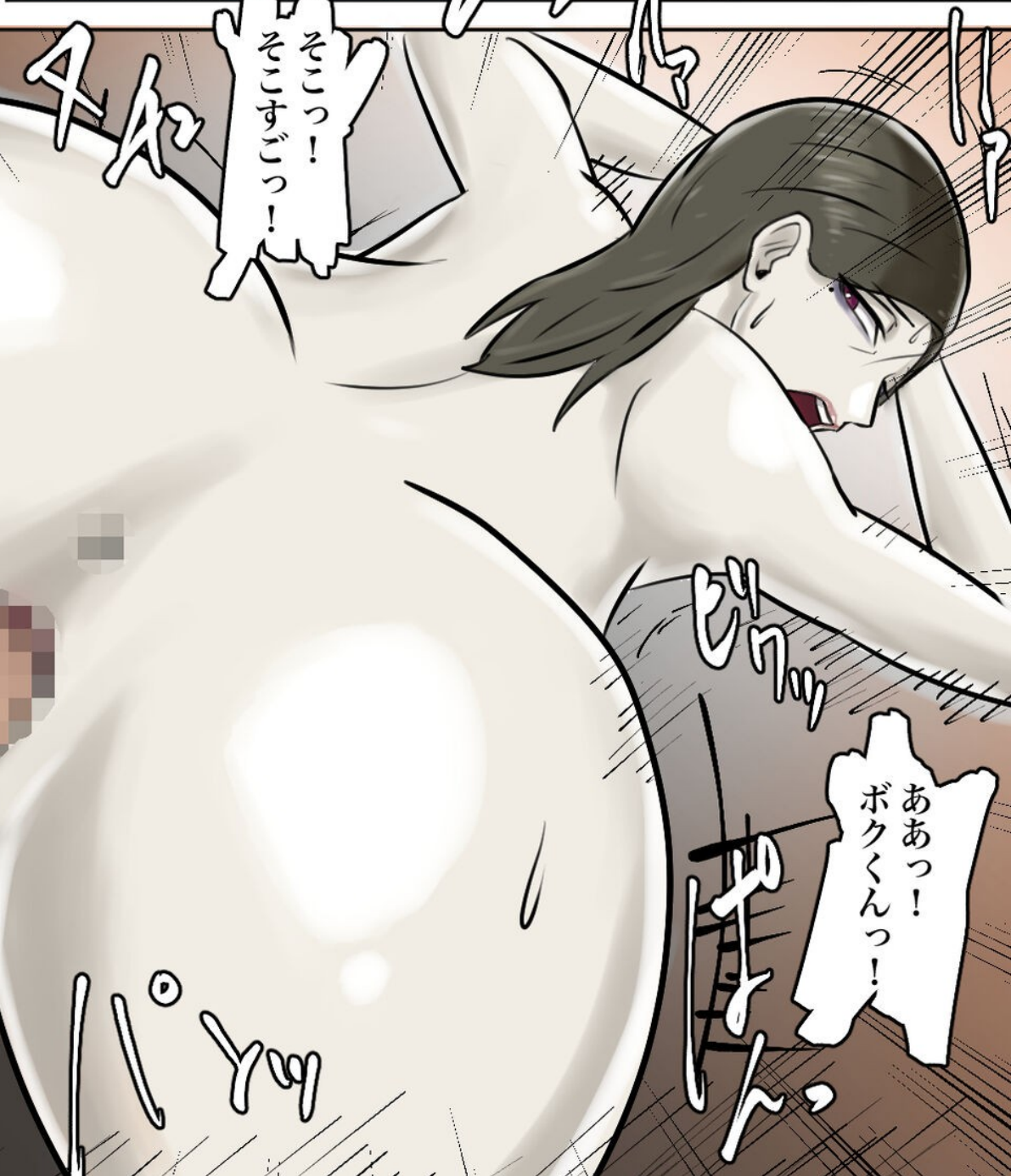
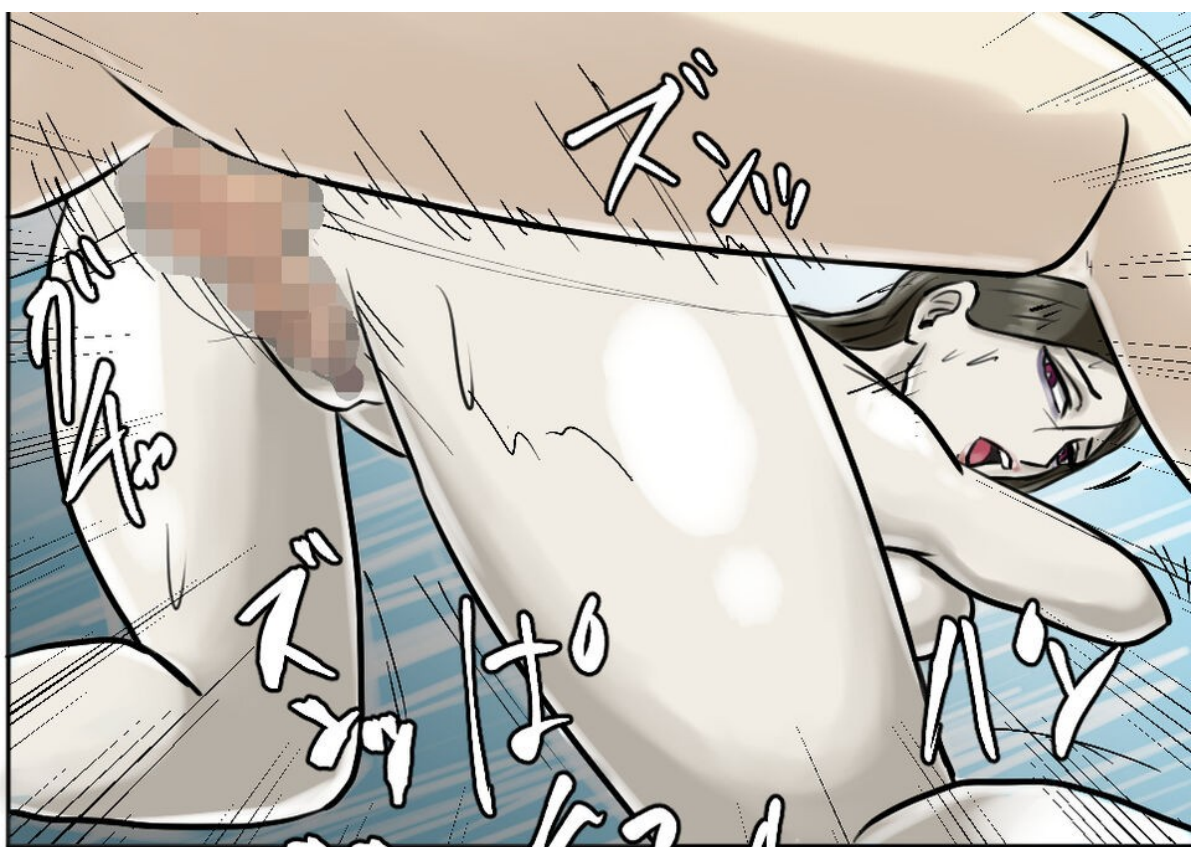
アアッ！
ボクくんの童貞卒業
ち○ぽすっごいわ！

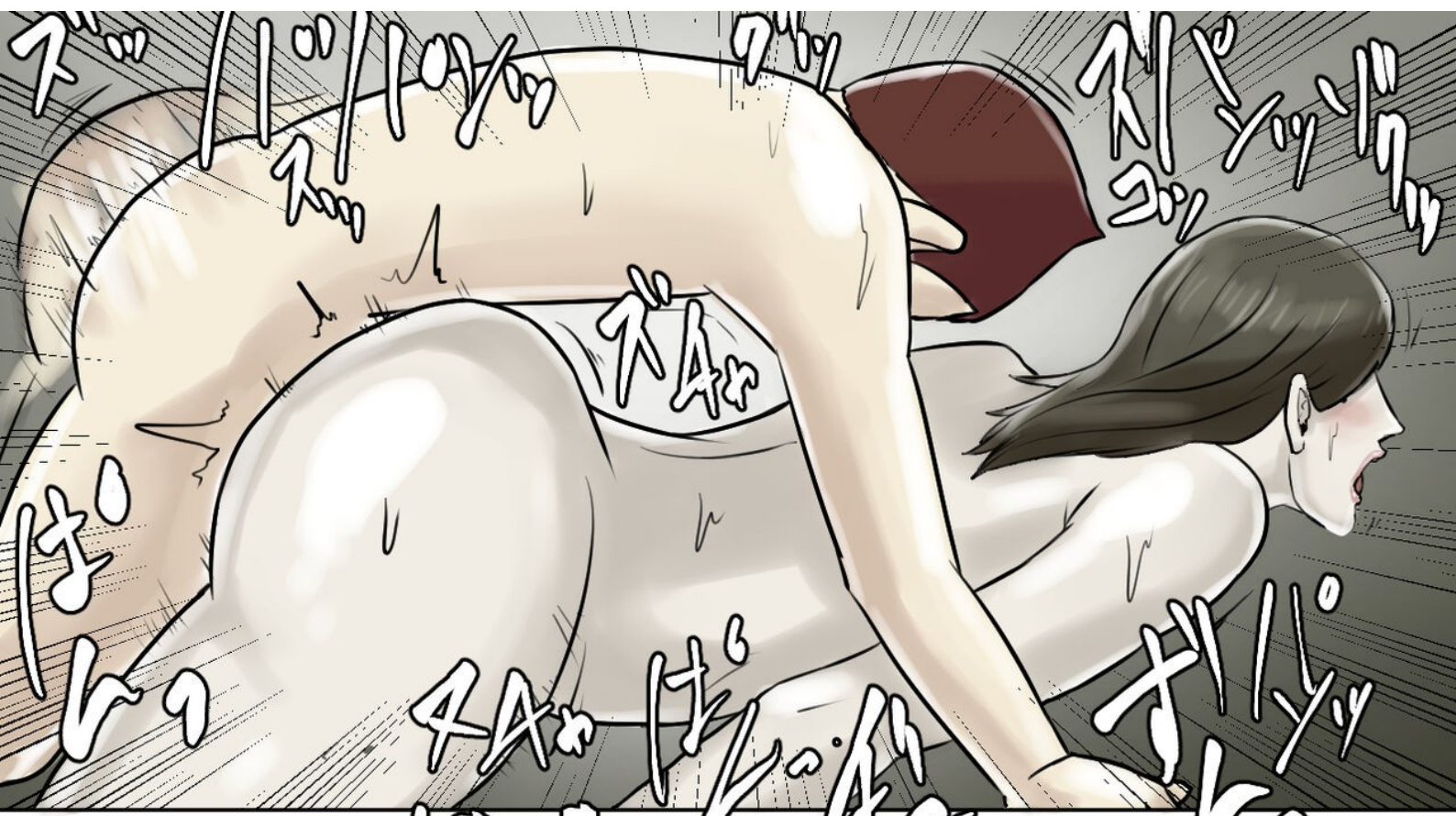


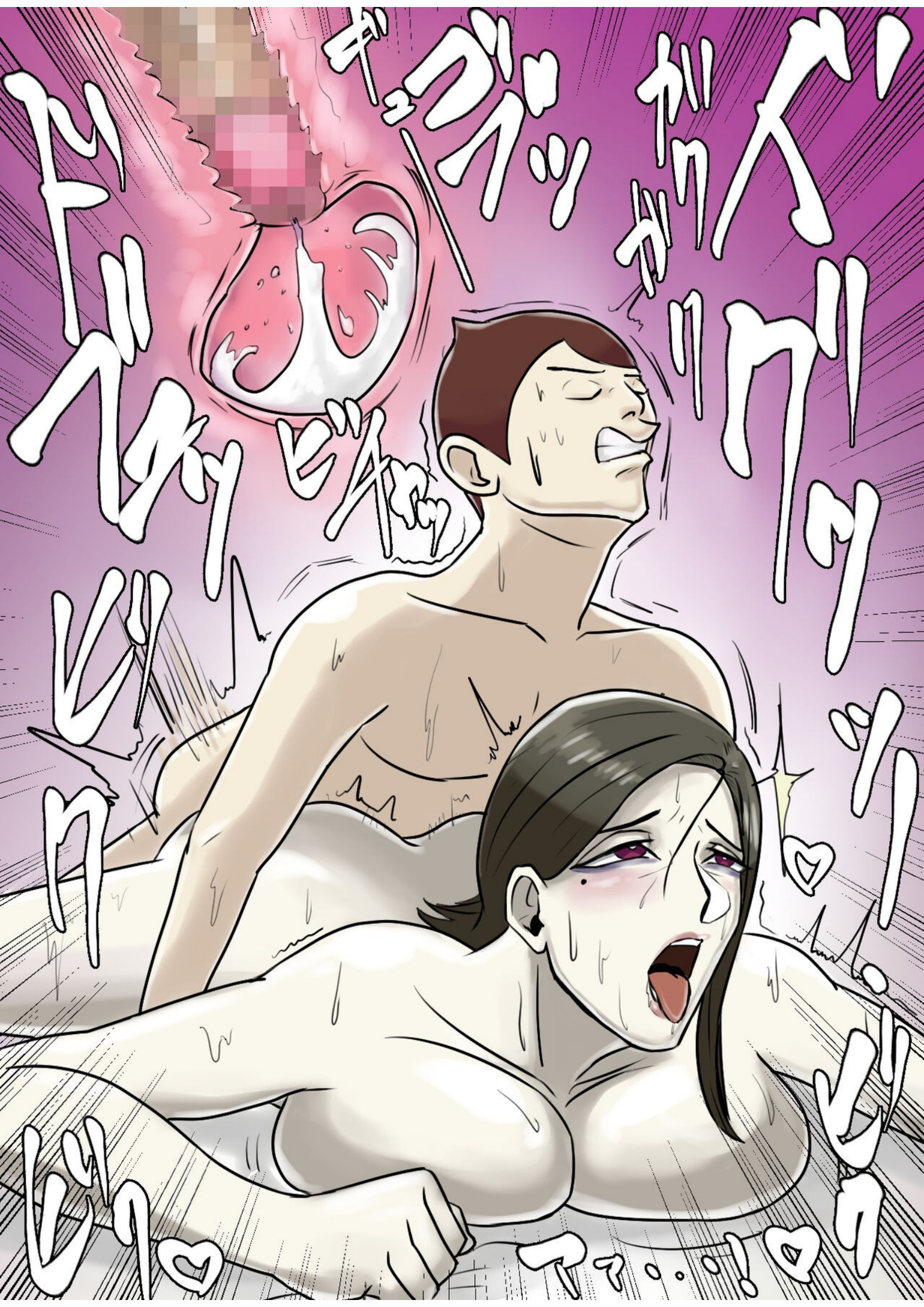


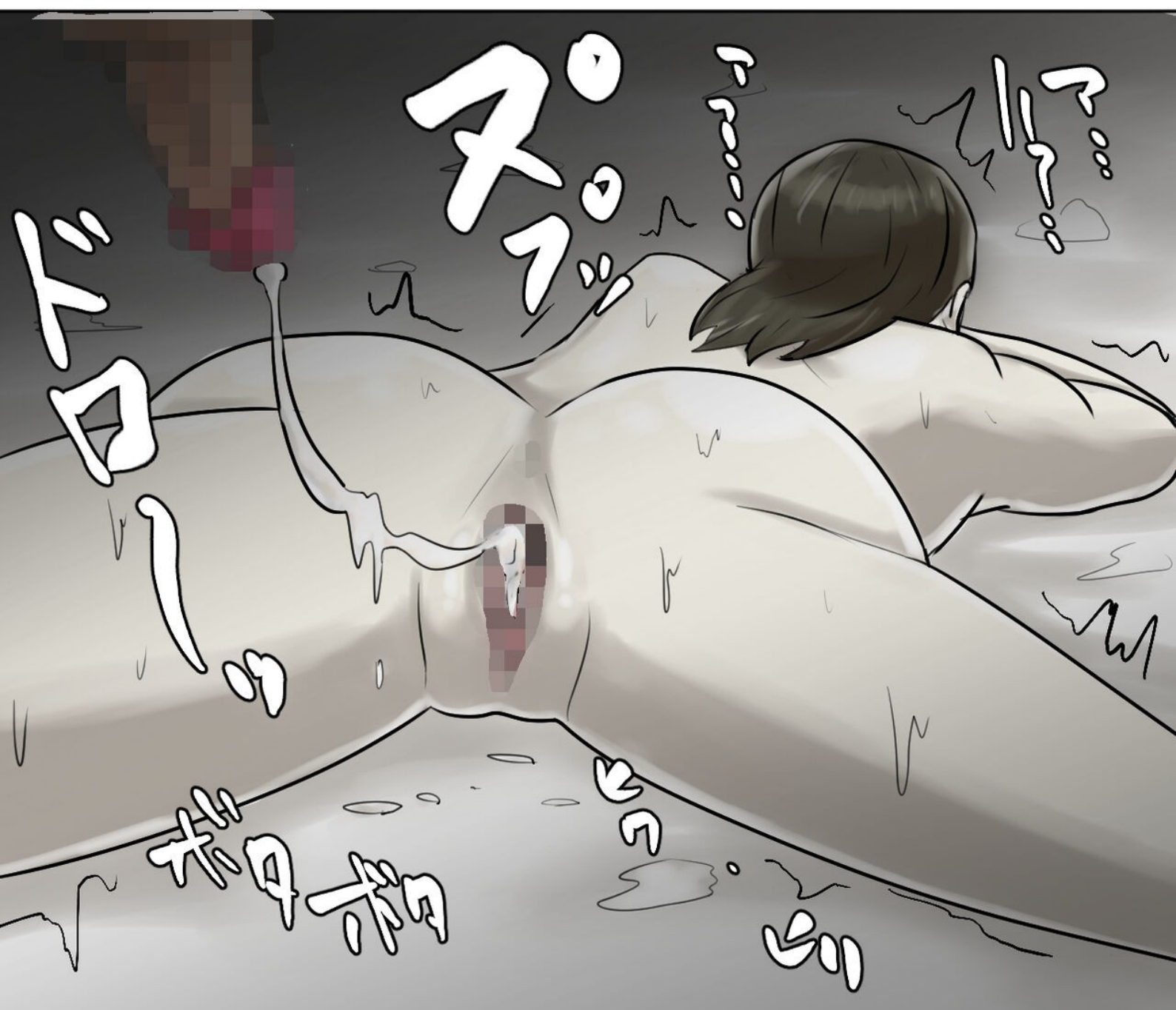














ボクもおばさんのお願いきいて
あげる！
おばさんのこと好きだから
なんでもきいてあげるよ！

あら
本当？
それじゃあ…

数日後：
某所：



もうここにはついていきません！
秘密は絶対に外部へ洩らしませんから！
どうか！どうか！家族に会いたいんだ！
頼む！



お願いします！
どうかここを辞めさせてください！



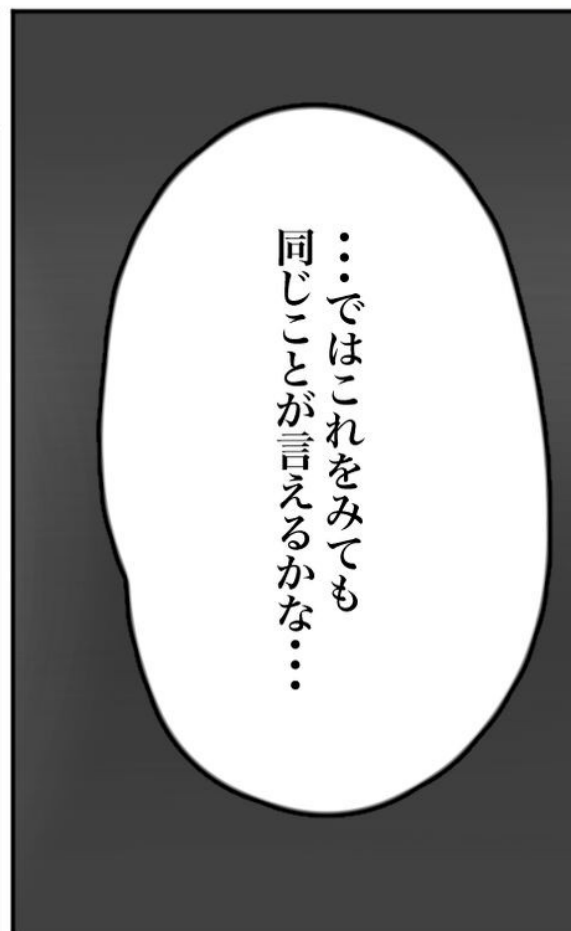
なぜだ！
何度も頼んでいるのに！



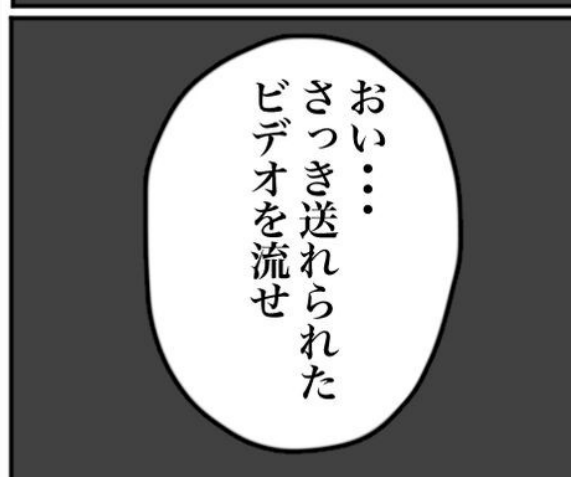
ダメだ



な…なんだ…



…ではこれを見ても
同じことが言えるかな…



おい…
さっき送られた
ビデオを流せ

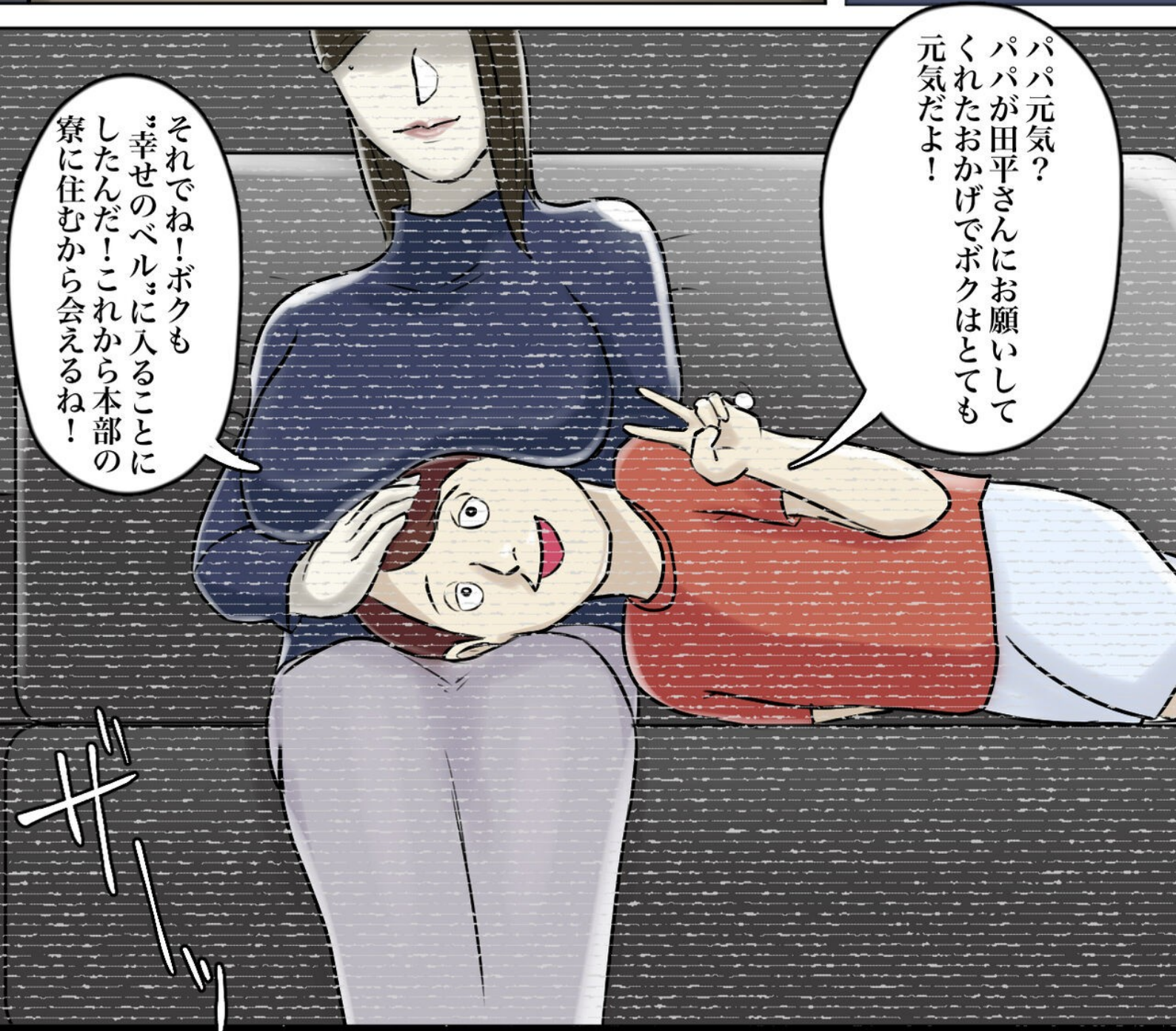


む…
息子じゃないか!

どうして!



パパー!



パパ元気?
パパが田平さんをお願いして
くれたおかげでボクはとても
元気だよ!

それでね!ボクも
幸せのベルに入ること
にしたんだ!これから本部の
寮に住むから会えるね!





これでも…
辞めると言うのかね？



くっ…くっ…
くそおおっ！

わ…わかりました

よろしい



田中！

END